夕刊 滿洲日報 七月二十四日

メ總領事が張作相氏と愈よ最後の膝詰談判

けふ突然長春で會見 東鐵問題に關して重要交渉

【長春特電二十四日發】露支國交斷絶と共にハルビンで監禁同様の身の上となつてゐた勞農總領事メリニコフ氏は濱江交渉員蔡運升、李東銭副理事長等の人々附添ひの上、廿四日午前六時四十四分突然長春驛に姿を現はした、之と同時に奉天滯在中であつた張作相氏は從者約五十名を引連れて午前七時之れも突然長春に來着し直にメリニコフ氏と會見し一切人を避けて要談をなしたが、兩氏は偶然の邂逅でなくして豫じめ打合せあつたもの丶如く、此に兩氏の間に露支兩國最後の談判が行はれたものであつて其の結果若し不調とならばメリニコフ氏は直に滿鐵線によつて大連經由歸國の途に上るであらうといはれてゐる

構內に引入れた車內で兩氏人拂ひして要談す

日支官憲包圍して嚴重警戒

兩氏の會見はメリニコフ氏の乘つて來た東鐵客車を滿鐵長春驛構內の片隅に引入れ同車內で唯二人の要談が行はれたものであるが支那側が極秘裡に運んだことゝて日本軍隊及警察は俄にどよめき憲兵及警官百五十名を繰出して右會見の客車を取り卷き支那側官憲が更に之を遠卷きにしてゐる、一方支那側が萬一にも附屬地內で武力を行使するやうなことがあつてはと步兵第卅八聯隊は出動準備を整へるなど長春は上を下への騷ぎである

會見は約三時間に亘る

メ總領事哈市に引返す

【長春特電二十四日發】長春驛構內客車中に於けるメリニコフ、張作相兩氏の會見は約三時間を經て午前十時に了り張氏は滿鐵驛貴賓室に於て小憩の後、吉長線の特別列車により吉林に向つたがメ氏は蔡交渉員、李副理事長と共にハルビンに引返すことになつた

東鐵紛爭解決の交渉委員會設置

ロシア側から提議説

【ロンドン二十三日發電】エキスチエンヂテレグラフ社リガ通信員の報道によればロシア政府は最近の支那政府よりの覺書に對し回答を發し、歐亞鐵道連絡のため直にハルビンで露支兩國間の紛爭を解決すべく交渉委員會を設けんことを提議したと

張作相氏露支最後談判へ 昨夜奉天驛發長春行列車て

稅關吏に歸任命令

哈市支那當局

【ハルビン二十三日發】支那當局は露支兩國の交通近く開通の見込みでハルビンに引揚た支那稅關吏に對し直に現場へ歸還方を命じた

露支交渉を希望し日本に斡旋依賴か

けふ勞農大使が幣原外相訪問 本國政府の意見傳達

【東京特電二十四日發】駐日勞農大使トラヤノフスキー氏は廿四日午後五時外務省に幣原外相を訪問することゝなつた、右は日英米佛各國の意嚮に對する本國政府の見解を傳達し、更に幣原外相が汪駐日支那公使と會見せる後の日本の意嚮を聽取するものと觀られる、勞農露國が直接交渉を爲す方法につき日本に意思傳達の勞を依賴せんとする機運動いてゐる際、勞農大使と幣原外相との會見は大局を制するものとして非常に注目されてゐる

幣原外相、支那側の和平條件を徵す

汪公使が本國に請訓

【東京特電二十四日發】勞農政府の態度は頗る強硬なるものあり、先手に出た國民政府は却て狼狽氣味となり、或は對外宣傳に、或は國際聯盟に縋つて平和解決の途を發見せんと焦慮する有樣となつた廿三日駐日支那公使汪榮寶氏が外務省に幣原外相を訪問したのも

其目的 は日本が果して露支間の調停に立つ意思ありやを糺したもので、之に對し幣原外相は日本は露支間に平和交渉の途を開くべく仲介の勞を執るに吝なものではないが、國民政府は如何なる解決條件によつて勞農政府との間に和平解決を爲さんとするか具體的方針を提出すべしとの意味を傳へたものと觀測する、汪公使は歸館後直に此旨本國政府に報告したので、この日本の態度は國民政府の對露策に重大影響を與へること疑ひない所である、然し茲に日本が最も注目せるは勞農政府の態度である、即ち勞農政府の態度は最近に至つて更に

強硬な るものあり、佛國外相ブリアン氏の調停を斷然一蹴し歐露の軍隊を移駐せしめ露支國境の警備を嚴重にしてゐる等の事情から觀て、果して日本の調停に應ずるや否や頗る疑問とされてゐる、從つて例令國民政府より調停を依賴し來つたとして我外務當局として我態度を決定するには尚幾多の研究を要するものと觀られてゐる

綏芬方面の兩軍 薄氣味惡い對峙

支那兵、部落で掠奪

【ポクラニチナヤ二十三日發電】支那軍用列車四ケ列車は二十三日ハルビンより到着した、之で國境の支那兵は三千名に達したが、露軍が依然優勢で露飛行機の偵察飛行も一兩日來中止され兩軍は薄氣味惡い沈默を守つてゐるが、一方素質低劣なる支那軍の增加に伴ひ附近の部落を掠奪し料理店を荒し國境住民に暴行を加へてゐるので、此地方の住民は今や八方より脅かされ邦人は一ケ所に集合して避難の準備中である

フランスは何等調停役を勤めぬ

(佛外務當局の釋明)

【パリー二十三日發電】勞農政府がフランスの調停を拒否したとの報に接したフランス外務當局は驚きの色を示しこれを不可解の事となし

フランスは何等の調停の役を申出たことはない、ブリアンは只露支兩國に穩和なる態度を執るべきを勸告し不戰條約の下に平和維持の義務を述べたに過ぎぬと語つた

楯の半面

辭める山本滿鐵總裁 (一)

無比の強人天下の山条

在職僅に二年……殊に中央政府との接觸上滯京期間多くしてその在滿期間は極めて短かつた山本滿鐵總裁であるけれど、その敬服すべき遠大な抱負と經綸とに加ふるに常人の到底窺及し難き頭腦と精力、及び永年の經驗等に基く事業的手腕の冴えは、獨り滿鐵諸事業並に人心に劃期的大革新を來したばかりでなく、一般在滿諸人士に對しても亦、非常な驚異と感銘とその他いろくな意味の印象とを與へたものだ。

▽―△

したがつて大事業家としての山本条太郎氏、あるひは政治家としての山本条太郎氏は、今日まで餘りに多く世人に知られ過ぎてゐる、またその多忙な而も頗る鋭角的な生活振りや、公人として若くは個人としての強大さなども今更これを疑ふものはない、世に所謂る「天下の山条」なる略稱が現はすその人物は云ふまでもなく「強人」山本氏の一面を遺憾なく物語つて居ると云へやう。

▽―△

ところで今やその滿鐵總裁の榮職を辭し、幾多の國策的大事業を計畫しながら「政變」と云ふ特殊の事情に支配されて、心ならずもそれ等諸計畫の中途にして、この滿洲を去らんとするわが山本条太郎氏本來の面目は、果して世人の想像するが如く、所謂く「強人」と云ふのみが其の人物の全豹であらうか何うか―筆者はこの場合敢て、固苦しい山本氏の人物論を書かうなど云ふ意圖は毫もないが、世に知られた經濟家として、或は政治家として、無比の「強人」と觀られて居る山本氏にも、斯うした楯の半面があると云ふ輕い意味で、此處に所謂「人間山本条太郎氏」なる一篇を書いて見ることにする。

社長でも笑ひますかね

「オヤ?社長が笑つたぜ、君、君、見給へアンなに社長が笑つて居るから……」

去年滿洲館で多勢の社員を招待した席上、山本氏がくつろいだ氣持ちで、傍への理事連を顧みて珍しく冗談に興じ出した際、席末において偶とそれを認めた若い社員の一人が、眼を丸くしてその笑ひ聲に注意したと云ふ話は、當時一つの挿話として傳へられたものだ。

▽―△

で、その話を直持つて行つて「社長あなたでも笑ひますかね」とぶツ突けると、當時の山本社長「馬鹿云へツ俺を金佛だと思つて居る」と苦笑したさうだが……

昔からよく云ふ地震、雷、火事、父親で血を別けた實際の父親でも、恐い恐いと云ふ感じを與へるのに、況してや滿鐵と云ふ大世帶を背負ひ、あのギヨロリと光る鋭い眼、鋼鐵のやうな黒緒鬚、前額と鼻翼に印する舊い創跡、強い意思を現す唇、辛酸と經驗と知謀を物語る額の皺、それにがつしりとした體格、幅廣い掌、等々何處から見ても柔かい感じよりは嚴格な、或は凄愴な感じを與へるその風貌は、初對面の印象において、對者に先づ威壓を與へるだから親く接觸する機會のなかつた若い社員連が「山本社長は恐いもの」あるひは「滅法人容敷さうな人だ、笑顔など殆ど見せぬ人に違ひない」と思つて居たのも無理はないわけ。

對露交渉の支那全權は未定

南北の意見一致せず

【ハルビン二十三日發電】ボクラニチナヤ、海拉爾、齊々哈爾、滿洲里各地のロシア領事及び館員は既に全部本國に引揚てゐるが支那側が種々口實を設け容易に旅券の査證をしないので獨り總領事メリニコフ氏のみが依然として當地に留まつてゐる、右は奉天當局が南京政府の對露態度軟化の折柄同總領事を引揚しめることは東鐵問題の平和的解決を圖る前提としてロシア側との交渉の相手を失ふことを不利として居るものと見られてゐる、而して對露外交々渉について奉天、南京何れより全權代表を任命するか南北の意見一致してゐないので、東鐵問題の露支會議開催までには幾多の迂餘曲折があるものとされてゐる

武裝せぬ軍隊の輸送は差閊無し

滿鐵線の使用に訓令

【東京二十四日發電】露支國交斷絶に伴ひ兩國は國境方面に兵力の移動を行ひつゝあるが、支那軍隊が軍需品等輸送のため滿鐵を使用する事に就いては從來通り許容すべきや否やにつき關東軍司令部より請訓して來たので、陸軍では二十三日午後二時より參謀本部に鈴木參謀長南次長以下參集協議した結果

現在の處では兩國は國交斷絶せるも交戰狀態にあるものではないから萬一の場合につき何分の訓令を發するまでは從來通り武裝せざる支那軍隊、軍需品の輸送を行つて差し閊へないとの旨決定し取り敢ず右の趣旨を關東軍司令部其他出先官憲に指示を發した

奉天の勞農領事けさ引揚げ來る

當分は大連に滯在

【奉天特電二十四日發】駐奉勞農領事館員の家族は此程大連に引揚げマルチノフ領事及び其令息ホレンシチユク副領事、ヤノコフレフマスカリヨフ兩書記生一行五名は後片付を了し二十三日二十二時四十分發列車で大連に引揚げたが當分同地滯在の由

白國共產黨示威運動

支那公使館前で

【ブラツセル二十三日發電】當地共產黨員約五十名は本日支那公使館前にて示威運動をなし其窓硝子多數を破壞した、之がため其內五名捕縛された

伊國政府調停に同意

米國務長官の

【ローマ廿三日發電】當地に於て半官的に聲明せらるゝところによればイタリー政府はアメリカ國務卿スチムソン氏が露支問題解決のために協調を求め來つたに對し同意を與へたと

山本滿鐵總裁は二十六日に出發

山本滿鐵總裁は社員に對する退社の告別挨拶も濟んだので二十六日出帆の香港丸にて上京の豫定であるが、滿鐵からは齋藤理事、山崎文書課長、□原秘書が隨行する模樣である

安達駐佛大使ブ外相會見

【パリー二十三日發電】本日フランス外相ブリアン氏は駐佛日本大使安達峰一郎氏と會見したが、安達大使は目下國際聯盟理事會代理議長として萬一係爭當事國より調停を依賴して來た時のために國際聯盟の執るべき調停方法に關しブリアン氏と意見の交換をなした

停滯貨物の廻送を要求

八木總領事より

【ハルビン二十三日發電】露支國境封鎖に列車の運行全く不能なのと北滿に於ける內外貿易商は商取引杜絶、國境に停滯しつゝある貨物一千數百車に達し甚大なる影響を蒙りつゝあり、內外商業會議所は結束して東鐵に對し停滯貨物の可及的南滿への廻送方を要望してゐるが埒開かず、外交團は本日之が前後會議を開いた結果八木總領事は各國領事を代表し本日東鐵に對し內外商人の損失を輕減せしめるやう至急機宜の處置を執られたしと重ねて要望するところあつた

英露國交恢復 露代表決定

【モスコー二十三日發電】ロシア政府は英、露國交恢復に關し商議を開くべく曩に英國政府の招請に對し之を承諾しロシア代表としてパリー駐在のドウガリエウスキー大使をロンドンに派遣すべき旨を回答した、但しロシアは今回は單に商議の手續につき論議するにとゞめると

大連市參事會

大連市役所では二十四日午前十時

宇佐美部長 浦鹽經由歸任

露國と露支關係險惡のためブラゴエチエンスクに立往生であつた滿鐵々道部長宇佐美寛爾氏一行は二十五日浦鹽着二十六日朝鮮郵船の金剛丸にて淸津に向ひ京城經由にて歸連する由

鐘紡社長辭任

【東京二十三日發電】鐘紡では二十三日午前十時より日本俱樂部に定時總會を開き當期利益金處分案(配當年三割五分据置)を可決した後、武藤社長は有志株主の留任運動に感謝の意を述べ「然し自分の辭意は固く來年一月の滿期を機會に引退する決心である」と言明した

人事

▲畑英太郎氏(關東軍司令官)家族同伴廿四日入港香港丸にて着任 ▲大岩實氏(同上副官)同上 ▲藤木敦實氏(士官學校教官)同上來連 ▲高橋勇氏(正隆銀行常務)同上歸連 ▲安田柾氏(大連汽船社長)同上 ▲服部省三氏(滿鐵顧問)同上 ▲岸田正記氏(代議士)同上來連 ▲エイ、ライドウナー氏(ソヴエイト政府商業代表部輸入部長)同上 ▲池內恒淸氏(檢察官)檢證のため二十三日安東へ出張

大觀小觀

◇武裝兵は御免蒙るが、武裝せざる兵隊と軍需品の輸送は差支へないといふ。

◇着物を着た人間はいけないが、裸の人間と着物なら宜いといふことゝなる。

◇「世界に告ぐるの書」之が露に共產派の援助を受けて革命を達成せる國民政府の宣言である。

◇宣傳戰に於いてロシア側は何うやら負け色がある。

◇長春驛構內の列車會議、日本側をアツと言はせて跳れた處が面白い。

◇女給は風紀を害するが藝娼妓は淳風良俗を助長するさうだ。

天氣豫報

廿五日 曇り 一時晴れ 但し驟雨模樣 南東の風 日出四時四十二分日沒七時十二分 滿潮午前零時零分午後零時廿五分 干潮午前五時四十分午後七時

各地の溫度

	十一時	昨日最高
大連	二四、五	二六、七
旅順	二三、八	二七、七
營口	二五、一	二九、八
奉天	二四、八	三〇、〇
長春	二七、二	二九、七

時節柄責任は重い 畑軍司令官來る
在滿邦人の後援をお願ひする けふ家族を同伴し

新任關東軍司令官畑英太郎中將は東京において前軍司令官村岡中將との間に事務引繼を終りスイ子夫人並びに令息令孃と共に副官大岩賞大尉同伴、廿四日入港の香港丸で來任した、此日關東軍より片山高級副官米山運輸所長、須藤憲兵隊長、關東廳より水谷地方課長等が特に沖まで帽島丸にて出迎へ畑中將は物なれた口ぶりで船中往訪の記者に語る

時局柄この土地に赴任した事に特に責任を感ずる、こちらには大正八年まだ陸軍省の軍事課長時代に素通りしてシベリヤへ行つた切り初めてだ、又仕事の關係で

軍事上 の事はまあ遠慮した方が好いと思ふ、それより寧ろ君達に北滿の時局の推移について教へて貰ひたい位だよ そんなわけで初見參の土地であり且つ極めて重要地點であるから在留同胞諸君の絶大な後援が必要だと思つてゐる、何分よろしく貴紙を通じてお願ひしたい

船の着埠と共に畑軍司令官は待合所內の休憩室に入り出迎への各方面有力者に夫々挨拶した、主なる出迎へ客は山田要塞司令官、水町守備隊司令官、三宅參謀長、二宮憲兵隊長、板垣高級參謀、外現役將校多數、同市よりは田中民政署長、石本市長、佐藤會頭、岩井少將等又滿鐵よりは松岡副總裁、理事高柳囑託その他幹部級であつた なほ畑軍司令官は關東倉庫に休憩十二時四十分列車で出發十三時五十五分旅順に着いた

新任の畑關東軍司令官

消費節約に 現金買ひを提案
週給制にすれば圓滑にゆく 社員會幹事會で協議

滿鐵社員會定例幹事會は來る二十七日午後三時より協和會館で開催されるが今日までに提出された議案は常任幹事用度事務所富永熊雄氏の一案だけで富永氏案は左の通りである

消費節約の目的達成の一手段として日常生活用品の現金買ひを勵行せんとする件

更にこの目的を貫徹するため社員會に於て左記の件を實行せんことを希望してゐる、即ち

一、滿鐵社員消費組合に對し現金賣制度の實行を要望する件

二、商工會議所、輸入組合、主なる市中小賣商店等に對し現金値引制度（キヤツシユデイスカウント制）を採用する樣慫慂の件

三、本件は昭和五年一月元日を期し滿洲各地邦人居住主要地に於て一齊に實行せんとするものにしてそれ迄に實行委員を設け市中側とも協力し全般の準備を進め度きこと

尚これに對し詳細なる理由書を附してあるが現金買を最も理想的に圓滑ならしむるには現在の月給制を週給制に改正することであるから社員會としてはこの給與制度改善方についても相當考慮されてゐるようである

全滿中等校 水泳大會
白熱戰を豫想

八月十一日大連運動場プールに於て擧行される滿洲體協主催の全滿中等學校水泳選手權大會の締切日（七月卅一日）も迫つて各校共必死の練習を續けてゐる、目下有望視されてゐるのは育威校及昨年の優勝校大連商業であるが旅順一中を始め奉天、鞍山、撫順、安東、長春邊からも參加の申し込みがある筈で火の出る樣な白熱戰が豫想されてゐる

雨を怨み乍ら 思はぬ休養
脾肉の嘆を洩す兩軍 あす豫選大會一回戰

滿洲豫選大會の劈頭を飾る今日の試合を樂しみに自信を以て靜かに夜の眠りについた安東、撫順兩軍の選手は勿論の事廢る三校の選手達も夜來の豪雨にすつかり戰ひの出鼻を挫かれてうらめしそうに雨に濡れた道を眺め乍ら脾肉の嘆をもらしてゐる、然しゆつくり休養が取れて何よりだといふ監督の先生達に慰められ曇加減の空を眺め乍ら作戰に餘念がない、戰ひは社告の如く廿五日に延期された

埠頭の雨

黃白嘴に 燈臺守
宿舍を建築中

大連灣に於ける黃白嘴燈臺は無監視であつたのを近く監守を設けることになつた、其れで燈臺局に於ては目下監守の宿舍を建築中であるが本年度內には實施される見込みである

この燈臺は從來大和町からの送電により點火してゐたものであつたが、電線泥棒の災厄又は風雨の障害があつてスイッチは押しても果して燈臺に點火してゐるや否やは判明せず航行の船舶も非常に不安にかられてゐたが今回監守が設けられることになれば其の危險は除かれることになる

出發の日が近づいた 全日本一周旅行團
各方面から利用者が增加して 殆んど滿員の盛況

ジヤパン、ツーリストビユーロー大連支部主催、大阪商船會社及本社後援の全日本一周觀察旅行團は愈々來る三十一日限り申込を締切り八月八日使用船アメリカ丸は華々しく大連

出帆 の筈であるが、ベイカル丸事件の爲め最初の豫定を一部變更したので申込み者の減少を多少懸念はれてゐたに拘らず、何分破天荒の決擧とて夏休みを利用して南は臺灣、北は樺太千島まで其間九州の各都市に寄港して祖國最近の文化に接する絶好の機會を逸すまじとの希望より申込み日一日と增加し、締切期日まで尚一週間を殘す今日既にAクラス三百五十名Bクラス亦殆ど滿員の盛況で今は今回特に擴張設備せる客室を餘すのみとなつた。

大連 及沿線よりの申込者の中には大連齋藤鷲太郎氏の嚴父で當年七十歲の老翁を初め、演の家の女將、某洋畫家其他各方面より有凡る職業階級の人々多く、中には此の機會を新婚旅行に利用し、出帆の上は樂しき社會の縮圖たる此の一小「アメリカ丸世界」の人々の羨望の的となるであらう處の滿鐵社員の新夫婦があるかと思ふと、遼陽からは同じく若い滿鐵社員の仲間で老ひ先短かい兩親に未見の各都市を見物さし度いとの殊勝な心掛けから各自の老父母の旅行を申込み來る數名の

一團 もあると云ふ有樣で滿鐵側では一、二ケ月の休暇を有する社員に對し聰明なる課長乃至主任達は部下を慰勞すると同時に其の見聞知識を廣く新たならしめん好意から進んで入團を申込ましむる向も少からず、此分では締切期限までには大連に於ける豫定人員を優に超過する盛況を示してゐる

また使用船アメリカ丸は今回の快擧に就航する爲め內部に大改造を行ひ約一ケ月の旅行團員をしてより多く愉快ならしむべき諸設備を施した上、一千圓を投じて

完全 なるラヂオを設置したから到る處より大連のニユースは勿論全國の放送局よりの各種放送を受信し坐ながらにして世界の出來事、世界の音樂等に接する事を得べく、其他航海中の娛樂機關として碁、將棋、輪投、蓄音機、麻雀、活動寫眞は勿論船客の爲め

盲人が三人で 滿蒙を踏破
卅萬の盲人を刺激したいと けふ香港丸で來連

「私達はたとへ盲人であつても人間の精力がどんな事を仕出かすかと云ふ事に就いて皆樣に見て頂き一方萎縮し勝ちの全國三十萬盲人達を勵戟しようとして思ひ立つたのです……」から云つた強い信念の下に赤い夕陽の滿蒙の奧地深く探りを入れ樣と東京本願寺で經營する盲人技術學校の生徒、築波一海、藤澤靈水、福岡豐の三君が玄人はだしの旅裝も甲斐々々しく廿四日入港の香港丸で來連した、一行のうち藤澤君は語る

不自由な旅行だらうと云ふので皆樣が色々な意味で同情して下さつてゐます、福岡君は三年前にも（當時また目があいてゐた）滿蒙旅行を企てた事がありますので今度は旅行の方は經驗のある同君が主として私等の先達になつてくれる事になつてゐます約六十日の豫定で四平街から遼原に入り通遼に入つて出來ればまだ奧にまで進むつもりです、何分御紙でも是非私達のこの企てを成功させて下さる樣お願ひします、今日は一先西本願寺に參るつもりでゐます

お互ひに不自由な身體を助け合ひ乍ら甲板に上る三名の姿はいじらしいものであつた【寫眞は一行】

滿洲豫選大會は 降雨のため明日に延期

自轉車と 電車衝突
昨夜監部通で

二十三日午後十時四十分ごろ南滿電鐵二號系統二十一號電車は車掌李富榮（二一）同張齊三（二七）乘り込み運轉手張連溪（二七）操縱の許に奧町停留場を發し敷島廣場に向ふ途中監部通り三十四番地前に差し蒐つた時、旅順松村町二三旅順タクシー運轉手喬傅壽（二七）の操縱する自動車が方向轉換を爲すべく電車線路上に後退した際機械に故障を生じて停車した刹那に衝突し自動車を使用に堪えざる迄粉碎し千五百圓の損害を與へ電車は前面に約百二十圓の損害を負ふた

飛行船好績

【土浦二十四日發電】霞ケ浦航空隊大格納庫內にて三ケ月の日子を費して竣工した我國唯一の三百二十八號飛行船試驗飛行は二十三日午後六時二十五分同隊枝原司令以下立會の下に約三十分三百米突の高度で實驗し好成績を得た

寫眞現象の暗室の設備をも設ける事になつてゐる

運轉手試驗

來る二十九日午前八時より關東廳下各署一齊に自動車運轉手試驗が施行されるが工學法規の筆記試驗及び實地試驗の二部に別れて午前中に終る見込で沙河口署に於ける受驗者は九十名內十三名が日本人で後は全部支人なりと

上海のコレラ 猖獗の兆候
一日に新患者十四名

上海よりの入電によると廿三日コレラ新患者が十四名も一時に續出し、遠からず蔓延の徵驗著なるものがあつて、昨年よりは餘程猖獗を極むる模樣があると、それで當地のその筋では之が防疫に關し種々打合せを行つてゐる

靴修理商張玉崑（二一）が車內の混雜に紛れ伏見臺一一滿鐵社員前田寬吾（二七）の洋服上衣のポケツトに手を差し入れ一圓二十錢および水晶印鑑在中の墓口を掏摸取つたが逸早く前出に氣付かれ逢坂町派出所に突き出された

更にペスト 發生す
入港船から

【上海特電二十四日發】南洋のウンガトールを發航し香港に寄港して二十一日上海に入港した一貨物船の乘組船員中に流行性感冒樣の患者あり、檢疫の結果腺ペストなることが判明して同船は十日間の停船を命ぜられた

發砲して 工事を妨害
豆滿江工事に 支那側密令

【間島特電二十四日發】日本側の豆滿江護岸工事に對する支那側は神經過敏で警戒怠りないが仄聞するところに依れば大拉子駐屯陸軍第一連々長李慶豐氏は此程部下各地に於ける排長に對し「各自部下を督勵して今後日本側の護岸工事に從事する朝鮮人を發見する場合は遠慮なく發砲し國土保護に犧牲を拂ふべし」との訓令を發したと尚之は上司よりの密令に基いてゐる模樣である

女事務員に 墮胎嫌疑
醫師も睨まる

大連櫻花臺一四四嶺前莊內南二十三號室大連市役所事務員佐藤裕（二一）はこの六日若狹町四三永井病院で分娩し八日大連署で火葬認可證を受け九日わざわざ旅順に行つて旅順火葬場で火葬に附した事より檢察局に不審を抱かれ大連署の手に調査されてゐたが、二十四日午前十時いよいよ大連署に呼び出され墮胎の疑ひあるものとして午後零時半まで新妻警部補の取調を受けた

內容は極秘に附されてゐるも姙娠既に七ケ月になるも世間體を秘して醫師や產婆にも見せず腹帶も締めず姙婦としての手當をしなかつたもので消極的に墮胎の責は免れざる模樣である、尚分娩の際裕は姙娠七ケ月で生れた嬰兒もなほ生存してゐたと云ふも當時診斷した永井醫師は診斷書に姙娠六ケ月とし、なほ死產兒と記入してゐるので永井醫師の行爲も疑惑の目を以つて睨まれてゐる

掏摸突出さる

二十三日午後四時三十分ごろ老虎灘行七號系統電車內にて山手町四

收容中の 二名保釋
水產不正事件

水產不正事件に關し嶺前屯刑務支所に收容中であつた關東廳殖產課水產技手柳生大三郎および水產會評議員船問屋横越友吉の兩名も今回證據湮滅逃走の虞なきものとして保釋を許された

試運轉の取締

最近大連署へ出願する自動車試運轉の中には試運轉許可滿了二ケ年を知らぬ顏して運轉し或ひは許可期限內と雖も運轉指定區域外を運轉したり、人畜の轢き逃げをする等の不都合な者が多いので大連署では事故防止のため嚴重取締の眼を光らしてゐるが、この際運轉手は試運轉中と雖も必ず許可證を携帶する樣にしてゐて貰ひたいと、若し携帶しない者を發見の際は嚴重戒告し情狀によつては告發して相當處分をする筈

醫師法違反
市內西崗

街街勝街二四王紹庭（四四）は廿三日午後三時半市外香爐礁第三區靳克勤の頭痛を治してやるからと小洋一元二十錢にて注射を施したる事發覺醫師法違反にて二十四日沙河口署に擧げられた

醉拂ひ暴行

大連市錦町五洋服職工宍戸貞七（二七）は二十三日午後十時十分ごろ浪速町三丁目を酩酊して通行中日支人の別なく暴行し飲食店の出前持を投げ飛ばし器物を破損する等手に負へぬので暴行者として大連署に引渡された

無錢遊興

大連惠比須町六五野田眞吉は逢坂町五四貸座敷神吉に登樓し四十六圓六十六錢の遊興を爲し勘定を支拂はぬ爲め二十四日大連署へ詐欺の告訴をされた

夏物の大安賣

盤城町の滿壽屋モスリン店は廿三日から廿七日迄モスリン萠尺一反三圓六十錢より同友仙一尺半巾十一錢よりと云ふ破格値段で夏物一掃大賣出をすると▲浪速町の浪華洋行は廿三日から廿五日迄夏物一切を思ひ切つた半額値段で提供して居る

港船北馬

◇諾威船フエガー號は奉天政府へ納入の火藥百五十噸を和蘭より積み來り去る十九日河北へ入港し廿二日京奉線で奉天へ輸送した【營口】

◇過般來の豪雨で瀋海線北三家附近は水につかり同地附近の鐵橋は押流された始末で全く交通杜絶したがこのまま增水しなければ一週間で復舊の見込みであると【奉天】

◇吉林省政府民政廳長章啓槐氏は此の程中山服の服地は國產を使用せよとの通令を延邊各地に發した それに依ると若し服地に外貨を使用する者を發見した場合は嚴罰に處するとある【間島】

現會頭を始め常議員も村井氏を極力推薦

本人はいまだ色よい返事をせぬ

副會頭に瓜谷氏の呼聲

大連商工會議所佐藤會頭ならびに高田、横田兩副會頭は朝刊所報の如く廿三日役員會に於て任期滿了につき辭任の挨拶を述べ、役員會は三氏の辭任を承認するところあつたが、これによつて三十日の常議員改選の結果いよいよ後任會頭を推薦する段取となつた、目下有力な候補者は既報の通り滿銀村井啓太郎氏で現常議員中にも同氏の後任に對しては異議なく廿三日役員會終了後も佐藤高田正副會頭及有志常議員數氏は別室に於て村井氏の推薦方に就き協議の結果、非公式に村井氏の承諾を交渉するところあつたが村井氏は依然としてこれを固辭した模樣である、しかし新常議員によつて滿場一致推薦し交渉するに至らば同氏の就任を見るも難事でないと見られてゐる、而して副會頭は横田氏の重任を見高田副會頭の後任には特産畑から瓜谷氏の聲が高い

浦鹽航路の配船變更

朝鮮郵船が八月中に實現

【京城一】朝鮮郵船會社では現在浦鹽の命令航路に條件以上の二千噸級二隻を配船してゐるが露支斷交の結果北滿貨物が浦鹽に出なくなつたので千五百噸内外のものに配船變更方を遞信省に申請中の處略諒解を得たので八月中に實現の見込であると

果は馬車運搬によるものも專用線により低廉な運賃であるものも一率で頗る均衡を失してゐる點より愈々之が改正をなすことゝなり、來る九月一日より大豆は大體に於て決定した

專用線　一噸　四十三錢
其他　一噸　一圓十七錢

沿岸貿易は大連を中心に

天津方面は頗る不振

◇―井手正壽氏視察談

最近天津方面の沿岸貿易事情並に北平地方を視察して歸來せる滿鐵輸入貿易主任井手正壽氏は上記地方の近況に就き左の如く語る

天津は昨年迄白河の溯航が出來たが何分上流から三五％乃至五〇％の泥土を流下して來るので逐年河口が淺くなり本年は汽船の溯航不可能となり、塘沽に上陸する外無く非常に不便となつた、天津、北京共例の排日運動は在留邦商に大分影響した模樣で兩地共萎微の感が深かつた、然し最近は排日も餘程緩和の傾向にあり「思想排日」と稱する學生の大道演説等も大した影響なく唱熄した樣であるが天津の沿岸貿易港としての將來は地理的にも政治、經濟的にも優越せる大連に繁榮を奪はれて背後地市場を有するとは云へ漸次衰退の外無きものと思はれる、即ち七種差等税の實施や山東方面における劉珍年の從價五分税の徴收や其他港灣設備等の見地よりするも自由港である大連は將來東及び渤海沿岸貿易に對し、斷然天津をリードすることゝなるべく現に累年の輸移出入總額に於ても天津は外國品、支那品共逐年減少しつゝあり、二億七千萬兩に過ぎぬが大連は三億三千二百萬兩に達し三、四年前と比較する一億兩内外の激增を示して居り、今後益々斯る傾向は顯著となるべく、北京方面も昨今は非常な淋れ方で、南京遷都以來百萬内外あつた人口が十五萬から減少したとのことで他は豫想し得べく同方面の今後の購買力は大して期待出來ぬ、殊に北京名物の平康里の如きは火の消えた如き寂れ方であるといはれてゐる、例の救國會等の排日運動は全く熄んで街路の排日ビラも先日將介石の來平以來姿を隱し「打倒日本帝國主義」の城門の大看板も「日本」の二字は削り去られてゐた

朝鮮向豆粕補助改正

原料大豆運賃を標準に

【安東發】滿電が安東油房に補助する朝鮮向豆粕補助金中奧地から安東着原料大豆に對しては從來の支那街油房も日樫公司の如き專用線を有するものにも一率に一噸に付一圓五十錢の補助金を附與したが、右補助金は豆粕製造業者と安東との利益を均霑せしむる上から安東驛と油房迄の原料大豆運搬賃を標準として之を補助する趣旨より出でたるもので、其後調査の結

耳附豆粕初船積

斤量檢査實施後に於て

最近内題になつてゐた耳附豆粕の斤量檢査も既報の如く愈實行せらるることになつた、その實行方法につき昨二十三日種々打合せを行ひこの二十六日出帆の大連丸に斤量檢査第一回の船積をすること

滿洲商議令の發布は來春ごろ

同時に新令が發布されて正副會頭など改選

滿洲商工會議所令は關東廳と外務省の間に諒解成り、本年末までには發令の模樣であつたところ、政變その他で又も延引を餘儀なくされたが、過般篠崎書記長上京の際關係當局に充分諒解を得、促進方を交渉して來たので、遲くとも來春には發令されるる模樣である、而して新令發布の曉は強制法により會員加入及び常議員、正副會頭の選擧が再び行はれると

社會公共事業に

運用の簡保積立金

關東廳管内の簡易保險契約に對する積立金は現在約三百二十萬圓に達して居り此の金額は關東廳管内に於て積立金運用の目的に合致する社會公共的事業の爲に投資し得るものであるが當管内には地方公共團體は僅々二市に過ぎず社會公共的事業の企業が少いので現在投資して居るのは別表の通りであり尚投資餘力は二百萬圓を超過して居る（單位百圓）

保險積立金運用狀況（七月廿三日現在）

債務者	貸付金額
沙河口第一住宅組合	二〇、〇〇
ゑびす住宅組合	二〇、〇〇
大連基督教青年會食堂	四四、〇〇
大黑住宅組合	三二、〇〇
大連市（公設質舖）	三〇、〇〇
同（職業紹介所）	一五五、〇〇
同（千代田町市場）	五五、〇〇
大和住宅組合	二八、〇〇
大連市（御市場）	三六、〇〇
同（沙河口市場）	二五、〇〇
山葉住宅組合	三五、〇〇
奉祝記念住宅組合	三二、〇〇
戊辰住宅組合	二八、〇〇
綠ケ丘住宅組合	四四、〇〇
昭與住宅組合	七二、〇〇
富士見住宅組合	二八、〇〇
新旅順第一住宅組合	三〇、〇〇
關東州水產會	二七、〇一
遼陽有信住宅組合	一三五、〇〇
撫順永安住宅組合	二三、〇〇
撫順文化住宅組合	二九、〇〇
奉天滿鐵住宅組合	二一、〇〇
奉天甲子住宅組合	三三、〇〇
滿洲長春住宅組合	三〇、〇〇
吉長住宅組合	三三、〇〇
長春豫算住宅組合	二四、〇〇
長春共立住宅組合	二三、〇〇
合計	四〇、〇〇
貸付濟	一八五六、〇一
目下處理中	六二四二、〇〇

高橋正隆常務歸連

正隆銀行常務取締役高橋勇氏は過般東上の途中ではいかる丸の海難事件に遭遇し狼狽せる數百の乘客の先に立つてメガホンを口に適宜の處置をとり各方面より賞讃されたところであるが、同氏は廿四日入港香港丸で夫人令息令孃同伴歸連したが同氏の東上に關しては一部のものより五品、錢鈔合併問題の渦中より逃れる爲だ等と稱されてゐるが、同氏は五品、錢鈔合併問題が煩はしくて逃げたんじやないよ、私が前東洋汽船時代注文した貨物船二

になつた、又大連油坊聯合會の檢査ずみの印がなければ上海方面の取引先では受取らないそうであるから、聯合會と手を切つたと稱する三泰油房には一打撃になる譯だ上海の重なる取引先は華商雜糧公會及白米糧公會である、尚實施期間は七月十五日から八月三十一日迄である、しかし戎克船に依つての輸出には如何なる手の施し樣もないと聯合會ではこぼしてゐる

鮮銀理事の後任問題

色部事務官か武安支店長に決定

朝鮮銀行井口理事は任期滿了となり八月十五日の株主總會に於て辭任するに内定してゐるので、後任理事に就て種々取沙汰されてゐるが大藏畑の運動相當猛烈なるものあり、鮮銀としても井上藏相と加藤總裁との間を圓滿に取持つてゆくには大藏畑から推薦するを得策とする意見有力にて、候補者として色部事務官の呼び聲高く、手腕力量から云つても色部氏の就任は最も可能性あるものと云はれてゐる、たゞ行内より拔擢することになれば大連支社支配人武安富男氏

隻(一萬噸)が出來上つたのでその受渡し事務等の爲に行つてゐたもので外に何もありやしないそして序いでに子供等を連れて來たまでさと輕く片づけた

行詰に頻した創業時代

早々七萬圓の赤字

滿鐵社員消費組合（二）

團體めぐり

古い言葉で「千里の道も一歩から」といふのがある今日いたるところの市中商人に恐れらるゝこと猛獸の如く、その一顰一笑が在滿商人の神經を刺戟すること針の如く、左樣に偉大な怪物となつた社員消費組合の生立ちも、正に千里の道を一歩から踏み出て來たもの に違いない、しかし途中普通商人が驚で來るところを彼は汽車で來た、時には飛行機にも乘つたであらう、そうして彼は滿洲商店界に暴君的の君臨を試みたのである。

◇

社員消費組合が歩いて來た千里の行程は大體五期に分つことが出來る

第一期　指定調辨人時代
第二期　匿名組合調辨時代
第三期　合名會社調辨所時代
第四期　社屬消費組合時代
第五期　社員消費組合（現在）

すなはち第一期は未だ滿洲の山野に砲煙消えやらぬ明治四十年八月、滿鐵が社員の生活安定のため調辨所制度を設けて沿線の社員に白米、醬油、味噌の三品だけを、原價に近い値段で供給したに始まる、最初の調辨人に朽岡宗一といふ人、間もなく供給品を擴張して砂糖、木炭それに多少の雜貨を加へ沿線數ヶ所の調辨所に配給したものだ、ところが兎角もの事はいすかの嘴のくひ違ひで明治四十三年十一月の勘定では、驚く勿れ三年間に七萬三千餘圓の赤字流石の調辨人朽岡君もうくく尻尾を卷いて逃出して終つた、そこで滿鐵が大穴を埋めてやり、組織を匿名組合に變更、支配人に千田次郎君を据え、同年十二月から再び店開きをしたのである。

◇

何分そのころは滿鐵が本腰で援助をして呉れるではなし、殆ど個人經營も同樣で、業態は擴張しては縮くゝりが付かず市中商人の增加に連れて競爭は激しくなり一時は、市中小賣物價より匿名組合の物價の方が一割五分乃至二割も高いといふ有樣に滿鐵社内から組合撤廢論が起つて來た、時に大正五年――そこで撤廢すべきか否かを滿鐵重役會に持ち出した結果永い歴史ある組合を撤廢するは惜いといふ極單純な理由で存續するに決定、同時に組合を滿鐵地方課の直接監督下に置き、いよいよ大正五年十月から滿鐵が本腰の援助を仕始めたのである。

◇

歐洲戰爭の餘波は間もなく海を越えて、日本に黃金の濤を漂はせ初めた、物價は日々に騰貴する、俸給生活者にとつて大きい脅威である、そこで滿鐵は社員の生活安定を圖らねばならぬといふので匿名組合の積極的活動を企て大正六年九月資本五萬五千圓の合名會社を組織し社長に遠藤藤太君支配人は矢張り千田君を据えて社員の料費は月收の七割まで、生活必需品である白米、醬油、味噌の三品に限り原價販賣といふ恩典を與へこゝに物價騰貴に對抗する非常手段を執つたのである。（寫眞は千田末郎氏）

黄塵

◇…非常な增收豫想。

◇…ところが一方内地の所增收豫想で、此の朝鮮米で補充する必要つて朝鮮では滿洲粟の減しさうな形勢。

◇…辭任說を傳へられた社長何氣ない顏で「家伴れて來る筈だつたがひつゝ歸連。

◇…變り者の高橋正隆常合併問題で逃げたり何ものか」と嘯きつゝ

◇…村井商議會頭、横田まあそこらの所で落ひ度い。

◇…一割六分の大連製氷入分の開原信託。

◇…不景氣た滿洲にもを續ける會社がある。

◇…但し、タツタ二ツだない話。

七月上旬の鴨江流筏狀況

【安東發】採木公司消原監視所か

增資氣構の大連製氷

大連製氷會社では來る二十九日株主總會を開き當期決算を

大汽の石油輪送船買入

市況

市場電報

商品

錢鈔

株式

特產

奧地市況

上海爲替情報

爲替相場

上海標金

手形交換高

印度麻袋

橫濱生糸

神戶豆粕

大阪株式

東京株式

大阪期米

東京期米

大阪綿糸

大阪棉花

平安異香（59）

葉多默太郎作　中一彌畫

陥穽（二）

峯の體は恐怖に波うち、その眼は一杯の涙だつた。哀願の涙だつた。

——だがそれが何の役に立つたであらう？

不倫好色の師輔には、處女の切なげな戦きこそ、何物にも替へ難い無上の刺激だつた。大きく見開いた眼に、溢れんばかりの涙こそ厚顔無恥の神經を、少年の若さに反す甘味至極の芳醇だつた。

師輔の慾情は、無上の甘酒に醉ひしれて、少年のやうなときめきを覺えながら、いやが上にも燃え上つた。體中の血管といふ血管は烈しい血の流れに波うち、體は火のやうに火照つてゐる——。

師輔は堪へられぬものゝ如く、舐めても舐めても乾く脣を舐めながら、しどろもどろにぢり寄つて行く。

「許せといふのか。何が許せだ、娘——」

「殿様、お許し、お許しなさつて……」

「何をおぬし云ふてゐるのか俺には解らないぞ。何もそんなに恐がることはない。やさしくしてやらうといふのでないか。さあ、もういゝ、此方へ來るんだ」

と、伸びた太い腕——

「アレ」

と小娘、必死、伏轉んで師輔の袖の下を潜りはしたが、

「どつこい、さうはいかないのさ」

帶の端に手がかゝつたので、さらりと解けて、獨樂の紐だ、幸の體がくる〳〵廻つて、帶は師輔の手に殘る。亂れて、几帳の下にワツと泣き伏した女は、無殘、風に揉まれた緋牡丹のやうな姿だつた。

師輔は笑つた。大聲をたてゝ笑つた。何か怪獸の笑ひのやうな聲だつた。

笑ひながら師輔は女を眺めてゐる。

體を曲げて泣き伏してゐるのに奇妙に捩けて、衣の下を餅のやうに張りきつてゐる腰から股のあたりの曲線——

師輔はも一度舌なめずりをして這ふやうな恰好でにぢり寄つた。

が、文机のところへ來ると、それを引寄せて頬杖だ。どろんとした眼を女に据えて、膠のやうなわつとりした聲——。

「誰しも初めは皆そのやうに震へてゐたぞ。泣いてゐたぞ。だが、一夜俺の腕に抱れて眠つた明くる朝は皆ケロリとしてゐる。二晩目には甘へをる。三日目には俺に可愛がれてゐる暮しの出來ることを喜ぶやうになる。四日目からは俺の寵愛を獨占めにしようとするやうになるのだ。だから見ろ、局々の女共は皆大競爭だ。一生懸命にやつしをる。閨に炷きこめる香の品定めに苦勞しをる。な、分つたか。分つたらうな、娘、だから」

「お許し、お許しなさつて、殿様……」

「ハヽヽ、おぬしは恐がつてゐる。だが何んでもないのだ。そんなものはな。知らぬ世界へ行くのはおつかない心細い思ひをするものだが、行つてみればおぬし、來てよかつたと思ふくらゐのものぢやよ。だから目をつむつて俺のいふ通りになつて——いやだといつたとて今夜は許さぬぞ、三日も四日も焦らされた上だからな」

「あゝ、殿様、わたくし、わたくし……」

「厭か、まだ厭だといふのか——あゝさうだ。何時ぞやおぬしには云ひかはした男があるから、と、いふやうなことを云つてゐたな。知つてゐるぞ俺は。大學寮の學生の宮部三郎——そんなに驚くことはない。俺は何でも知つてゐる。だがおぬしが眞その男がいとしいと思ふなら、男のために身を捨てた氣になつて俺に從ふがよい。その男は俺の手の中にゐるのだ。無禮なことがあつたので捕へさせてあるのだ。殺さうと遠島にしようと俺の思ふまゝだ。どうだ娘、おぬしには身に代へて男を救ふてやる氣はないか。俺だとてその男が憎いわけはないのだ。たゞおぬしを手に入れたばかりだが——フ、、こやつ俺を睨みをる」

きつと振仰いだ小娘の顔——泣き濡れた眼に烈しい憤怒と憎しみの色がたゝえられてゐた。

「それはそれは本當のことでございますか」

映画と演藝

東京行進曲

原作は知らないが木村千疋男の脚色は可成り複雜ならしい原作を暢達に纏めあげてゐるだけにいさゝか前半は筋を追ひすぎた嫌がある、その代りにいろ〳〵な人物が出沒し場面が盛んに變つて行く興味がある但し原作が未完成のうちに脚色された爲めに映畫の前半で見れば可成り重要な伏線になりさうな劇作家島津とピアニスト山野が後半で影をかくしてゐる、それからこの全篇からは惡い意味のジアーナリズムな匂ひを感ずるやうに思はれるのは原作の味であらう

◆監督の溝口健二は凡ゆる手法を驅使してゐるが、時々思はない正確さを失つた手落ちを示してゐる、しかし從來の日活現代劇の大作に較べるとこの作品は全く感觸を異にしたところを示してゐる、日活の現代劇としては珍らしく自慰的な手法の少ない映畫である、この點に興行價値が映畫として盛られてゐる

◆カメラは濱田達之で特に園遊會の場面は碧川技師が苦心したオーソカラー（天然色）が挿入されてゐる筈であるのに浪速館で上映されてゐるプリントにはそれがない、私は之に對していろ〳〵な疑問を持つてゐる

◇キヤストでは矢張り夏川靜江の道代と小松勇の佐久間雄吉が良い、大體に俳優の指導も氣持よくなつて來た、不相變氣になるのは誇張的な入江たか子の演技である

◆實を言ふと私はこの映畫を三度に分けて見た、第一回は京城で約一ヶ月前に後半を、そして今度試寫く初日に一貫した作品の前半を見た爲めに殘りの作品の匂ひがぴつたりと來ないが、どこから見ても見てゐられる映畫である……

◆結局スケールの雄大な小唄映畫で東京行進曲の流行が絶對的に[illegible]つてゐる

映畫界東西

東京丸の内の四千人を收容する日本映畫劇場は愈八月一日に起工式を擧げる

◇マキノでは當分の内毎月二本宛の發聲映畫を確實に製作することになつた

滿洲日報

これ! 坊やの母ちゃんよ
カルピス

マドホロ
冷藏庫
籐椅子
レースカーテン
家具と裝飾のいきた
大連市伊勢町二六
滿家工業會社
電話七九六八番

露支會見不調に終り　メ總領事即時歸哈す

支那側再び軍事行動を進めて　張作相氏全軍を指揮

【長春特電二十四日發】廿四日長春で行はれた張作相、メリニコフ兩氏の會見は支那當局がその當時まで極秘に附してゐたが其後判明したところによれば、右兩氏の會見は全く豫め計畫されたもので事實は支那側が歸國せんとするメリニコフ氏を無理に引留めて張作相氏に會見させたものである、兩氏の間に立つて斡旋の勞をとつたのは蔡濱江交渉員で、最近中央政府が稍軟化したので外國の調停ある前に兩國間で何とか平和的解決の途を講じやうと兩氏の間を往來し斡旋に努めた結果、漸く會見の段取りまで漕ぎつけたものである、支那側が廿二日廿三時廿九分發の列車を最後に軍隊及び軍需品の輸送をピタリと止めて今日まで一輛も動かさなかつたのは全く右の前提であつた、然し兩氏の會見が遂に不調に終りメリニコフ氏は即時歸哈することゝなつたので支那側は再び豫定の軍事計畫を進め一旦歸吉した張作相氏は近く自ら哈爾賓に出馬して全軍の指揮に當るものと信ぜられてゐる

メリニコフ總領事哈市へ

【長春特電二十四日發】張作相氏と會見したメリニコフ勞農總領事の乘つた客車は二十四日十時三十分其の儘寛城子驛に廻送したが、十四時二十分長春發列車に連結し蔡交渉委員李副理事長[illegible]多數の護衛兵に護られハルビンに向つた

監禁狀態のまゝ　メ總領事歸哈す

【ハルビン特電二十四日發】長春において張作相氏と會見のため赴長したメリニコフ總領事は談判遂に決裂となつた爲め監禁狀態の儘今夕歸哈した、これによつて見れば支那側は未だ今後メ氏を介して交渉の糸口をつけんとするものと見られる、只長春談判は破裂を總ての決裂と見、また支那側が攻勢に出ると見るは早計であると消息通は觀察してゐる、しかし何れにしても東北首腦會議直後の長春談判は少くとも一兩日中に何等かの形となつて現はれ來るものとしてメ氏の歸哈は注目されてゐる、なほメ總領事が支那側吉長鐵守使の警戒あると雖も武裝は斷じてゆるさぬ滿鐵構內にあつてメ氏にしても支那側の監禁から脱出せんとの意志あらば容易にこれをなし得る筈なるに、そのまゝ歸哈したことは一般にロシヤ側が日和見であることを裏書するものだといはれてゐる

支那側が誠實を示さば　第三國の調停に應ぜん

きのふ幣原外相を訪問したる　駐日ロシヤ大使強調す

【東京特電二十四日發】露支紛爭問題に關しロシヤ大使トロヤノフスキー氏は廿四日午後五時外務省に幣原外相を訪問懇談のうへ同六時歸館したが、右會見に於て幣原外相は「日本は現下の露支紛爭に就ては調停の意志ある」旨を婉曲に表明して露國が調停に應ずべき條件につき意嚮を質したところ同大使は

支那今回の態度は毫も誠意が無かつたから今後支那が誠實を示すにあらざれば絕對に第三國の調停を受けない、しかして若し支那が眞に誠意を披瀝し武力によつて回收した東支鐵道を舊狀に復せしめ拘禁せる露人を釋放する等の具體的誠意を示さば、其の時は第三國の調停を受け入るべし

と事前狀態回復を絕對的條件として强調し、別段何等決定することなく双方の探り合で午後六時會見を終つた

支那の對露方針は　斷じて變化は無い

會見後、張作相氏談

【長春特電二十四日發】メリニコフ氏と會見を終つた張作相氏は往訪の記者に語る

メリニコフ氏とは多年の知己であり今度氏は本國に引揚げることになつたから久し振りで面會し別れの挨拶をしたまでゞ全く個人の資格である、時局問題について話したことは事實だがその內容はいへない、國交問題は兩國の中央政府が決すべきことで我々は只政府の命令によつて處置するだけであるから此際自分の意見をいふことは出來ないしかしけふの會見の結果中國政府の對露方針に變化を來すごときことはない

不戰條約成立で　和平勸告か

米國が各國と共に

【東京特電二十四日發】露支關係については未だ何等積極的に和平勸告斷交等何等の行動には出でゐないことが明かになつたが、二十四日正午不戰條約成立と同時に列國と共に同條約の精神に基いて國際問題に關し露支兩國の注意を喚起し、また和平勸告を爲すこともあるべく二十四日の祝賀式席上について米國務卿スチムソン氏よりこの問題について何等か言及するにあらずやと豫想されてゐる

東鐵問題は　單獨解決する

孫科氏豐臺で語る

【北平二十四日發電】東鐵回收善後策に關し政府の重要使命を帶びたる鐵道部長孫科氏は今朝十一時着平した豐臺まで出迎へた記者に語る

余が全權として哈爾賓に赴く樣な事は無い、對露交渉は朱紹陽が全權たるに決してゐる、露支は遂に斷交したが國際聯盟にも不戰條約關係にも支那は東鐵問題を持ち出す意志はない、中央は單獨解決を希望し、解決法がある政府は和平解決を希望し、露國でも駐獨露國大使が支那公使蔣作賓の下に人を派し和平解決方につき商議してゐる

駐佛公使外務長官訪問

【パリー二十三日發電】フランス外務長官ブリアン氏は本日支那公使の訪問を受け、同公使は支那は飽くまで平和解決の希望なる旨を保證した

米の勸告　勞農に未着

佛外相傳達否認

【モスコー二十三日發電】米國々務卿スチムソン氏の對露勸告はフランスの手を經て勞農に傳達せられたと傳へられてゐるが、今尙勞農外務省に到着し居らず、果してスチムソン氏の勸告は如何になりあるしか頗る奇異とせられてゐる、佛國外相ブリアン氏は自分自身の創意に基いて調停を提議したに過ぎず、何等米國側の勸告を傳達した事はない模樣である、故に若し佛國にして佛國の提議に對する勞農側の回答を以て米國の勸告に對する回答をも含むものと斷定すれば明かに過まれる斷定であらうと思はれる

浦鹽支那領事引揚ぐ

【ハルビン二十三日發電】浦鹽支那領事は二十四日午前九時發の伏木丸で浦鹽を引揚げることに決定した旨當地支那側に入電あつた、ハバロフスク、ブラゴエチンスクの支那領事館員の消息は尙不明である

北平の露官憲全部引揚

【北平二十三日特電】露國領事スピルウアネク氏は二十三日午後四時半列車で北平を引揚げた、氏の出發を以て當地の勞農官憲は一人もなくなつた、尙氏は天津、大連敦賀を經て歸國する筈

北平公使團協議

きのふ東鐵問題につき

【北平二十四日發電】二十四日午前十一時より豫定の如く和蘭公使館に於て外交團全體會議開かれ英米白和各國公使、日佛代理公使全部出席、何れも緊張せる面持ちにて會議に入つたが、東鐵問題に關する情報は殆と日本側獨占の感があつた、先づ各國居留民保護問題及び國際交通路遮斷善後策等につき何等かの決定を見るであらうと云はれてゐる

關東長官に　拓相訓電

露支形勢に鑑み

【東京廿四日發電】露支の形勢に鑑み松田拓相は廿四日木下關東長官に對し左記要領の訓電を發した

露支の形勢如何に依つては滿鐵並に附屬地に於ける我が特殊權益を侵害さるゝ惧れあるを以て此の際露支の形勢の推移には特に注意を拂ひ機を逸せず報告を爲すと共に、支那軍隊並に軍需品の輸送等重大事項の措置に就ては其の都度本省に協議相成り度し

一週間前に　わが許可を要す

支那兵の附屬地通過

武裝支那軍隊の長春滿鐵附屬地無斷通過事件は既報の通りであるが北滿の時局紛糾の折柄かゝる事件は將來も惹起さるゝ虞があるとの觀測の下に、關東軍の花井參謀は廿四日非公式に臧岡警務局長を訪ね、大場高等課長を交へ警備方法に就き種々協議を凝らすところがあつたが、內容は發表されない、何れ具體的方法が講ぜらるゝことゝ觀られてゐるが、今後支那軍隊の附屬地通過は一週間前に我當局の許可を受くるを要するものとし尙小部隊のものは從前通り附屬地警察署長の裁斷に委ねるも、大部隊の通過は直接本廳の指揮を仰がしむる方針を採る模樣である

進出した勞農軍　突如後退す

滿洲里の人心落つく

【滿洲里二十三日發電】當地露國領事スミルノフ氏は露支兩軍の衝突を避くるため滿洲里齊多に侵入した露國軍を後退せしむる事を支那側と約束したのでさしも緊張した當地人民も漸次平穩に歸しつゝあり一時門戶を鎖してゐた支那人商店も開店し始め、在留邦人も安堵の胸を撫下してゐる

國境における　支那側の防備

大體の方針決まる

【東京特電二十四日發】露支國交斷絕に鑑み南京政府は東北國境方面に對しては張學良氏を、西北國境方面に對しては閻錫山氏を、新疆方面は金樹仁氏をして各々防備に任ぜしむるものゝ如くであるが張學良氏は目下責任の位置に立つを避け一々中央の指示を仰ぐに努めてゐる、なほ東北國境には吉林黑龍江兩省の部隊を第一線と爲し奉天省の部隊を第二線と爲す方針らしい

支那汽船を　また抑留

勞農の軍艦が

【ハルビン二十三日發電】黑龍松花江合流點で支那汽船四隻又復ロシア軍艦のため逮捕され支那人旅[illegible]

國境守備協議　兵員を增加か

【ハルビン二十四日發電】張作相氏は張學良氏の代表として一兩日中に當地に來り張景惠、萬福麟兩氏と國境防備計畫を協議する筈であるが、露支交渉を有利に導くた[illegible]

更迭した滿日社長　新任の高柳氏（左）と辭任した山崎氏

國際列車杜絶後

最初の外人旅客來哈す

【ハルビン特電二十四日發】歐亞連絡國際列車杜絶後初めて六十名の外人旅客が當地に到着した、一行の語るところによれば彼等は國境八十六露里まで鐵道を利用しそこから特別に自動車を雇ひ漸く國境を越えたもので、チタには列車不通のため立往生の外人多數あり一部はモスクワに引返したものもあるが大部分はなほ列車の回復を待つてゐると

國際列車

けふシベリヤ線に連絡か

【ハルビン特電二十四日發】歐亞連絡列車杜絶のため當地に空しく十四日間立往生せる歐洲行旅客は邦人十五名、外人四十名あり他にシベリア經由を斷念し南下したものもあるが、二十三日總領事及び獨逸領事が勞農領事と交渉のうへ二十五日午後十時五十分發國際列車は滿洲里にてシベリヤ線に連絡せしめることにほゞ諒解成れる模樣で、この列車にはメリニコフ氏も監禁を解かれて乘り込むものではないかと見られてゐる

長春分隊にて　補助憲兵增置

【長春特電二十四日發】時局ますます急迫しわが長春憲兵分隊では憲兵の不足を生じ第三十八聯隊から兵五十名を借りて補助憲兵とし二十四日から服務させる事となつた

東鐵商業支部　奉天に二つ

【奉天特電二十四日發】東鐵商業部奉天支部は支那側の罷免せるモロゾーフ氏前支部長の强硬なる態度と、所在地がわが滿鐵附屬地なるが爲め支那側も强制處分が出來ぬので、二十四日商埠地華北飯店內に設けた新支部內で支部長邢玉瀾氏は白露事務員を指揮して事務をとつてゐることの爲め奉天には二個の東鐵商業部が出來たことゝなつた

實行豫算查定の大藏省會議

【東京二十四日發電】實行豫算查定に關する大藏省會議は引續き二十四日午前八時半から開かれ午前中に大藏、陸軍、海軍、農林の復活要求に對する查定を終り午後は司法、文部、商工、遞信の分に着手し二十四日中に一般會計全部の查定を終へ各省にそれぞれ內示するに至る筈である、而して內務、大藏、陸海軍の復活要求中には尙最後の決定を與へぬ重要費目あり之等に就いては二十六日首相の歸京迄に井上藏相と各所管大臣と直接交渉に依り成案を纒め閣議には問題を留保せざる方針である

鮮銀の北滿投資　漸次回收に決定

英米の資本家と同樣に

【東京特電二十四日發】朝鮮銀行は大藏省の內命により露支國交斷絕の結果北滿地方の經濟界に及ぼすべき影響につき調査中の處、最近英米資本家が同地方に對する投資の回收に着手したるに鑑み、同行も亦漸次投資の回收を圖ることに決定した

樞府例定本會議

【東京二十四日發電】樞密院では暑中にも拘らず二十四日午前十時から宮中に定例本會議を開き

一、日本と土耳古國間通商航海條約暫定取決めに關する件

一、日本國とスペイン國間通商航海條約暫定取決めに關する件

外二件を上程各案共可決し十時半散會したが、幣原外相は本會議終了後各顧問官の諒解を求むる爲め特に居殘りを求めて露支間紛爭の經過並に之に伴ふ日本の態度方針につき詳細報告を爲した

米國軍事費を　大削減

【ワシントン廿三日發電】フーバー大統領は軍事費に大削減を爲すため全陸軍豫算調査の特別委員會を設置すべきを發表した、蓋し今日の軍事計畫では千九百三十三年にて其の軍事費は世界最大額に達すると

軍事費削減の主眼

【ワシントン二十三日發電】別項新陸軍長官グツド氏が提案せる陸軍計畫修正案は、現在の計畫に依る軍事豫算に大削減を加へてアメリカの軍事費をして不戰條約及び海軍々縮交渉に依つて新たに釀成された世界各國の軍事關係に適應せしむることを主眼とす

黃河航運會社への　補助金交附を中止

【東京二十四日發電】第五十六議會で問題となつた例の秋山政之助氏一派の支那黃河航運株式會社に對して航路補助金五百萬圓下附に關しては、未だ別動隊たる天來公司が運搬權を有するのみで會社設立に就ては形式上完備を見てゐないので遞信當局では補助金交附を中止する事に決定した

社告

本社取締役社長山崎猛君は七月廿三日を以て辭任し取締役高柳保太郎君社長に就任致し候に付此段謹告候也

昭和四年七月廿三日

株式會社　滿洲日報社

滿洲日報社　社長更迭

幹部一部辭任

本社長山崎猛氏は既に辭意を決して去る九日歸社、十一日全社員を集めて近く辭任することを聲明すると共に引續き同業者間に對する挨拶、社內の留別會等を順次開催し傍ら後任社長に對する引繼事項の整理中であつたが、其後重役會株主總會等の議決により同氏の辭任正式決定となり後任社長として取締役高柳保太郎氏就任に決したので廿四日本社に於て正式發表を見た、尙同時に次の諸氏は一身上の都合により今月限り退社と決定した

取締役　尾間　明

編輯局長　米野　豐實

營業局長　扇谷　亮

總務部長　白井　龜藏

編輯局整理部長　細田　泰造

辭任幹部送別

編輯局員主催で

本社々長山崎猛氏辭任歸京につき同鄉茨城縣人會にては二十四日午後五時よりヤマトホテルに於て盛大なる送別會を開いた、なほ本社員の社長留送別會は曩に開催されたが更に昨夜編輯局員主催の下に山崎社長並に同社長と共に辭任したる尾間取締役、米野、扇谷、白井各理事、細田整理部長等の送別會を西園亭に開催した

高柳滿鐵囑託辭任

滿鐵囑託高柳保太郎氏は今回本社長就任と同時に滿鐵囑託を辭職するさうである

關東廳辭令（廿四日附）

關東廳高等法院判官　行山　義光

兼補高等法院上告部判官

關東州小學校訓導　堀江　好雄

任關東州公學堂教諭

關東州公學堂教諭　柳　ミヤノ

依願免本官

鶴崎　留作

任關東廳遞信書記補

關東廳技手　田代　民男

依願免本官

關東廳遞信書記補　鶴崎　留作

依願免本官

熊岳城の農實所　滿鐵から獨立す

新に評議員會を設置

滿鐵熊岳城農業實習所は既報の如く愈七月一日に遡つて會計を滿鐵から獨立することゝなり之に關連して左の通り評議員會を設けることゝなつた

一、熊岳城農業實習所に關する重要事項を審議せしむる爲め同所に評議員會を置く

二、評議員會の評議員は七名以上とし地方部長之を委囑す

三、評議員の任期は二ケ年とす、評議員補缺者の任期は前任者の殘任期間とす

四、評議員會は地方部長之を招集し其の議長となる、但し評議員全員の三分一以上より請求ありたるときは地方部長之を招集することを要す

五、左記事項は評議員會の決議を經ることを要す

イ、事業計畫に關する事項

ロ、豫算決算に關する事項

ハ、重要なる財産の處分に關する事項

ニ、地方部長に於て必要と認めたる事項

六、評議員會は評議員全員の半數以上出席するに非ざれば開催することを得ず

七、評議員會の議事は其の過半數を以て之を決す可否同數なるときは議長の決する所に依る

右評議員は二十五日中に決定する筈である、尙同實習所に對しては本年度並に來年度の二箇年間に於て設置費として滿鐵から二十萬圓以內を補助し又向ふ五ケ年間缺損ある場合には缺損額を補助する筈である、而して土地（七十町步）並に使用料を徵收し家屋は無償にて滿鐵より貸付けることゝなつた

地方長官會議で　緊縮方針につき訓示

【東京廿四日發電】政府は財政緊縮の方針を貫徹すべく[illegible]河川港灣等の事業も一時繰り延べの已むなきに至つたに就て我輩は曩に關西にて之等の地方人心への影響を見て來たが、識者は勿論地方民は國家を救ふため此の方針を好く諒解してゐる樣である、今後益々官民一致努力すべく之れに就て地方長官會議を機會に充分訓示して徹底せしめて置く方針である

不戰條約宣布式　けふ盛大にホワイトハウスで

【東京二十四日發電】昨年六月フランス外相ブリアン氏が提唱しその後アメリカのケロッグ[illegible]にて調印を了された不戰條約も二十四日日本の批准寄託を最後に[illegible]は同日正午（日本時間は二十五日午前四時）ワシントンホワイトハウ[illegible]日本では右宣布の公報前夫第多分二十五日午後右不戰條約文正、日本の[illegible]する宣言文宣布式に幣原外相の發したステートメント等を發表する

安樂椅子

山本滿鐵總裁は自分の俸給が幾らであるかといふことを最近まで知らなかつた▲奉天へ告別に行く前夜之が滿鐵總裁として最後の訪問とあつてあまりケチ臭いことは出來ぬといふので「金が幾らあるか」と秘書役を呼んで訊いた▲笹原君「今月の俸給があるだけです」「オレの月給は幾らなのだ」「本俸八百圓に手當四百圓、都合千二百圓」これではじめて自分の月給が判つたとは呑氣な身の上だ▲周水子は元臭水子であつたのを如何にも感じが惡いといふので「秋水」「周水」等いろいろ考へた末現今通り改めたのだと松岡副總裁が述懐してゐた松岡氏が其の改名者である●

本日廳報を添ふ

（第三種郵便物認可）

滿洲日報　山本滿鐵總裁を送る

木下關東長官を送つた我等は更に山本滿鐵總裁を滿洲の地より去らしむるに至つた我政界の流轉を遺憾とせねばならぬ。素より政黨政治家としての山本氏にとつて、永く滿鐵に釘付けさるゝことは其の欲する處でないかも知れぬ。然しながら、氏の描ける滿鐵事業の根本的改革がせめて一通り其の緒に就くまで、在任せしめたかつたといふことは、在滿同胞大多數の衷情であつたと同時に、氏自身としてもそこに多少の執着があつたであらうと考へられる。

◇

山本氏の經營的手腕は、夙に三井時代に周知されてゐた。更に政界に入つては、忽ち政友會の幹部として頭角を現し、彪然たる産業立國策の大抱負を示して、黨人の眼を登たゝしめたが、轉じて滿鐵を主宰するに及んで、多年の蘊蓄は油然として發揮せられ、潑剌たる經綸の閃めきは人をして幻惑し驚嘆せしめずには措かなかつた。氏が滿鐵就任の當初、頻に社業の經濟化、實務化を提唱し、諸般の舊套に對して改革のメスを揮ふや、社內は動もすれば、其の採算本位の方針に對して、不平を喞つものないではなかつた。而も是れ滿鐵の內外より見て患部とせられた點に對する外科手術であり、因習に捉はれて其の作用の鈍れる各種の機能に對する分解的整理であつた。斯くして氏は直に個々の機能に對して新しき生命を注入した。鞍山は忽ち更生し熔礦爐は一齊に猛焰を吐いて凄じき活躍を開始し、撫順は人力と機械力の總てを傾注して日も維れ足らざる盛況を呈した。加之、沿線の經濟的開發に伴ふ鐵道の輸送は未曾有の殷賑を呈し大滿鐵は方に黃金時代に進み入らうとするに至つた。山本氏就任以來の社業發展の成績は此に贅するまでもなく、世人の熟知する處であり又數字が如實に之を物語つてゐる。

◇

氏は更に息も吐かずに其の描ける三大工業計畫、即ち撫順に於けるオイルシエールによる重油及びパラフイン製産、石炭の液化、銑鋼一貫計畫に基く昭和製鋼所の設立、及び之に伴ふ肥料製造等に向つて着々と其歩武を進めた。此等の諸事業は總て單り滿洲及び滿鐵の繁榮政策に基くのみならず、廣く內外の趨勢を洞察し、母國の產業貿易に貢獻すべき遠大なる計畫であることいふまでもない。此等の壯圖が漸く其の緒に就かんとして山本氏は去つたのであるが、區々たる黨利黨略に依つて時の政府に左右せらるゝに餘りに安大にして且つ理論的であり、實際的であるが故に、後任總裁が何人たるにせよ、此等の懸案は當然其の儀踏襲せられねばならぬ性質のものであり、滿鐵在社員は素より、在留一般邦人は切に其の實現を希望して已まないものである。

◇

山本氏の功業を讚美する我等は、同時に山本氏を補佐し、山本氏をして充分に其の經綸を發揮せしめた松岡副總裁の功勞を沒却することは出來ない。氏は人も知る如く、多年外交官畑に在つて而も其の氣風氣を頭脫せるエキスパートであつた。氏は更に關東廳及滿鐵に在職すること久しくして、滿蒙及び支那の事情に精通し、透徹せる識見と卓越せる手腕の所有者である。而して豪放にして眼前の事象に屈託せざる其性格は山本氏と相似點を有しながら、兩氏長短相補ひ、渾然と融合して、滿鐵累代首腦部の中、稀に見る快き調和をなしたことも單り我等の認むる處のみではない。今次の政變に際して、黨人ならざる同氏の留任を希望する聲は社の內外に少くなかつたのであるが、氏は此等の言に耳を藉さず、遂に山本氏に殉ずるに至つた。氏の志の存する處、我等は容易に推知し得るのであつて、氏が他日政界に力強き根據を作り、滿蒙問題に其の驥足を伸ぶるの時機を刮目して俟たうと思ふ。

◇

我等は此に去らんとする兩氏に對して、在任中の功勞を多とし、在滿邦人としての感謝を表すると共に、政治家としての兩氏の前途が益々榮光に輝かんことを祈り、引續き滿蒙問題に對する直接間接の努力を希望して已まないものである。

双方から誤解され易い
邦人は態度を愼重にせよ
八木哈爾賓總領事談

【哈爾賓】八木總領事は事局に對する日本側の態度を如何に持すべきかにつき廿二日往訪の記者に左の如く語つた

支那の突如たる東支回收のため狼狽を極めた露人は窮鳥懷に入るといふ工合に飛込んで來る、支那側は

三八聯隊誠忠碑參拜

去る十九日現長春駐屯三八聯隊の先輩が暴虐なる支那兵の爲めに不意打を喰ひ多數の戰死者を出した十週年記念日に相當するので三八聯隊將卒は午前八時德能聯隊長以下西公園誠忠碑に參拜英靈を慰めた【寫眞は當日の光景】

邦人が

これ等露人に友誼的の便宜を與へるのを見てさへ兎角「日本露西亞を支持す」と云ふ風な解釋をしたがる、一方白系の露人は領事團として置を取る事を「日本は赤露の味方を爲す」と考へ易い、而して更にまた露西亞は同文同種等の點に色眼鏡をかけて支那を援くるものは日本なり」と速斷する傾向がある、斯うしたデリケートな立場に置かれた邦人官民は苟くも輕率な考へ方や行動があるならば誤解による重大な結果を齎らす事となるから謹愼を行きたいものである、支那は元來戰ふ意志が無いのであるから、露西亞の方から

攻勢に

出ねば戰爭にはならぬ、この露西亞が支那領まで入つて來て戰鬪行爲に出づるか否かは今の處不明である、と云ふより仕方が無い何れにしても日本は嚴正中立の態度を持して當面の事務に善處しつゝ靜行を見てゐるわけである

警察の交通係の方へ

ＳＴ生

（投書歡迎　新聞行數五十行以內のこと　中傷を目的とするのは採らず）

午前七時頃から同九時頃にかけて西廣場の救世軍前から幼稚園に至るあたりを步いてご覽なさい、そこには每朝苦力が五、六十名餘りも溜つてゐてながく〳〵と寢そべつたり、こわ高に饒れあふたりして人道を完全に塞いでゐるのを目擊せられるでせう、それで已むを得ず車道を通らうとする人があると交通巡査の方が「人道へ」「人道へ」と手を振られます、右の事實に對して交通取締上考慮すべき餘地はないでせうか、思ひますに元來あんな所に穢苦しい苦力共が群れてゐるのは都市の體裁上、衞生上好ましからぬことは云ふ迄もありますまい、而も彼等が人道を塞いでゐるために通行人が車道を通るといふ實狀に至つて極めて危險〔…〕「左へ」と取締〔…〕するだけでは非常な矛盾を〔…〕にはゐられません、無論苦力等は手から口に運ぶその日のパンを得んがために最も人目につき易いあのあたりに買手を待つてゐるのでせうから追拂ふには然るべき恰好な行場所を指示してやらねばなりますまい、それには差當り元市役所跡の空地あたりがよからうと思ひますがどうでせうか、氣がついたまゝ警察の交通係へ一言を呈した次第です、然るべくお取計ひを願ひたいものです。

雨に祟れる支那電話
奉天を中心に殆ど全滅狀態

【奉天】雨季に入つて以來支那電信線の被害は頻々として起り奉天を中心とする支那電話の狀態は殆ど全滅的で、露支國交斷絕その他時局の極めて重要なる際この通信聯絡の不充分なる狀態は一般に甚だ苦痛とせられてゐるが、現在の不通個所左の通りで天津上海方面發着電報は日本郵便局で臨時中繼をなしてゐると

奉天天津間、奉天通化間、奉天北平、山海關間、奉天對吉林、齊々哈爾、洮南、公主嶺、遼陽黑山縣、法庫門、溝幇子間

歐洲向郵便物
敦賀から浦鹽へ

【長春】露支國交斷絕の結果西伯利經由郵便物は不通となり長春郵便局は既報のもの行囊二百個を返送したが、之等は日露間に兩國郵政長官の取りきめが成立したので敦賀經由西伯利を經て發送される事のである、尙支那側でも二十二日百九十個を奉天に返送したが之等はアメリカ經由發送されると

哈爾賓引揚の露人三千名
二十一日迄の總數

【哈爾賓】二十一日十八時發列車で本國へ引揚た勞農國籍露人は婦人子供全部で五十八名であるが事件發生以來當地を引揚南滿及露領へ赴いた總數は約三千名であるといはれてゐる

圖書館改稱

【哈爾賓】さきに支那側が回收した東鐵中央圖書館は二十二日から東三省特別區第二圖書館と改稱して開館した

財政緊縮通令

【間島】吉林省政府財政廳長榮厚氏は國民政府行政院財政部長宋子文氏よりの訓令に基き本月十日附を以て管下各縣政府財務處長に對し財政緊縮に關する通令を發したが聞琿各縣もそれ〴〵右通令に接し目下方針を樹立中である

撫順鮮人の水溝問題
圓滿に解決

【奉天】撫順萬達屋水田經營の鮮農は昨年四月以來農業公司が設立され水溝問題で公司側と悶着を起して居た處、公司側鮮農組合の水田に滲水を斷つたため廿二日鮮農代表七十五名は總領事館を訪問して詳細に事情を陳述したので、總領事館においては廿三日農業公司〔…〕

安東に於ける鮮人擁護團
信用地に墜つ

【安義】安東市場通七丁目にある全滿鮮人擁護團は客年四月四日開設以來當時は相當の成績を擧げて居たが、其の後團長更迭後幹部の內に不正なる手段を講ずる者續出し最近に至り安東鮮人間の信用全く地に落ち、現在に至つては全く有名無實の狀態にあるが、之は鮮人間として唯一の連絡機關であるから何等かの處置を講ずるであらうと思はれる

本溪湖神社問題公判

【奉天】本溪湖神社問題第一回公判は廿四日午前十時から奉天總領事館法廷に於て開かれた

天理教中學校認可不可能

天理教夜間中學校の開設について既に天理教大連支部から當局に認可申請を提出したことは既報の如くであるが、關東廳藤田學務課長は語る

中學校と稱するには文部省令による授業時間を必要とし夜間は未だ認められゐないから中學校とするには考へねばならない、尙ほ同校を卒業するも資格がなければ自然補習教育といふ形とならう、この點は大に經營者でも研究するの要があらう

陸軍省豫算復活要求
滿洲守備隊增設

【東京二十三日發電】陸軍省では二十二日省議を開き復活要求問題に關し協議したが更に二百萬圓を減じて八百萬圓の復活要求を爲すこととなつたが、問題の滿洲獨立守備隊二ケ大隊增設に關しては時局に鑑み飽く迄實現を期することゝなつた

考古學會展觀の陶磁に就て（下）

小村俊夫

撫順の劃花白定に就ていま一つ愉快なことは、それが數年前に入手した洮南高麗城址出土の白定と極めて類似してることであつた。洮南出土の定窯にも數種あるが、そのうちの或ものは撫順のものと同樣で、陶片を握すると全く彼是區別のつかぬものすらあつた。

◇

洮南出土陶にも天目手や蕎麥手があり、數種の磁州窯の外に珍しくも一個の清澄なる饅泉窯系青磁片をも交へてゐた。また硝子綠釉陶や曹達硝子のトルコ青釉陶破片などをも藏存してゐた。

◇

今回の展觀で滿蒙より出土の青磁片は洮南のもの一個に限られてゐたが、青釉陶の破片は他に梅本氏によつて鞍山出土のものが二片出陳されて、洮南のものとのよき對象を示した。

◇

鞍山青釉陶の色は洮南のものに比しやゝ綠色を帶びたもので、これは寧ろ中晉運釉とも云ふべきではないかと思はるゝものであつたが、何れにしても鞍山と洮南とが南北相互應じてこの手の古風なテクニツクのまた極めて西域的色彩の濃厚な軟陶を示したことは頗る興味あることであつた。

◇

石井氏によつて出陳された軟化陶も我等には珍しいもので、ことに滿洲で馴染の深い天目手や黃釉瓷が列べられた外に、やゝ思ひがけなき元均窯系の月白瓷が一つ姿を見せた。

◇

展觀のことはこれ位にして、終りに撫順窯のことに就て少しく記したいと思ふが、現在の撫順古窯址は、若々しい產業撫順の目擊して來た。殊に今回踏查したた白定や綸高麗の出土場所たる楊田橋附近の古窯址の如きは、最に煉瓦工場の土取場になつて大半荒され、最近は支那人家屋が櫛比して建てられ、日ならずしてこの貴重な遺物包含層は湮滅に歸せんとする惧れあるを知つて、その光景に心をいためた

◇

私は特に撫順炭礦長に向つて進言したい。大滿鐵は古城子の大炭層を掘ると同時に、この楊田橋外なる猫額大の古窯址を今少しく注意深く保存整理せらるゝの雅量を示されたいことである。若し財と時間とが與へらるゝならば、我考古學會同人は幾る土壤を篩にかけても調べ上げて見たい意氣込みを有して居ることを茲に告げたい。このことは何れ學會よりも更めて正式進言の機會もあらうと思ふが、企圖するも及ばざるに到らんとするに先だつて、敢て滿鐵當局者の理解ある猛省を煩はさんとするものである。

◇

旅順博物館が旬雅堂小森氏の世界的大蒐集を擁しながら、今猶その適當なる一標本すら入手し得ざる宋劃花白定姿の上乘なるものをば一つならず世に示すを得たるは、今次展觀の成功の一つで、これは一に川村氏の如き篤志の研究者の功に歸すべきであつて、本稿を閉づるに當つて此際同氏に對し特に深甚なる敬意を表せんとするものである（完）

錢鈔

〇定期後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	九二四	九二四五	九二三五	九二四〇
遠期	九二三五	九二三五	九二四〇	九二四五

出來高　期近　四十二萬圓　遠期　百十八萬圓

〇現物後場

〔市況欄（神戸特產物・大阪株式・東京株式（長期）・東京株式（短期）・東京期米・大阪期米・神戸期米・大阪綿糸・橫濱生糸）　數値細字のため判讀困難〕

文藝

日本新劇壇の現勢展望 (二)

青木實

分裂後の「築地小劇場」は小屋主であり「新築地劇團」の主たる責任者でもある土方與志氏との協定もついて、背水の陣を敷いた無謀なもの、ドストイエフスキイ原作、ジヤツク、コポオ脚色「カラマーゾフの兄弟」五幕を四月公演した。見てゐて實際血の涙の出るやうな演技部員の精進振りだつたが、觀客席は寂しいものだつた。咳ひとつしても舞臺の邪魔になる演技の緊張ぶり及び客席のまばら振り。今の世人にはもうドストイエフスキイはもう魅力がないのだらうか？それにしても、集團としての人類の悩みも勿論檢討されなければならないが、一個の人間としての魂の問題もつと考へられる必要はなからうか？

久方振りにみた深刻がかつたものに、僕は何か心の昂奮を感じて、今更らにドストイエフスキイの偉大なる「人間性」に驚歎すると共に、芝居らしき芝居に堪能し得た滿足を感じた。御存知の如く邦文にして千五百頁餘の尨大なる原作を五幕に纒めあげたジヤツク、コポオの脚色家としての手腕も偉いものである。序幕の退屈に開幕して、四幕、五幕目で劇的昂奮を最頂點にまで高潮させて置いて、突然幕を降ろすなぞ、息もつかせないうまさである。と同時に、言へば原作に忠實ならんとしたがために生じた無理がない譯でもない。例へば第一幕に長男ドミトリイに今日迄の一家のいきさつを長々と説明的に饒舌らせるなぞ、それである。演技部員の名脱退の寂しさは新進の拔擢に依つて遺憾なきまでに補つてゐた。

續いて五月公演は、ロシア新興喜劇と銘うつたアファイコ作「ブブス先生」三幕である「ブブス先生」は、史的轉換期に於て沒落、新興二つの階級の中間によろめきつゝ遂に時代に取り殘されてしまつた、哀れな無産知識階級の姿を書いたもので、それを通じて資本家、貴族、軍人階級の現實暴露を諷刺した現代式俄と云つたやうな喜劇である。ブブス先生は小學校の老教員で、新興階級に對する同感は持ち合せながらも、自ら進んで彼等と共に新しき社會を建設するための努力をするだけの勇氣はなく、そうかと言つて淫樂、僞瞞、怠惰に滿ちた支配階級の生活に魅力を感じてゐる譯でもない、その生温さから、中間にぶらついてゐる中に、支配階級からさんざんに道具に使はれ、遂には支配階級から偶動されて、有力となつた左翼團體との妥協申込を頼まれる。その時革命は突發し、ブブス先生は新興赤軍に直面する。偶然にもその指導者の一人はブブス先生の昔の教へ子で、ブブス先生は遂に新しき社會の小學校の先生に任命される。と言つたやうな筋である。

ブブス先生は全三幕を通じて口癖の如く「それは全然明瞭ぢや」を繰返す。又何か新らしいことをすると早速、鉛筆と手帳を出して日記につける。そんな技巧がブブス先生を愛すべく、そして憐れむべき人間にしてゐる。この作者の技巧が素晴らしく效果を納めて、粗雜さから救つてゐる。新らしき芝居によくある空疎な砂を嚙むやうな感じがないだけでも新興喜劇として上乘のものだらうと思ふ。ブブス先生には御橋公が扮して滿點の上出來だつた。客席の入りも幾らかいゝやうだつた。

六月に藤森成吉作「磔茂左衛門」五幕六場を上演するに至つて「築地」の新しき活動もやつと明かになつてきた。こゝに於いて「築地」は過去五年間に於ける過程の中に、醸された矛盾、誤謬を淸算し、過去に於て得た、技術的手腕を活用し、新しき内容を盛り又新たに必要とする技術、形式は此れを素直に受入れ、第二段としての活動に這入らなければならなくなつた。目標は「新興無産大衆のために」であらうが、それは理想論であつて、當分は現在のプチ・ブル、インテリ、學生等を觀客層としつゝ、漸次それを無産大衆まで擴大してゆくより仕方がないのだらう。經濟問題を相當に、或は先づ以て、考慮しなければならない職業的劇團であるが故に、今日まで獲得してゐた觀客層を全然捨てゝ、理想に進むことは、冒險以上の猪突である。

一輪の花

暎賀仁

—某黨列傳の四—

筆者の友人にさる一女士があつて、彼女の語る所に依れば、稀に見る所の好漢だと言ふ彼も、亦同舟の一人なのである。該女士も曾て、彼あるが爲に某黨に斜眼を向けた事もあつたらしいが、さすがに黨を包む言ひ様なき臭みは、その様な個人的交友を以ては我慢が出來なかつたらしい。

由來、黨臭なるものは女の腋臭の様なもので反つてこれあるが爲めに誘惑せられる事もあるが、概して有難いものではない。

殊に炎暑の頃、羅衣を透して發散する所の汗に塗れた惡臭は堪ふべくもない。少しばかりの香水は寧ろその惡臭に一層のあくどさを加へる。その意味において、彼が同舟する事は、その匂ひ高き香水の名に於いて我らは反對する。

たとへば、彼は野に咲く一輪の花。而もたゞ一輪の花。見渡せども他に咲く花あるべしとも思はれぬ曠野の一輪の花。野の雜草が嫉視と望に包まれる一輪の花。何故に彼はこの野邊に咲かねばならぬのか、何故にこの惡臭の中に飛びこまねばならぬのか。臭みどめの香水の心もちだと言ふのであるか。その故ならば先にも言へるが如く何らの要をなさぬ事になりさうである。

ノアの箱船は濁水の上に漂ふてゐる。神に選ばれた生きものゝ幾種類は、七いろの樹もて作られた舟の中に不安の幾日かを過ごしてゐる。助けを呼んで舟べりにすがる心良からざる生ものは濁水の中にわめき苦んでゐる。逃げおくれ箱舟にもれたる好漢よ。吾らは卿の爲に席を設けて待たうではないか。濁るゝものと共に生を託するの愚を避けやうではないか。

野に咲く一輪の花よ。その香は高き花の名に於ても、吾らは卿を愛惜する事甚だしい。

殊に彼は某黨を包む大氣の圏外に動く遊星である。これ吾等があまりに激しき期待を投げかける所以である。

無聲か發聲か

山村水太郎

無聲映畫がまだ進歩發達の途中にあつた頃クローズアツプといふ手法が現れそれが映畫製作の黎明期を畫したものだとして騒がれたものであつた。

今日になつて見ればその手法は當然のことであつて格別不思議な思ひ付きとは誰も氣がつかないむしろさうしたクローズアツプの無かつた日の映畫を不思議に思ふくらひであらう。

◇

トーキーが擡頭しかゝつたときそれは枯れ尾花を幽靈と見て騒いでゐる姿であつたあるときはまた盲人巨象の足をなでゝ騒いでゐる盲人の姿でもあつた。

トーキーの時代來ると確心を持つ人は夜も日も忘れ數百萬金を惜まず研究を續けたさうして本年の一月には私の會社は今後一切無聲映畫を作りませぬと發表して世界をアツといはせた映畫製作會社が米國に出たりした。

◇

「ムーヴイートーン」だ「ヴアイタボーン」だといつてまだ見ぬトーキーの品定めに日本は騒いだ將來のトーキーはオールトーキーだいやパーシヤルトーキーだといつて騒いでも見た。

そうしてゐる内にとうとうアメリカからトーキーが來た。

◇

無聲映畫によくある場面だが高く見上げた高層建築の窓が一つフエードインで靜かにスクリーンに現はれる暫くするとガラスが一枚破れるそれまでは普通の映寫と何等變りはない。

まづい手法だ窓を出してそのガラスが破れる……それだけであるが……ガラスが破れるその瞬間……カラン！ガチヤン！夜の靜寂を破つて觀衆の心を刺す音が何處からともなく聞えてくる……今のは多分街路の舗道へガラスの破片が落ちた音だ……スクリーンにはまだ窓の畫だけが映つてゐる……すると忽ちポン々々とピストルの聲がする……また暫らく靜寂……重い感じが壓しかゝつてくる……やがて人足の騒音靴の響オートバイの飛ぶ音自動車の警笛……までスクリーンには窓の畫が映つてゐる……そして空虚靜寂……畫は靜かにスクリーンから消へる。

◇

トーキーは確に映畫界の第二の黎明期である。

たゞ窓だけの映出……そこへこれだけの音を添へて見ると……むかし（無聲映畫は何だかもう昔の映畫のやうに思はれて來た）無聲映畫でこれだけの感じを出す爲めにはどれだけの畫を必要としたであらうか想像してもゾツとする。何事かそこには事件があつたその犯罪を追ふその瞬間の活劇……トーキーでは窓の映出るそれ等の音で殆ど人を戰慄せしめる程の効果を擧げてしまつた、しかも時間とフヰルムと……たゞアツと云ふ程度長さで足りるそうして印象は眼と耳とから……そして觀衆の想像を極度にあふつてゐるもしこれを無聲映畫で行つたら……觀衆の想像を導く爲めにあらゆる畫をこゝに苦心してならべなければならない少なくとも犯罪現狀と警官追跡とを露骨にしかも極く手際よくコンパイルせなければならない惡るく行けば觀衆の手を眼にあてさせなくてはならないかも知れない。

プロ藝術に就て

—ほんの偶感的に—

大庭武年

今夜も到頭眠られない。ヂアールなんていくら飲んだつて駄目だ。今打つたのは四時か？もうその位になるだらう。戸外が心持ち白んで來たやうだ。啓明を眠られない重い心で——眼で見守つてゐるのは心寂しいものだ。いつその事起き上つて、夜の明ける迄、何か書いて見ようか（此れを前書きに代へすぐ本題に移る）

プロ藝術——彼は確に現代兒である。彼の持つ色彩は血の氣の多い若い者に多少でも魅力的でない譯はない。彼は少くとも黴の生えた舊套藝術を一蹴した潑剌たる生氣を持ち、炎々として戰鬪的な情熱を持つてゐる。これが新しきを喜び、反抗的痛快さを喜ぶ現代のプチ・インテリゲンツアの青年に受けない筈はない。それに又恁うした流行性以上に、彼は十分に智的な現代青年によつて支持され得べき存在理由を持つてゐる、啓蒙期の現代にスイタブルな存在理由を持つてゐるのである。

僕は恁うしたプロ藝術に對して假令僕が可成りのプチ・ブル根生の保持者であり、そして藝術的には大正時代的な貴族主義者であり潔癖家であるにしても、謳歌する心こそなけれ、決して否定する心は持つてゐない。或ひは相當の好意を常に感じてゐると言つてさへいいのである。

が、然し、僕は常に彼に對して恁うした疑ひを抱いてゐる。

「彼は正して行進を爲しつゝあるのだらうか？」

——即ち、僕がプロ藝術に抱く概念は（或ひは今言つた現代青年に依つて支持され得べき存在理由と言ふ言葉の意味は）一言で言へば、藝術をサロンの「愛玩品」より解放し、廣く人類社會の「實用品」にせよ！と言ふ意味なのであるが（この邊を後にでも詳しく述べたい）然し、現在猖獗を極めてゐるプロ藝術は、どうも藝術をアヂ・プロの「手段」とし、藝術本然の姿を滅却させがちなのではなからうかと思ふのである。

僕は思ふ。藝術はあく迄「藝術」でなければならない。と、決してそれは人生の眞のリフレクトする鏡である以上、歪められた贋相を示す宣傳ポスターであつては「絶對に」ならない、と。

どうも、現在のプロ派は極端に言へば藝術を「爆彈」にしてゐるとさへ言へなからうか？即ちそれで既成反動機構を壊でも爆破せしめんと努力してゐるのである（それでは彼等の藝術はスローガンと聊かも性質を異にするものでなくなるではないか！）從つてどうしても、と言ふよりも當然彼等の藝術は冷靜正鵠を失し、激越偏執、我田引水の誇張極りない宣傳ポスターとなり、いい氣になつてゐる彼等には大滿足でも心ある識者（僕や言ふのではない。）をしては嚬蹙せしめるものとなるのである。僕はつくづく思ふのだが、實際現在のさばつてゐるプロ藝術はあまりに批判がなさすぎるやうだ。勞働階級は常に正しく美しく可憐で、支配階級は常に不正で醜惡で暴慢である。尤もさうした場面のみを取扱ふ爲めにもよるが、あまりそれでは標本めきすぎて、一般人を正しき批判の彼方には導かない。（寧ろ讀者はそんなものを讀んで反つて反動的にそれと對稱した標本を思ひ浮べるかも知れないのだ）

僕の言ふプロ藝術の性能——即ち人生社會の姿を眞實に映し出すと言ふのは、即ち美醜をありのまゝに曝し出し、それを讀者の公平な眼に訴へる、と言ふ事であるのであつて、僕はそこに眞の意義が認められるではないだらうかと思ふ（此の例にゴルズワーヂイの劇作態度を擧げて置きたい）一體藝術なぞと言ふものは年數的に永い生命を持つものこそ尊く、その時代さえ通過すれば存在價値がなくなる（スローガンの如く）やうなものであつてい筈のものではないのである。

圖書館小話 (二)

橋本生

友人

歌集「海やまのあひだ」の著者はその卷末記に、中學時代の、所謂文學青年であつた頃、同志と詩社樣のものを組んで、歌作に從事したことを述べ、その同志の名、六人を擧げてゐる。その中に若し同名異人でないならば、博士にして大學教授たる人一、學士にして大學教授たる人一、國史の研究で知名な人一、都合三人、之に同書の著者折口氏を加へれば、七人中の四名が、天下に名を成したと云へる。而もそれが皆國史國文の方面に於てゞある。私は之を青年時代の同志相結んで、お互に勵まし合つた結果であらうとして、甚だ意味深いものと見た。

七月初めに故人になられた法學博士添田壽一氏を、世間に知らぬ者はあるまい。此の人の友人關係にも世に傳ふべきものがある。相手は法學博士男爵阪谷芳郎氏、曾て神戸市長たり、東京高等商業の校長たりし坪野平太郎氏である。坪野氏は病の爲めに、晩年の活動は出來ずに、大正十四年に亡くなられたが、その青年に對する教訓には「快馬一鞭」あり「叱牛錄」があつて社會の表裏、人生の辛酸を經驗した人の言として、讀者を裨益してゐる。私はこの「叱牛錄」を或る若い人に勸めたら、その讀後感は、どうもあの本は、餘りに嚴格で、と云ふやうな事であつた。人によつては、その文章から來る一種の氣力を、秋霜の威と感ずるのもあるかも知れない。實はそれ程では無いのであるが。

この三人者の交友は「叱牛錄」中の青年學生今昔觀の中にくはしい。明治十七年の三月、當時大學は學年休業中なので、かねてから親しかつたこの三人は、熱海旅行を企てたのである。新橋を立つて小田原で一泊、小田原から熱海へ向ふ田舍道で、一大老松の傘なりに枝を張つたのを見、三人はその根に腰を下して、海上の絶景を賞した。が、三人の間にその時「今こそ吾々は一介の書生に過ぎないが、他日學成り身を立てた曉には、宜しく此の松下に碑を立てゝ、此の旅行を記念しようぢやないか」といふ相談が出來たさうである。

それからの三人は、世に知られる通り、それぞれの方面で活動したが、遂に若かりし日の記憶を呼び起し、明治四十一年三月三十一日、即ち二十四年前、その地に遊んだ日を期して、記念碑の除幕式を擧げたといふのである。

一緒に旅行するといふからには仲が惡くなかつたに相違なく、當時の言を、二十四年後に實現したとすれば、交はりは當然續いてゐたものでなければならぬ。三氏各の成功は、その隱れた所に、この交際が功を奏してゐたと見ることは、決して無理ではあるまい。

此の二つの例の如き、大小の差はあれ、天下に數多い。成功の裏面には、門閥あり財閥あり學閥閨閥郷土閥と、各種の要素を數へられるが中に、この友人關係も、たしかに見のがせぬ一要素であらう。そして之は、あまり他の閥と相關しないと見える所に、淸らかさの感じを與へるものがある。

この種の交際は、社交といふものとは違ふ、一種の誓ひのやうなものである。誓ひと云つたやうな意氣相投ずる者を發見した稀な場合に出來ることで、漸く一人前となつて、交際が社交時代に入れば恐らく何人にも得難い。若い人が好い同志を得ることは望ましいことである。壯年以上の者で、顧みて同志ありと信じ得るものは幸福である。子供が中學に入つた、せめて彼の卒業迄この地で月給に離れたくないと云ふのは友人選擇がその時代に特に重要なことを思ふと漫然と聞流しにもならぬ。

ラヂオを通じて緊縮方針の演說
來月一日濱口首相が

【東京二十四日發電】濱口首相は兼てラヂオを通じて全國民に緊縮政策の徹底を期する意嚮を持つてゐたが、愈來る八月一日午後七時二十五分から約四十分に亘つて東京放送局愛宕山スタジオのマイクロホンに向つて得意の長廣舌を揮ひ全國中繼放送に依つて六十萬の聽取者に見ゆる事に決定した、放送する內容は勿論國民の節約生活の必要を力說するのであるが近く歸京のうへ打ち合せをなす筈である

大連の簡閱點呼 廿七日から執行
◇…參會者の注意事項

本年度に於ける大連の簡閱點呼は愈七月二十七日から八月三日まで常盤小學校に於いて關東軍司令部附高野中佐に依つて執行されることゝなつて居るが、參會者は各自自重して在鄕軍人として體面を汚すが如き事のない樣に努められたいと、因に注意事項左の如し

一、集合時刻　當日午前七時三十分迄に點呼場に參着のこと
二、服裝　軍服所持者は必らず之を着用し所持せざる者は洋服又は質素にして禮儀を失せざる服裝のこと
三、履物　靴又は草履とす
四、帶勳者　勳章並に從軍記章等は必らず佩用すること
五、在鄕軍人徽章　必らず佩用のこと（無き者に對しては當日所屬分會にて實費分讓せらるゝ筈）
六、携帶品　奉公袋（內容品共）軍隊手帖、補充兵證書、點呼令狀、貯金通帳
七、其の他參會者心得は點呼令狀裏面に詳細記載あるに付熟讀のこと

天候晴れ次第一氣に東京へ
タコマ滯在の太平洋橫斷機 燃料は十四時間分を餘して

【タコマ二十三日發電】近く太平洋橫斷飛行を決行すべきブロムレー中尉がロスアンゼルスから當市に飛來せる時のガソリン消費量につき調査を行つた專門家の計算によれば同中尉がタコマ東京間を無着陸で完全に飛んだのち尙一時間十八ガロンの割合で更に十四時間飛べるだけガソリンが殘る見込みであると、同中尉出發時日は未定であるが天氣晴れ次第急遽出發するものと期待されてゐる

「助かつて見れば慾が出るものだ」
ばいかる丸遭難模樣につき 代谷副事務官語る

ばいかる丸遭難當時この厄に遭ひ而も悠々として當時の模樣を詳報して各方面からその沈着ぶりを稱へられた關東廳遞信副事務官代谷勝三氏は廿四日入港の香港丸で歸任したがあらためて當時の模樣につき語る

身體が助かつて見れば又色々な慾望が起きるものです船が斜めに傾いた時は**恐しく**誰れもが生命だけでもと云ふ願ひに滿たされたがさて身體が助かれば色々なものが惜くなるのが人情の常で、私はそう云つた人間本能のプロセスを判然と認識しました又あんな際一方では助かりたいと云ふ願ひと一方では助けたいと云ふ犧牲心が恐ろしい程皆の頭を支配してゐるには驚きました、當時私が何心なく時計と首引きで書き止めたものが後になつて**非常に**參考になつた事を喜んでゐます、船員のとつた態度に對する非難については私は何事も申しますまい

露國飛行機
世界一周計畫

【ワシントン廿三日發電】露國飛行機「ソフエートの國」號が八月

滿鐵正副總裁の
大連官民招待告別宴
◇…きのふ滿洲館庭園にて

滿鐵正副總裁の大連官民招待告別宴は二十四日午後五時より滿洲館庭園に於て行はれた、出席者各官衙會社關係者、各國領事、中國人及び新聞通信關係者等百八十餘名立食の宴半にして山本總裁は今回辭任するに就ての挨拶をなし就任以來二年寄せられたる厚意を謝し「今後諸君は大連市の爲めに努力せられ度い」と結び石本市長一同を代表して答辭を述べ續いて松岡副總裁は外人側に例の流暢な英語で挨拶を述べ獨逸領事デルクス氏の答辭ありそれより正副總裁は各テーブル毎に色々御世話になりましたとニコ〳〵して極碎けた挨拶をなし互ひの健康を祝つて一同和氣靄々裡に六時散會した

一日モスクワを出發しシベリヤを橫斷しシヤトルに着きそれより米國を橫斷せんとする計畫に對し米國は本日その飛行場着陸を許可したが右飛行機は日本には立ち寄らぬ事となつてゐる

滿鐵總裁を
港外まで見送る

山本滿鐵總裁は愈廿六日午前十時出帆の香港丸にて離滿東上と決定したので、滿鐵では港外まで見送ることゝし大連丸、圓島丸、山東丸の三ランチを準備することゝなつたが二隻は一般社員用に、一隻は重役、課所長用に供せられる筈で、見送希望者は各自便乘して貰ひたいと、而して一般社員用ランチ二隻は收容限度が五六百名であつてその發着場所は定期船バース角であるも見送りの際は一般社員は最初からランチに乘込み、重役、課所長は定期船バース見送り後ランチに乘込むことゝなつてゐる

黃白嘴點燈

故障の爲め消燈中であつた黃白嘴燈臺はその後修繕中のところ漸く廿四日十二時半に修理が完了したので點燈の旨大連無電局より各船舶に向つて放送するところあつた

全國中等學校優勝野球大會出場
滿洲豫選大會けふ擧行

第一勝戰　安東中學對撫順中學
午後二時半より入場式　於滿俱球場
始球式　井上旅順工大學長　審判　竹中、北川兩氏

◇滿俱實業兩後援會員は會員券を入口に於て係員に示すのみで差支へなく、白券は正面及び一三壘側觀覽席、青券は左右兩外野觀覽席その他の外野は開放である

主催　滿洲日報社

不良兒の救濟指導に
保護員を設ける
滿鐵の伊藤眞也氏に囑託

都會性により都市膨脹に伴ふ副產物として生れる不良少年少女を救濟し指導するため思想善導の一機關として保護員を大連に設ける方針であつた關東廳學務課では、政府の財政緊縮策に官制改正が通過せず本年は一部間に合せ式として保護員囑託を設けることに決定し滿鐵々道部人事主任伊藤眞也氏に交涉し囑託として承諾を得たので近く大連に實施することになつたこれによつて少年少女の保護要視察人が幾分でも救濟されるに至るであらう、尙保護員の使命及び目的とする處は不良少年少女の相談を受け家庭と協力して善化に努める方針である

青森縣下に水喧嘩
警官百餘名出動

【青森二十四日發電】青森縣下は旱天續きのため各所に水爭ひが起つてゐるが、二十四日小阿根堰を中心に南津輕郡光田寺村ゝ常盤村の兩村民約一千餘名は午前三時ごろ衝突し石合戰となり負傷者十七名を出し警官百名出動鎭撫に努めてゐる、また[illegible]事局よりは檢事一名現場に急行した

鐵工所侵入事件
隊長の處罰を條件に 支那側陳謝の意を表す

【奉天特電二十四日發】昨日支那憲兵隊の奉天十間房鐵工所侵入事件に關し二十三日午後三時宋交涉署日本科長、雷憲兵隊探偵長が領事館警察を訪れ馬第二部隊長を責任者として處罰する事を條件として種々陳謝の意を表せるも應接の三浦警部は事重大であるから總領事に取次ぐに止めるとはねつけた

都市大會の全京城軍
十五名を銓衡

【京城特電二十四日發】紛糾を重ねた都市對抗野球大會出場のオール京城チームは漸く推薦された選手二十四名の內より二十四日午後に至り十五名を銓衡決定、高橋監督引率のもとに二十八日午後十時半京城出發に決した

船舶職員試驗

臨時船舶職員試驗は隔年毎に施行されるが本年は來る八月十日より大連海務協會において行はれる事になり試驗官としては甲板部が熊本遞信局臼井技師が當り、機關部は大阪遞信局の西原技師が當ると

永井醫師も取調べらる
女事務員の墮胎嫌疑事件で

大連市役所事務員佐藤梢（二三）の墮胎嫌疑により分娩當時診斷した若狹町四三永井病院こと永井清子も廿四日午後三時から大連署に呼び出され新美警部補の取調べを受けたが、永井は佐藤の分娩に對し器械藥物等人工を用ひて墮胎した形跡なくまた分娩した當時診斷書に嬰兒が生存してゐたに拘らず死產とし姙娠七ケ月にあつたに拘らず六ケ月と記入した點に就いては分娩當時嬰兒は生存してゐたと雖も假死の狀態であり、人工呼吸などを施してもその効なく息を引き取つたので斯く認めました姙娠は七ケ月かも知れないが、滿で勘定したから六ケ月と記載したと佐藤に對し有利な證言を與へた

掏摸常習者捕はる

遼寧省生れ住所不定喬德信（四五）と云ふ掏摸常習者は廿三日午後九時小崗子露天市場で客の懷中を覗つてゐる處を小崗子署刑事に捕つたが掏つた財布三つを所持してゐた餘罪ある見込

宵の奉天萩町に四人組居直强盜
醫大の教授宅襲はる

【奉天特電二十四日發】二十三日午後九時半頃奉天萩町十五番地滿洲醫大豫科教授福田八十楠氏邸にそれ〴〵棍棒を所持せる四名組の强盜押入り折から留守居中であつた同氏夫人きみ（三〇）を脅迫し黑駱駝製オーバー外二十八點價格四百七十五圓餘を强奪し逃走した奉天署では目下犯人嚴探中であるが右犯人は最初竊盜の目的で屋內を見張り人影のないのをみて家に入らんとしたが夫人が出て來たので突然强盜に居直つたものらしい

雨に閉ぢ籠められた
遠征軍の合宿廻り

意地の惡い雨に厄されて待ちに待つた戰は伸びるし、と言つて遊び廻る事も出來ぬ遠征軍の動靜は如何にと合宿廻りに出掛けて見た、何處もかしこも同じ事、外出する者は一人も無く、曇り勝の空を仰ぎ乍ら「何とか輕い練習だけでも出來ないかなあ」とため息をついてゐる。

奉天中學を東屋旅館に訪ふ「大連商業のグラウンドも使へません」と報告が來る、關西大學の選手の人に誰かゞ高等戰術を敎はつてゐる。蓄音器の音が聞える、腕相撲に其の元氣の捌口を見出してゐる者も居る、黃色くなつたパンツが四つ許り窓の枠に干てある「昨日は早く寢ました、[illegible]から優勝旗の獲得です、が春以來青島を目的に練習をしたのですから今更別に作戰計畫は御座いません」と部長の話である。

◇

「萬歲！」若々しい聲が奥の方から響いて來る。匆々に挨拶をして御隣りの富士屋に足を向ける。入口の處に問題の青島小平投手が立つてゐる「永い事休まれて結構だね」「冗談ですよ。思ふ樣の練習も出來ず試合がすむまでは外出も不自由だし身體がだるくなる許りです」「何とか早くやつてくれませんか」撫順の連中が同感する「作戰計畫はベンチコーチに任してありますが僕等は言はれる儘に動くだけです」と一人の客、玄關の處に籐椅子など出して此處吳越同舟の恰好で青島撫順は同宿をしてゐる「おい皆集れよ晝飯だ、大食の競走をやらう」「馬鹿騷を慰くするぞ」どやどやと青島軍は食事に退卻「チヤンケンポン」と仲良く何かの順序を決めるらしい聲がする。

◇

撫順軍の先生が出て來る「駄目ですなあ、明日もどうですかなあ、然し私の方は大助かりです隨分疲れて居ましたからね、兩々嬉々と喜んで居ますよ、昨晩すつかり作戰を決めましたし今日は皆んな思ふ存分休ます事としてゐます」一つの部屋に集まつた黑ん坊の選手達は盛に遊戲に餘念がない「さあ今度は君が鬼だぞ」と賑やかに遊んでゐる次の部屋では二三人の選手の者が一生懸命バットの手入をやつてゐる「勝てる自信がありますか」「駄目なんです弱いから」二十餘貫の捕手君は其の大きな身體を持て餘し氣持でゐる「電報」記者が門を辭する時青島軍に電報が來た。

◇

三杉旅館に安東を訪ふ。先生に案內されて二階に通る。机の上に電報手紙が十五六通も置いてある「カナラズカテ」「ヒツシヤウヲイノル」と言つた樣な皆んな激勵の通信である。遠い安東の人々の熱烈な應援の程が偲ばれる、此處の選手は若い丈けに其の陽氣な事賑やかな事、一室に集まつて將棋や碁石で色々な遊びをやつてゐる、試合に勝つと言ふ事よりも試合する事其事が愉快でたまらないと言つた調子である。子供らしい他愛のない集ひに先生も校長も仲間入り陽氣な笑ひ聲の絕え間はない「昨晚安東滿俱の人が來て下すつて作戰會議をやりました」と校長さんは言つてゐた（寫眞は雨に脾肉を嘆ずる撫順軍）

けふのラヂオ

昭和四年七月廿五日（木曜日）
自前十一時　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）
自午後〇時三十分　相場（特產、錢鈔、各地相場）ニユース
自午後三時三十分　相場（錢鈔、株式、各地相場）ニユース
自午後三時五十分　野球中繼放送（實業對滿大第二回戰）
自午後七時三十分
一、ニユース
二、講話　キャンピングに就て　嶺前小學校　池上哲男
三、謠曲　天鼓　梅若流岩村櫻處
四、講談　柳生又十郎　木村近衛
五、地唄　根枕　三味線中島勾當
六、支那唱　廣寒莊　唱常桂花、[illegible]馬文芳　尺八　森介山
七、料理献立　八、天氣豫報

元滿洲日日新聞社々長森山守次氏は豫て病氣の處去る二十日午後四時二十分大阪市外曾根阪急沿線芳正園に於て逝去被致候に就ては二十六日午後四時市內春日町大蓮寺に於て追悼會相營み申候間生前辱知諸君の御來會を希望致候
右謹告候也
昭和四年七月廿五日
滿洲日報社

新聞の不配達其他の故障は電話四七六七番へ

愛慾の窓（49）

戸川貞雄作　浅枝次朗畫

金（九）

待ち受けてゐた友永は、直ぐ久彦を自分の部屋へ通した。

「……手紙見てくれたか?ひどいぢやないか、君も」

と、友永は不機嫌だつた。

「いや、何うも……」

と、久彦は頸を掻いた。

「……手紙にも書いてお知らせしといたが、一寸面白からん事件が起きてねえ」

友永は、葉巻の端を前歯で噛み切りながら聲を落した。

「……小森君の素行上のことかい?」

と、久彦は訊ね返した。

「さうなんだよ。實はね、何處から何う探つたものか、僕の方と小森家との縁談を嗅ぎつけた悪い奴があつてね、そいつに僕は金を捲き上げられたんだよ」

「……何ういふ材料で?いや、つまり何か賣りつけに來たんだらうが、それを君は買つたつてわけなんだね?」

「……さうだよ、しかし僕もさう迂濶に引かゝりはせんさ!何うにも確な材料だから金を出したよ」

「……といふと何ういふ材料?」

「……君も、メリイ・ダンス・ホールといふのを知つてゐるだらう、日本橋の」

「……ウム、知つてる、暫く行かないが」

と、久彦は苦笑した。若い會社員や學生や、要するにモダアン・ボーイ達の享樂場で、久彦も憂鬱症の發作に陥ると、よくそこへ出かけて行つて、滅茶苦茶にチャールストンを躍つたものだ。が、もとより久彦はそれ以外に何も望んでダンス・ホールに出入りしてゐたわけではなかつた。

「……謹嚴君の如きですらさうなんだから、當節の青年がダンス・ホールぐらゐへ出入りするのはあたりまへなことなんぢやらうが、しかし君」

と、友永は眉をひそめて、一層聲を低くした。「……あすこのダンサーのメリイ何とかつて女を、小森は孕ましたんだよ。あすこの女將のメリイ何とかつて洋妾上りと、あすこのお抱の暴力團員の赤城何とかいふ破風漢とが、僕のところへやつて來たんだ。聞けば、小森はあのダンス・ホールには古くからの客で、毎晩入り浸りになつてゐたんださうだが、その女を妊娠させてからといふもの、ぷツつりと鼬の途をきめ込んでしまつたといふんだよ。その上、おれの子ぢやアないと厚顔しく云ひ張つて、いくら掛合つても相手にせんといふんだ。で、その女は今七月とか八月の腹をかゝえて、ホールにも出られず困つてゐるが、やぶれかぶれで、小森の邸へ泣き込んでやると息巻いてゐるのぢやさうだ。いや、最近はまた何處から知つたか、小森が結婚するといふのを聞いて、命を賭けてもその結婚は邪魔してやると云つてるさうぢや。やがね、厄介な話ぢやアないか」

「……でも、君、それが果して事實か何うか……東京は狭い、昔から生馬の眼を抜く江戸なんて云はれてゐるが、今日では、奔馬の眼のくり玉だつて抜きかねないところだからね」

と、久彦は言葉を挿んだ。何んだつて、そんな小森に味方するやうな言葉を口にしたのだらう、久彦にも自分で自分の氣持がわからない、わからないまゝに、彼はまた附加へるのであつた。

「……そりや小森君みたいな何不自由のないブルジョアのお坊ちやんになると、多少素行上失敗はあるかも知れんが、しかし得體の知れない連中の中傷なんか、迂濶に信じたら大變だよ」

さう云ひながらも、彼は内心自分自身の不正直さ、氣の弱さに、苛々してゐるのだ。弱氣な、善良な性格の人間は、よくかういふ心理の自己撞着に陥るものである。

滿日文藝

滿日俳壇

島田青峰選

夕立

○ 煙臺　天江　利江

峰晴れて來し芭蕉葉の夕立かな
夕立の水あふれゐる手水鉢
夕立の水嵩増せる渡舟かな
夕立の俄たまりゐる天幕かな
快き夕立晴の小焼けかな
夕立に濡れたる汽車の着きにけり
夕立の最中の驛に下りたちぬ
夕立のあとの棚田を見廻りぬ
夕立の軒に競へる漏路かな
夕立の中に灯る機屋かな

○ 大連　伊東　晃水

夕立や山羊追立つる支那娘
夕立にざわめく露天市場かな
大江を下る筏や夕立雲
夕立の晴れたる丘やキャンピング
山羊の群河畔に出でぬ夕立晴
崖水の滝る々音や夕立晴
夕立雲湧きたる中の無線塔

○ 大連　阿部　天瀾

散らばりし舟戻り來る夕立かな
夕立雲起ちて南山下りけり
夕立の城門に立つ巡査かな
夕立のしぶき上げたるトマト畑
夕立の港へかゝる我兄かな
夕立の支那馬車驅つて戻りけり

○ 哈爾賓　玉川　静波

夕立や傾きつきし荷足船
夕立晴れてまた又出でし牧場かな
夕立晴れて陶横白き芝生かな

滿日俳壇募集規定

次回課題「夏野」「蛇」「蕃茄」（トマト）▲句數無制限 ▲用紙半紙 ▲各題別紙 ▲締切八月五日 ▲封筒に「滿日俳句」と明記の事 ▲投稿先、東京市牛込區若松町八二、島田青峰宛

滿洲日報

廿三日東鐵問題に關して 支那側聲明書を公表す

東北政務委員會と三省政府の名で「世界に告ぐるの書」と題して

【奉天特電二十三日發】東北政務委員會は本日同會および奉、吉、黑三省政府の名を以つて東鐵問題に關し「世界に告ぐるの書」なる堂々數千言に亘る長文の聲明書を公表し自己の立ち場を釋明し國際的同情の喚起に努めてゐる、今その大意を摘記すれば左の通りである

取締寛大に乘じ 東北四省內で秘密宣傳

勞農露國は千九百二十四年の露支協約第六條、奉露協約第五條に違反し我國の社會組織を破壞する赤化宣傳を行ふが故に中國政府は自懲上千九百二十七年四月六日北京大使館を搜査した際證據物件の押收をなせる事は世界各國の公認する處である、然るに東鐵に對しては我取締寛大なるに乘じ東北四省境內において依然秘密宣傳を續け數回にわたる我勸告を肯かぬ、之れ去る五月二十七日正午の哈爾賓總領事館搜査の非常手段を採るに至らしめた所以である、その結果、下記多數の確證を得、愈その事實誤りなき事を確認し得た、勞農側はこの際深く陳謝の意を表すべきが當然なるにも拘らず、却て抗議を惹起し來つたのであつた、茲に於て我方も早勞農側の自發的改過の望み絶えたるを知り已むなく職工公會、共產國際等の各種宣傳機關を解散したのであつた、總領事館內に於て逮捕せる共產黨員大部分は東鐵の高級職員にして其支那に危害を加ふる陰謀一度發すればとても收拾出來ぬ、故に應急處置として正副二局長を停職し支那側副局長をして正局長の職務を兼ね行はしめたのである、斯くて勞農の徹底的覺醒に依り別に適當なる局長を專任派遣し共に營業の發達を圖らんことを期した次第である

事變發生せば 責めはロシヤ側にあり

蓋し東鐵は兩國の共榮機關にしてまた歐亞交通の幹線である、其損害または故障は共に顧はざる處のみか世界各國の干渉を招く恐れがある、然るに勞農側は最初人を派して平和交渉に應ずる旨を通達しながら中途變更し遂には最後通牒を發し種々の要求をなすに至つた、中央政府は既に相互的原則に基き言葉をつくして之れが回答書を發れるも勞農側尚滿足せず更に國交斷絶領事の引揚げ、國境一帶の軍隊出動、船軍の抑留、飛行機の我上空飛翔など非戰條約違犯を敢てしますます軍事行動を進めつゝあるは我等の解釋に苦む所である、我等の主張は共產の防止にある、東鐵の範圍內に共產宣傳あれば我中央政府は地方の治安維持、社會の改善防止と國際交通保持のため取締の責に任ぜねばならぬ、東鐵自身の問題は我方は終始協約を守つて處理し來つた、若し勞農側にして諒解あらば協約の精神に基き徹底的說明をなすべし、若し然らず他に目的ありて故意に軍事行動を起し戰ひを挑むに於てはこれ明かに非戰公約に違犯せるもので若し萬一不幸にしてこの爲め新なる事變發生する際は其責め勞農側にありと言はねばならぬ

押收されたる ロシヤ側の證據物件

一、勞農が○○○を助け支那の南北統一を破壞し南京奉天間に暗殺政策を行はんとせる密電六通
二、一九二九年五月より十月に至る北滿一帶へ宣傳計畫書
三、蒙古駐在勞農代表記錄一冊、蒙古に於て蒙軍を組織しソウエート制を布かんとす
四、邊防軍國境を越え、蒙古軍と衝突せしむ云々の密書一通
五、東鐵問題に關する消息探查暴露の際報告に關する密書一通
六、ハイラル勞農領事館より國民外交委員會に對しセミヨノフのバルカンに於ける活動の秘密報告
七、宣傳委員の行動密報
八、政府の秘密文書の秘密保存に關する密書
九、黨員の往來機密書
十、黨政經費帳簿
十一、ラシエウキツチ領事のチルキンに致せる報告書
十二、ハルクトの暴動計畫及び白系露人の行動監視計畫密書
十三、蒙古駐在勞農代表の政治、軍事報告
十四、職工聯合會地方分會の支那人操縱法に關する文書
十五、爆裂彈受領に關する消息
十六、赤化報告に關する密書
十七、浦潮國民委員會支部東鐵バス使用に關する書面
十八、第十六次共產黨大會の共產黨內部事情に關する決議案
十九、支那共產黨支部秘密會議議事錄

露支開戰の場合に於る わが具體的對策成る

廿三日嚴正中立を前提として 軍部首腦が鳩首協議

【東京特電二十三日發】最近東支鐵道問題に對するロシア側の態度漸次强硬となり、假實ロシア側も武力解決を覺悟せるものと見られるに至り我國としても之が具體的對策を講究するの必要に迫られ、軍部首腦部では二十三日午後二時から參謀本部に參謀本部、陸軍省の各首腦部參集、先づ嚴正中立を前提とし滿蒙に於ける刻下の特殊權益並に居留民の生命財產の保護については
一、居留民を先づ哈爾賓に避難せしめ戰禍更に哈爾賓に及ばゞ長春にまで引揚げしむ
二、戰禍長春に及ぶときはそれ以上引揚げず必要あらば威力に訴へるも已むを得ず
三、哈爾賓迄の軍事行動は我權益に大なる影響なきをもつてこれに對しては何等意思表示を爲すべき限りにあらず
四、但し長春以南の軍事行動に對しては露支兩軍何れを問はず斷乎たる態度に出でこれを阻止するのみならず、軍事行動をとらずとも武裝せる軍隊が滿鐵附屬地に入る場合は武裝解除の處置をとる
といふに意見一致した

支那軍隊と軍需品輸送 滿鐵線は結局拒絶せん

更に開戰の場合滿鐵により支那の軍隊並に軍需品の輸送問題を如何にするかについては
一、支那軍の輸送を受諾せばロシア側が間接に打撃を受けるが故に嚴正中立の精神と一致し難い
一、これを拒絶せば嚴正中立ではあるが滿鐵は支那に敷設してあるから拒絶することは情に忍びない
とする兩論を主題として協議し五時散會したが、いよいよ開戰の場合は結局滿鐵による軍隊軍需品の輸送を拒絶するの已むなきに至るべき形勢である

メ總領事ら 出發を見合はす

【ハルビン特電二十三日發】二十三日午後六時三十五分發列車で出發する筈であつたメリニコフ總領事およびチルキン東支副理事長は愈々先日から請求してゐた專用車增結の申し込みを突如取消し出發を見合せたが一般では之れに依つて觀るも外間傳へられてゐる露支間の空氣に反し一面に於ては何等かの平和的交渉が何方からともなく持ち出されてゐるのではないかと推測してゐる

立往生旅客の處置決る

【ハルビン二十三日發電】東西兩國境及び東支鐵道沿線地方よりハルビンに來る避難民のため各ホテルは滿員で家賃も昂騰してゐるが八木總領事は領事團を代表し目下ハルビンに立往生してゐる歐洲行多數の旅客の處置につき東支鐵道及びロシア側と交渉した結果右旅客はモスクーに向ふことゝなつた

歩み寄りの餘地が無く 結局談判不調の模樣

露支最後交渉の結果

【長春特電二十四日發】長春驛構內に引込んだ東鐵客車內で行はれた張作相、メリニコフ兩氏の會見は約三時間で終つたが

會見中 は徹底した秘密主義を採り、張作相氏は從者さへ近づけず且つ窓の外に聲の洩れるのを虞れ窓下に立番した我警官をひどく氣にして會見中客車をその儘寬城子驛に廻送するといひ出したが、機關車の都合がつかず、その儘となつたほどである、兩者會見の內容に就て外交通の觀測によれば、國交斷絶の際個人間の久濶を敍するため態々長春まで來るなどは信ぜられないから矢張り人目を避けてコツソリ會見し、メリニコフ氏の引揚前に

最後の 談判を爲さんとしたもので、日本官憲が警備打合せに就いて交渉した時もまだ支那側はメリニコフ氏の居ることを否定してゐた程である、然し前後の事情より觀て會見の結果はロシア側が案外强く、歩み寄りの餘地は全く無く物別れとなつた模樣である

前線では傳單を撒布して衝突の緩和を圖るほか、ロシア人鐵道職員の懷柔策に着手し和平を標榜しロシアが代表會議を提示して來るのを待つ態度に出でた、これがため今にも全部本國に引揚んとした東鐵沿線のロシア官憲及び鐵道職員關係は今や新局面の轉換期に入りつゝある模樣である

支那の對露方針は 斷じて變化は無い

會見後、張作相氏談

【長春特電二十四日發】メリニコフ氏と會見を終つた張作相氏は訪往の記者に語る

メリニコフ氏とは多年の知己であり今度氏は本國に引揚げることになつたから久し振りで面會し別れの挨拶をしたまでゞ全く個人の資格である、時局問題について話したことは事實だがその內容はいへない、國交問題は兩國の中央政府が決すべきことで我々は只政府の命令によつて處置するだけであるから此際自分の意見をいふことは出來ないしかしけふの會見の結果中國政府の對露方針に變化を來すごときことはない

進出した勞農軍 突如後退す

滿洲里の人心落つく

【滿洲里二十三日發電】當地露國領事スミルノフ氏は露支兩軍の衝突を避くるため滿洲里齊多に侵入した露國軍を後退せしむる事を支那側と約束したのでさしも緊張した當地人民も漸次平穩に歸しつゝあり一時門戸を鎖してゐた支那人商店も開店し始め、在留邦人も安堵の胸を撫下してゐる

國民政府哈市へ 孫科氏派遣

ロシヤ側と折衝せしむ

【北平二十三日發電】勞農政府の態度逐日硬化するため國民政府も遂に本管を吐き和平解決を希望する旨の第二次回答を發するに至り取敢ず鐵道部長孫科氏を非公式全權代表として駐露代理公使朱紹陽氏と共にハルビンに急派するに決し、孫科氏は明日北平着の豫定で二十六日朱氏の着平を待つてハルビンに同道ロシア側と折衝するが北平にては日、英、佛、米四國公使を訪ふべしと豫想さる

露支關係 局面の轉換期に

【ハルビン二十三日發電】露支國境に對するロシアの兵力は依然增[illegible]

一週間前に わが許可を要す

支那兵の附屬地通過

武裝支那軍隊の長春滿鐵附屬地無斷通過事件は既報の通りであるが北滿の時局紛糾の折柄かゝる事件は將來も惹起さるゝ虞があるとの觀測の下に、關東軍の花井參謀は廿四日非公式に藤岡警務局長を訪ね、大庭高等課長を交へ警備方法に就き種々協議を凝らすところがあつたが、內容は發表されない、何れ具體的方法が講ぜらるゝこと觀られてゐるが、今後支那軍隊の附屬地通過は一週間前に我當局の許可を受くるを要するものとし尚小部隊のものは從前通り附屬地警察署長の[illegible]に求ねるも、大部隊の通過は直接本隊の指揮を仰がしむる方針を採る模樣である

自衞手段外の 行動に出ぬ

廿三日訪問の林總領事に 張氏言明す

【奉天特電二十三日發】林奉天總領事は二十三日午後四時半興津書記生を伴ひ張[illegible]氏を訪ね約一時[illegible]東鐵問題に關する奉天當局の眞意を質したが、張氏は自衞手段以上には出ぬと云ふ事を言明し、北平に於ける蔣介石、閻錫山氏等との巨頭會議の模樣などを詳細話す處があつたと、なほ林總領事の張氏訪問を以て東京政府の東鐵問題仲裁に關し肚を探りに行つたのだとの說に就ては日支兩當局とも絶對にその事なしと否定してゐる

浦鹽支那領事 引揚ぐ

【ハルビン二十三日發電】浦鹽支那領事は二十四日午前九時發の伏木丸で浦鹽を引揚げることに決定した旨當地支那側に入電あつた、ハバロフスク、ブラゴエチンスクの支那領事館員の消息は尙不明である

米の勸告 勞農に未着

佛外相傳達否認

【モスコー二十三日發電】米國々務卿スチムソン氏の對露勸告はフランスの手を經て勞農に傳達せられたと傳へられてゐるが、今尚勞農外務省に到着し居らず、果してスチムソン氏の勸告は如何になりしか頗る奇異とせられてゐる、佛國外相ブリアン氏は自分自身の創意に基いて調停を提議したに過ぎず、何等米國側の勸告を傳達したる事はない模樣である、故に若し佛國にして佛國の提議に對する勞農側の回答を以て米國の勸告に對する回答をも含むものと斷定すれば明かに過まれる斷定であらうと思はれる

寛城子驛員 廿九名捕はる

【ハルビン廿三日發電】東鐵寬城子驛ロシア從業員は廿二日夜ストライキを行はんとせるを支那官憲探知し首謀者廿九名を逮捕監禁し白系露人を採用して之に當らしめてゐる

鮮銀の北滿投資 漸次回收に決定

英米の資本家と同樣に

【東京特電二十四日發】朝鮮銀行は大藏省の內命により露支國交斷絶の結果北滿地方の經濟界に及ぼすべき影響につき調查中の處、最近英米資本家が同地方に對する投資の回收に着手したるに鑑み、同行も亦漸次投資の回收を圖ることに決定した

支那汽船を また抑留

勞農の軍艦が

【ハルビン二十三日發電】黑龍松花江合流點で支那汽船四隻又復ロシア軍艦のため逮捕され支那人旅客貨物多數抑留され哈交涉員はメリニコフ總領事に嚴重抗議中

北平の露官憲 全部引揚

【北平二十三日發電】露國領事スビルウアネク氏は二十三日午後四時半列車で北平を引揚げた、氏の出發を以て當地の勞農官憲は一人もなくなつた、尙氏は天津、大連、敦賀を經て歸國する筈

陸軍異動 ―決定の分―

【東京二十三日發電】決定せる陸軍異動左の如し

補陸軍士官學校長 歩兵學校附 少將 原田敬一
補歩兵學校教育部長 陸軍士官學校幹事 少將 厚東篤太郎
任中將 補旅順要塞司令官 歩兵第三十三旅團長 少將 清水喜重
補陸軍士官學校教育部長 航空本部附 少將 小澤寅吉
補下志津飛行學校長 下志津飛行學校長 少將 荒蒔義勝
補明野飛行學校長 明野飛行學校長 少將 毛內靖胤
補航空本部總務部長 近衞師團司令部附 少將男爵 淺田良逸
任中將 補東京灣要塞司令官 歩兵第二十八旅團長 少將 外山豐造
補近衞師團司令部附 教育總監部第二課長 歩兵大佐 角田政之助
任少將 補歩兵第二十八旅團長 近衞歩兵第四聯隊長 歩兵大佐 大濱石太郎
補第十師團參謀長 歩兵第七十四聯隊長 同 國部和一郎
補教育總監部第一課長 飛行第一聯隊長 航空兵大佐男爵 德川好敏
補所澤飛行學校教育部長 飛行第五聯隊長 航空兵大佐 小笠原數夫
補航空本部第一課長 臺灣軍參謀 航空兵中佐 牧野正廸
補飛行第一聯隊長 陸軍大學校教官 航空兵中佐 春田隆四郎
任航空兵大佐 補飛行第五聯隊長 獨逸大使館附武官 少將 大村有隣
任中將 補由良要塞司令官 教育總監部附 少將 深見新之助
補近衞歩兵第一旅團長 歩兵第二十四旅團長 少將 藤田鴻輔

熊岳城の農實所 滿鐵から獨立す

新に評議員會を設置

滿鐵熊岳城農業實習所は既報の如く愈々七月一日に遡つて會計を滿鐵から獨立することゝなり之に關連して左の通り評議員會を設けることゝなつた
一、熊岳城農業實習所に關する重要事項を審議せしむる爲め同所に評議員會を置く
二、評議員會の評議員は七名以上とし地方部長之を委囑す
三、評議員の任期は二ケ年とす、評議員補缺者の任期は前任者の殘任期間とす
四、評議員會は地方部長之を招集し其の議長となる、但し評議員全員の三分一以上より請求ありたるときは地方部長之を招集することを要す
五、左記事項は評議員會の決議を經ることを要す
イ、事業計畫に關する事項
ロ、豫算決算に關する事項
ハ、重要なる財產の處分に關する事項
ニ、地方部長に於て必要と認めたる事項
六、評議員會は評議員全員の半數以上出席するに非ざれば開催することを得ず
七、評議員會の議事は其の過半數を以て之を決す可否同數なるときは議長の決する所に依る

右評議員は二十五日中に決定する筈である、尙同實習所に對しては本年度並に來年度の二箇年間に於て設置費として滿鐵から二十萬圓以內を補助し又向ふ五ケ年間缺損ある場合には缺損額を補助する筈である、而して土地(七十町歩)並に使用料を徵收し家屋は無償にて滿鐵より貸付けることゝなつた

社告

本社取締役社長山崎猛君は七月廿三日を以て辭任し取締役高柳保太郎君社長に就任致し候に付此段謹告候也

昭和四年七月廿三日

株式會社 滿洲日報社

民政黨總務會

【東京二十三日發電】民政黨は二十三日午後二時半本部に總務會を開き政府と與黨の政策協調の爲め月一回閣僚と與黨幹部の懇談會を開くことを申合せ次で選擧對策として
一、內閣の政綱に關するパンフレット數百萬部を作り天下に宣傳すること
二、整理緊縮金解禁に關する遊說を徹底的にすること
三、閣僚、政務官、總務等地方視察員として全國に派遣し分擔して黨情を視察し選擧に備ふること
を決定し同五時散會した

大連商議の 役員會

大連商工會議所役員會は廿三日午後三時から開會、朝鮮沿岸航路標識增設請願に關する事後承認を得關東州航路標識增設改善請願に關する件も承認を得て直に關東長官に電請することゝなり、引續き三年度事務報告、決算報告あつた後佐藤會頭及び高田、横田兩副會頭は起立し、佐藤會頭より任期中大過なく重任を果し得たことは常議員諸氏の盡力の賜である、後任正副會頭は來る三十日常議員改選のうへ新議員によつて適當の人物を推薦されたしと任期滿了辭任に際して一場の挨拶あり、これに對して古澤丈作氏は常議員を代表し答辭を述ぶる處あり同四時半散會

滿洲日報社 社長更迭

幹部一部辭任

本社長山崎猛氏は夙に辭意を決して去る九日歸社、十一日全社員を集めて近く辭任することを聲明すると共に引續き同業者間に對する挨拶、社內の留別會等を順次開催し傍ら後任社長に對する引繼事項の整理中であつたが其後重役會、株主總會等の議決により同氏の辭任正式決定となり後任社長として取締役高柳保太郎氏就任に決したので廿四日本社に於て正式發表を見た、尙同時に次の諸氏は一身上の都合により今月限り退社と決定した

專務取締役 [illegible]
編輯局長 米野豐實
營業局長 扇谷亮
總務部長 臼井忠雄
編輯局整理部長 細田[illegible]

辭任幹部送別

編輯局員主催で

本社々長山崎猛氏辭任歸京につき同郷茨城縣人會にては二十四日午後五時よりヤマトホテルに於て盛大なる送別會を開いた、なほ本社員の社長留送別會は盛に開催されたが更に昨夜編輯局員主催の下に山崎社長並に同社長と共に辭任したる尾間取締役、米野、扇谷、臼井各理事、細田整理部長等の送別會を西園亭に開催した

高柳滿鐵囑託辭任

滿鐵囑託高柳保太郎氏は今回本社長就任と同時に滿鐵囑託を辭職するさうである

滿鐵正副總裁 廿三日歸連す

夕刊既報、廿三日奉天に於て各社員と惜別しなほ張學良氏を訪問した山本、松岡滿鐵正副總裁の一行は同日十四時十分同地日支官民多數の見送りを受けて歸連の途についたがその途中遼陽、鞍山、大石橋、瓦房店その他主要驛に停車毎に地方社員及び家族その他の涙ぐましき見送りあり、正副總裁は一々下車して「永い間御世話になりました、有難う」といと懇ろ丁寧に惜別の會釋をなし同二十時三分無事歸連した

人事

▲榊原政雄氏(奉天榊原農場主) 二十三日朝來連ヤマトホテルへ
▲久留島秀三郎氏(鞍山製鐵所事務課長) 二十三日夜來連ヤマトホテル投宿

安樂椅子

山本滿鐵總裁は自分の俸給が幾らであるかといふことを最近まで知らなかつた▲夜之が滿鐵總裁として奉天へ告別に行く前に最後の訪問とあつてあまりケチ臭いことは出來ないといふので祕書役を呼んで「金が幾らあるか」と訊した▲祕書君「今月の俸給が[illegible]あるだけです」「オレの月給は幾らなのだ」「本俸八百圓に手當四百圓、都合千二百圓」これではじめて自分の月給が分つたと呑氣な身の上だ▲周水子は元臭水子であつたのを如何にも感じが惡いといふので「秋水」「周水」等いろいろ考へた末現今通り改めたのだと松岡副總裁が述懷してゐた松岡氏が其の改名者である。

滿日地方版

奉天

廿八日に切替の 自働式電話 加入者の注意事項

奉天郵便局における自働電話は去る廿一日五百名に對する試驗通話開始以來成績極めて良好で、その切替へは愈よ來る廿八日午前一時に行はれることに決定した、當夜は名士新聞記者等約四十名を招待しその實況を參觀せしむべく諸準備のため局内は繁忙を極めてゐる
自働電話の開通に關し加入者としての心得うべき事項は左の通りで、郵便局から別に印刷物を以て各加入者に知らせる筈だが、これは電話切替上に極めて重要なる事柄に付一般に承知し置かれたいと
一、七月廿八日午前一時から自働式電話を開始します
二、右時刻以後は新電話機を御使用下さい
三、他所から掛つて來る電話のベルが新電話機に感ぜずして舊電話機に感じますけれど之には構はず新電話機で應答して下さい
四、切替當日中に局員巡回の上舊電話機の線を切斷し新電話機のベルが鳴るやうに致します、又更にその翌日頃から舊電話機の取外しに廻ります
五、切替後に於て舊電話機を使用すると自働式電話に故障を生じますから絶對に手を觸れないやうにして下さい、別紙注意書を舊電話機の側に今日から貼付けて置いて下さい
六、切替後は新電話機の番號盤に取付けてある紙蓋を取除けて下さい、中には堅いのもありますが器械を傷めぬやうに御外し願ひます
七、切替前日中に時計を正確にお合はせ下さい

大人氣の 日本相撲 初日の盛況

日本大相撲常の花一行百五十名は

人事

▲太田地方事務所長 廿三日歸奉
▲秋田奉天鐵道事務所運轉長 同上
▲築島哈爾賓事務所長 廿三日來奉
▲張作相氏一行五十五名 廿三日歸任

廿三日朝華々しく長春から乗り込み、折柄好天氣に惠まれ同日正午から舊グラウンドに於て興行、櫓太鼓は朝來人氣を集め場内は和歌島後援、天龍會等の總見、房前花街の美妓連等滿員の盛況で好角連を喜ばしてゐた

セルプス氏夫人

我が基督教會のため盡力し知られてゐるセルプス氏夫人は令孃同伴二十三日安奉線急行にて來奉同夜奉線で北京に向つた

東郷參事官

東郷外務省參事官は廿三日十三時半急行にて來奉一泊の上北行する由

白石小隊長

救世軍大尉白石德治氏は今回奉天小隊長に就任し廿三日各方面を歴訪し挨拶をなした

哈爾賓

動搖せる人心 漸次落つく 引揚ぐる者も減少

事件發生以來いろいろな謠言で惱まされ一部人心の動搖を來してゐた當地も、時日を經るに從ひ漸次露支兩國の態度が判明し兩國とも問題を平和的に解決したい意志あることが明瞭となつたので、多少安堵した模樣で漸次常態に復し露領又は南滿へ引き揚げるものも減少しつゝある

正金家族引揚 事實でない

當地正金銀行支店が行員の家族引上げの命令を本店から受けたとの噂に對し、藤牧同行支店長は記者に語る
そんな命令を受けては居らぬ、從來斯る場合に於ては本店の命令によつて引上げをなすわけではなく支店長の意見で決行してゐるもので、今回も自分が必要と認める程度に時局が切迫すれば家族共は少し早目に歸すつもりで居るが、未だ其れを必要と考へるに至つて居ない云々

ネヅナイコ氏 縊死を圖る

東支鐵道課の最古參として邦語に精通し邦人間に緣故深きネヅナイコ氏は、今回の免職を免れたるが、籍を赤系に置く關係上諸事勞苦を重ねたる結果廿一日以來精神に異狀を來し同夜新市街スケルコーワヤ街の自宅で縊死を企て生命は取止めたが其後は罪ありとて醫藥を拒絶し居るので、早晚死を免れないであらうと

蔡交涉署長歸任

蔡交涉署長は最近當地で起つた諸事件報告のため出奉中であつたが二十二日朝用務を果し歸哈した

築島所長赴奉

築島當地滿鐵事務所長は山本社長送別のため二十二日午後一時十分奉天に向つた歸哈は廿四日朝の豫定であると

四平街

水泳プールに 滿蒙丸泛ぶ 時間貸をなす

當地は海に遠く山に隔たりたる當地のこととて水泳プールは大和金小河童で大賑はひを呈してゐるが、過日護謨製二人乗の輕舟が到着したので、滿蒙丸と命名して目下之を水泳プールに泛べ試驗中である、近く一般に開放し時間貸をなす由であるから朗かな欸乃の聲が公園の翠綠を縫ふて聞ゆるのも遠くはあるまい

萬家嶺の 山間聚落好評 小學兒童向ふ

當地滿鐵社會課の主催に係る萬家嶺山間聚落は水に喝し山に飢えたる當地方のこととて異常の歡迎を以て迎へられ、二十二日當小學校學童は監督高橋源重氏に引率され喜々として出發した驛頭には父兄始め社會主事其他の見送りがあつた右に就いて酒井社會主事は語る
萬家嶺山間聚落は大連本社でやつてゐる星ケ浦や熊岳城連山關等の催しであるが今夏始めての聚落の如き大集的のものと異つて少人數である故眞に親みある精神的に尊い體驗を得られることゝ期待してゐる、尚本年の實驗によつて豫想の効果を擧げ得れば毎年行りたいと思つてゐる

長春

ヤマトホテルで 社交ダンス研究 山中夫人を聘して

長春に於ける社交ダンス熱は一兩年前から盛になつたが、昨年之等同好者が集つて眞面目に研究するやうになつてやうやく一般から歡迎されるやうになつた、之等同好者が昨年哈爾賓から迎へたダンス教師佐藤節子孃は職業ダンサーであつたので兎角の世評があり面白からずとあつて中止し、その後寂寥を感じてゐた所今度元哈爾賓日露實業社員山中忠一夫妻が暫く長春に在住することゝなつたので、同氏夫人を聘してヤマトホテルで教授を受けることゝなつたと、同夫人は最も熱心なダンス研究家で相當名が知れてゐる所から既に希望者は二十名許りあると

日本相撲 二日目勝負

日本相撲第二日は前日同樣滿員の盛況で、當日は料理店組合の總見があり一段の光彩を添へた、先づ幕下の個人決勝あつて中入後幕内及び三役の勝負は流石に緊張した三役は常ノ花、常陸岩、若葉山等西の勝利に歸した、主なる勝負左の如し

勝	負	勝	負
栃ノ森	常盤野	出羽嶽	藤ノ里
常陸嶽	大島	常陸島	若常陸
天龍	外ケ濱	武藏山	新海
玉碇	和歌島	若葉山	信夫山
常陸岩	山錦	常ノ花	大ノ里

開原

紅頂山駐屯兵 出動準備成る

昌圖紅頂山兵營に駐屯中の東北陸軍第十七團配屬の將卒四千三百餘名は露支國交紛糾すると共に出動準備を急ぎつゝあつたが昨今全く其準備整ひ命令一下出動すべく準備なつたと

土用稽古時間變更

武德會開原支所の武道土用稽古は二十三日より稽古時間を一時間繰上げ午後三時より始むる事となつたと

洋服ぐるみに 二百圓盗難

二十二日午後三時半東四條通四十四番地今井治作は古城子採炭所事務所内で十圓、五圓紙幣取混ぜ二百七圓入りの蟇口を上衣ポケットに入れたまゝ帽子掛に掛けて用談中、洋服ぐるみ盗まれた、犯人は用談中這入つて來た十四五歳の支那人らしく目下行方を搜査中である

旅順スケッチ (三) 河野青陶

花壇の百花と池の水蓮は今が彼等のシユンである
棚の藤は花と別れて寂寥しの鐵手を垂れ午睡の苦力の蠅を逐ふ、氣の多い藤だ

池の廻りのポプラの木も大陸的な野趣に富む
夜に入ると、白塗りベンチと芝生の散歩道がハツキリ存在して町の若い人達にコール、コーヒーの樣に黒ずむだ暗の中に冷たく、苦く、甘い味を與へてゐる

拓相其の他政界、財界の有力者と會見意見を叩いたが、藏相と拓相との間には多少意見の相違もあつた、井上藏相は個人としては塵米計畫には觸れたくないとのことだつた、鐵道に關しては現在國債六十億に對し毎年三千萬圓程度の減債資金を捻出する關係上多少の繰延は免れぬとの意見だつた
との報告に對し二三質問あり、十時四十五分休憩、午後零時廿五分再會、各會議所會頭一名づゝを委員とする委員會作成の左の決議文を滿場一致可決、直に中央政府及び民政黨政界財界の

有力者

渡邊會長に打電し並に東上中の新義州、鎭南浦兩會議所會頭にも今後の運動方を依賴するに決定午後一時閉會、一方出席會頭は廿三日兒玉政務總監以下本府當局を訪問諒解を求めるに決して散會した

決議文

(前略)只それ我朝鮮は施政尚ほ日淺く民度最も低級にして大多數の民衆は動もすれば雜穀を糧とするすら困難の狀態にあり、殆ど原始に近き生活を營み浮華輕佻の風内地に比すべくもあらず、從つて節約整理の餘地多からざるを以て内地と一般の筆法を以て緊縮を斷行せらるゝに於ては忽ち發展期にある産業の進展を阻害し、多數の失業者を生じ(中略)出來得る限り朝鮮の特殊事情を諒察せられ必要なる産業進展の諸政策については寧ろ積極政策を方針とし民衆負擔の輕減をはかるを念として新附の同胞をして新内閣の施設に無上の惠澤を享けしめられんことを、茲に全鮮商業會議所聯合會滿場一致の決議を以て請願仕候也

撫順

線路破壞の 匪賊多數橫行す 巡警姿の男の指揮で

最近徒黨をなす強盜團跳梁し且つ撫順炭礦の新設線路を破壞し電車若くは貨車の顚覆を計る匪徒が多數橫行するので軍隊、警察署及び工務事務所で警戒中
二十日午後十時五十分大官屯製油工場の製油の殘渣頁岩積込線路附近に某國の制服制帽を着した巡警姿の男が指揮する賊團三十名現はれ勞務係員、番人等を長銃にて威嚇し線路内のレール三本を取りはづし數ケ所の枕木附屬物を破壞運び去り、更に二十一日にも午後十時三十分千金寨第四見張所附近に前同樣の男の指揮する十五六人の匪賊現はれ内七、八名は勞務係員の勤務する見張所を包圍し萬一電話でも掛くれば命がないと脅迫し他のものは線路の繼目板及び五枚を取りはづし電車の通行不能に陷らしめ尚見張所南側に積置きたる繼目板(一枚八貫目位の物)十五六枚を悠々と掠奪逃走した事件があつた

博徒五人 一網打盡す

目下撫順にては各種の賭博流行し撫順署で内偵中の處二十一日午前零時ごろから西三條通五番地長崎チヤンポン事立岩藤吉(四〇)=假名方で數名の男が賭博開帳中である ことを探知、倉田司法主任、武谷中川刑事等が踏込み
前記立岩外西三條通四〇番地橫野貞喜(五三)西四條杉多來(三五)奉天江の島町金井計吉(四〇)平西清太(五五)=何れも假名等一網打盡され二十二日十五時三十分の列車で一件書類と共に領事館送りとなつた

京城

産業方面には 積極方針を望む 全鮮商議聯合會決議

全鮮商業會議所研究會は廿二日午前九時半より京城商業會議所に開催、出席者は鮮内十一會議所代表廿八名で西崎京城商議副會頭議長席につき、議事に入り先づ廿一日歸城した吉田仁川商議會頭より渡邊會頭と同道、首相、藏相、

熊岳城

小學生キャンプ 長春健兒團來る

長春健兒團員二十餘名は二十四日着熊當地溫泉河原に一泊のキャンプ生活を實習し二十五日歸長の筈であるが、これに先だち先發隊柴田良二氏以下五名は廿三日十五時十分當驛着直に溫泉場に向ひ三張の天幕を張り其他總ての準備を整へて待ち受けたが、可憐な團員一同は竹下健兒團長に引率され廿四日テント内に落ち付き、砂浴、水浴、溫浴等をなし愉快な一夜を熊岳河原に明かした

人事

▲永野善三郎氏(開原小學校長)前熊岳小學校長)星ケ浦の聚落參加兒童見舞の爲め來熊

渡船顚覆 二名溺死す

廿日午前十一時半頃興北道茂山上流約一里の豆滿江チバタイ渡船場(支那側鍛鍊營)に於て、乘客八十二名を乘せた稻大三名の渡船が數日來の增水に操櫓を誤つて顚覆し乘客全部河中に墜落したが鮮人男一名女一名は溺死を遂げ、同男一名女四名は行方不明となつたので茂山署から警部補以下十五名を急派し救護及び死體搜索中である

營口

北票、朝陽間の 鐵道敷設期決定 今秋起工を政府許可す

錦州から北票に至る運炭鐵道は先年完成を告げ目下運轉中であるが更に北票より朝陽に至る八十餘支里の線路は其後直に起工の筈であつたが、工費の關係から其儘放置されて居たが時局の關係上熱河都督湯玉麟氏は急に敷設の必要を稟申したところ、國民政府は之が敷設を許可したので今秋より起工する筈であると

地委選擧期日 十月一日に決定

今秋沿線各地に擧行さるべき地方委員選擧は當地に於ては十月一日と決定した

永尾所長赴連

永尾地方事務所長は事務打合せの爲二十二日出發赴連したるが二十四日より二十九日まで史交涉員の旅大行政觀察の案内をなす由で高日本科長も同行する筈

忠魂碑移轉報告祭

かねて計畫中であつた忠魂碑移轉工事も近々着手の運びに至つたので二十四日午後四時半碑前に於て移轉報告祭を執行した

稻川驛長榮轉

稻川驛長は着任以來一ケ年九ケ月間上下の信望殊の外厚く市民各方面の氣受もよく名驛長としてよく職務に忠實に何等の過失もなく大いに將來を囑望されてゐたが、今回長春列車區長に榮轉する事に決定したので、岐阜縣人會では廿一日午後五時から梅迺家旅館で惜別の宴を催したが、官民合同の送別宴は廿六日午後六時から盛大に公會堂で開催されると

ホームで官民を代表して小林才治氏挨拶を述べたるに對し驛頭に於て謝辭を述べ營口官民も數名來驛共に挨拶を述べた、尚小林地方委員議長は海城迄出迎へ車中種々懇談を交へた

大石橋

山本總裁告別

山本滿鐵總裁並に松岡副總裁一行は

府内雜信

▲京城府教育會幹事會は廿三日午後二時より府廳議員控室に打合せ會を開催昭和四年度豫算案作成其の他を附議した▲京城府内の五幼稚園主任者は幼稚園に關する研究及關係者の聯絡提携を圖るため京城幼稚園協會を組織に決定、會長石原磯次郎、副會長李康穆、幹事四名を推薦事務所は當分府廳學務課内に置く▲廿二日午前十時五分頃府營バス京一〇〇八號運轉手金興燮(二二)が京城驛前で活動寫眞撮影中の朝鮮新聞日報社々員李鍾穆(二一)に衝突、李は右足右手等に全治三週間の打撲傷カメラも大破した▲府民の水泳場漢江へは毎日八千人以上の河童が押し寄せてゐるが廿一日府内玉泉洞一閔永水(一二)及び府内花洞四の一四中央普通學校生徒李系煥(一七)の兩名は水泳中に溺死、府内青葉町二の一〇金熙成(一七)も眞瓜を洗はんとして河中に墜落溺死した

人事

▲東京藥學專門學校生徒十五名 廿六日入城廿七日夜奉天へ
▲大阪府立天王寺中學生卅五名 廿六日入城廿八日夜奉天へ
▲岐阜高等農林學校化學科生徒十名 廿二日入城廿三日奉天へ
△大阪府立住吉中學校生徒三十名 廿八日入城廿九日奉天へ
▲廣島高師附屬中學生卅七名 廿九日入城卅日奉天へ
▲京都府船井郡校長團 二十二日入城廿四日奉天へ
▲鹿兒島市立商業生徒十三名 二十五日入城廿六日奉天哈爾賓へ

滿日五人拔戰 大連將棋聯盟特選

(藤田君一回勝二回目)
(八ノ一)平手 先番初段 △藤田 德藏
初段 ▲濱田 豐太

(盤面以下の手順)
▲六二銀△四六歩▲五七飛△六六歩▲同金△六五桂▲五八飛△四七歩なる▲同歩△一九龍▲七二銀△同金▲六三歩なる△同金▲五二馬△七二銀▲六四歩△五七歩

戰の跡 三段 宮本金三

中盤戰の烈しい應酬が一段落を告げると、又靜な局面になるものである、其處で押切つて行く指手と……隔手を選んで敗局を招く指手とがある。要は只其人の持つ棋力と相對的の物である、こんな分り切つた事を書く必要もないが實戰對局に際しての心得の一つとして考慮から好棋諸君に望むものである。
◇
前面は……藤田君が六四歩と打ち、七二銀と引かせた處まで其手筋の連續で今日の第一手は濱田君が、六三銀と打込み不相變敵玉に一路迫つて行く濱田君が四六歩と飛先を脈し六五桂と打つたのも局面として至當の着手でした。四七歩と成つたのは少し指過ぎの樣です不止得一九龍と行つて飛の交換を避けなければならなくなつたのも當然の歸結でせう。七二銀から五二馬迄の手順は讀筋を辿つたものとは言へ前局六三歩となり六四歩と打込んだ時からの深い讀みの結果が形になつて現はれたと云ふべきでせう。兩度六四歩と打ち專ら敵玉に迫つたのも順當の手段濱田君が五七歩と「ピタリ」飛先を押へて今日の戰應漸く收つた形……。
◇
將棋教授處を新設致しました監部「いろは」濱、常陸町十九番地出張教授も初心者を特に歡迎致します段宮本金三。

瓦房店

驛軍大勝す 來征の大連鐵道事務所軍 十二對七にて一蹴さる

瓦房店驛軍は藤村前驛長が平素陣頭に立つて激勵したゝめか實力侮るべからざるものがあるので、之を一蹴すべく大連鐵道事務所軍は其の精鋭を集めて廿一日來征し、零時半高楓氏審判の下に瓦驛軍先攻にて試合を開始したところ十二對七にて瓦驛軍の勝利に歸した瓦驛軍のメンバー左の如し
井室島岡口田野津口 石井魚松川磯河草谷 (投)(捕)(一)(二)(三)(遊)(左)(中)(右)

プール開き 二十六日より

既報瓦房店プールは愈よ竣工を告げたるを以て來る二十六日よりプール開きをなし引續き一般に公開する由

小學童の林間聚落

瓦房店小學校五年以上約三十餘名は林間聚落の爲め二十日より五日間萬家嶺に於て林間聚落を開始した

松井師團長檢閲

松井第十六師團長は當地駐剳第二大隊臨時檢閲のため二十四日十七時急行にて來鐵松花ホテルに一泊二十五日檢閲を行ふと

林家計報

當地松島町力武商店林氏の母堂は郷里三田尻に於て病氣靜養中のところ二十三日死去せる旨通知があつたと

鐵嶺

亂石山の 水害甚大

亂石山附近の水害は想像以上にて上下列車の運行を不能に陷らしめた被害甚だしく、鐵道西の支那人は何れも家を棄て家財を纏めて安全地帶に避難し比較的高所にある驛附近でも膝を沒する程であつたと

地藏尊祭延期

當地觀音寺では毎年二十四日地藏尊祭を執行して來たが今年は連日の豪雨に妨げられて催されぬ爲め、來る二十七日に延期したが當日の子供相撲福引などは例年以上盛大に行ふ筈であると

奉天電話新番號帳

奉天の電話番號も著しく變更されたが、電話及自働式交換實現に伴ひ此新番號帳は今回別冊として印刷せられ一部實費二十五錢にて希望者に頒つ由、鐵嶺の希望者は鐵嶺局に於て購入されたしと

山本總裁告別

山本總裁は二十三日十八時急行にて北方より來瓦驛頭に出迎へたる各社員及び官民一同に對し永々御世話になりましたと挨拶の上同列車にて歸連した

守備隊長歸國

當守備隊寺尾隊長は内地に靜養中の令閨病氣の爲め二十二日原籍地廣島に歸省した

郵便取扱時間變更

瓦房店郵便局にては七月二十一日より八月三十一日迄暑中に付爲替貯金保險代金引替其他現金受拂事務は午前八時より正午迄となつたが但し郵便電信電話は平常と變りはない

電燈臨時株主總會

瓦房店電燈會社にては定款變更及取締役監査役選任の爲め八月三日臨時株主總會を開催する事となつたと

寸閑隨筆

萬家嶺に五日間林間聚落を見學し共に試みた竹淵校長は同地の風景は内地の輕井澤に彷彿たるもので山は高く水は清く流れは細く早い、そして老樹鬱蒼と全く林間生活に合致してゐると云ふて目下四平街の兒童も來て居るそうだが眞に沿線稀に見る好適地とも云ふ事だ▲吉留區長の社給服は特別誂へだと説明すると藤村驛長いや十分一束だと槍槍を刺す何れが本當か▲折角出來上つたプールにヒビが入り更に修繕を要するので二十六日の開場式はお流れとなる

金州

仙境響水寺の 林間聚落開かる 金州校を魁に二十六日より

滿洲に於ける虛弱兒童の爲めに特に設けられたる響水寺の林間聚落は愈よ來る二十六日より金州小學校を魁に開始さるゝことになつたが、周知の如く響水寺は屋後の岩間より湧出する滿々たる響水の清流を有し一塵紅塵を洗ふに足るべく凉味萬斛、周圍を遶らす幽谷も流るゝ響水と相和して殆ど仙境にあるの感がある、又後に屹然と聳ゆる大和尚山には鬱蒼たる山腹に觀音閣、唐王殿等の如き古色蒼然たる幾多觀音の仙境ありて一日の探勝を恣にするに充分である、今や金州響水寺間には自動車の往來も可能となり大和尚山登山道路も出來て探勝の便最も開けたれば此機を逸せずして避暑旁登山絶景を極むるのも亦一興であらう

遼陽警察署員の署中稽古

遼陽警察署では廿一日から向ふ三週間毎日午前五時半から一時間柔劍道の土用稽古を開始した

田教師に引率され沿線武者修業の途、廿三日朝來遼午前十時半から警察署振武館に於て宍戸四段(撫山)西四段(遼陽)の審判で遼警軍と紅白試合をなし終つて岡田教師の地稽古があつた、成績左の如し

熊農軍 遼警軍
○木村 ○○平野
中豐晋 ○○黑坂
○山田 ○齋藤
楢崎 ○廣田
○○永重 ○○多久島
○○加藤 ○泉
○○澤田 ○阿部
鈴木 ○小野寺
○坂本 ○○松原
齋藤 ○諏訪

熊岳城農業實習所劍道選手來遼

熊岳城農業實習所劍道部選手は岡

遼陽

不良職工を 解雇 滿洲紡績が

滿洲紡績會社の職工中山東で募集した多數の中には相當不良性を帶び動もすれば山東組が團結して不穩の擧動をなす虞あり、注意中の處地元警察職工と衝突遂に縣公安局に十七名が檢束さるゝことになつたので同紡績では此の際懲戒的に解雇處分に附す意嚮であると

武道署中稽古開始

當地に於ては去る二十二日より城内警務課振武館に於て柔劍道の署中稽古を開始したが期間は十日間であると

家庭慰安映畫會

滿鐵社會課主催の下に去る二十二日午後七時より金州小學校講堂に於て第十二回家庭慰安活動寫眞會を開催したが、獅子大喜多海軍の巻ロイドの福の神等の滑稽映畫で觀衆を喜ばした

蓄音器音樂の夕

大連藥商會慰問部に於ては金州婦人會後援の下に二十三日午後七時より小學校講堂に於て第二回地方慰問として蓄音器演奏を一般に公開した

間島

露國から 鮮人引揚 壓迫されて

黃海道海州生れ崔基成(五七)は今より三十年前獨身で露領ポセットに赴き爾來漂浪生活を繼續中、十五年前より露領の一部落(八十戸餘)の大部分二萬四千坪(六百日畊)を手に入れて農作に從事し、家畜其他相當の構へを爲し、家畜類も數多飼育するやうになり、且つ妻子も出來て裕福に暮して居たが露國革命により赤軍の世になるや所有土地を全部沒收せられ、最近に至つては雇ひ人さへも法規に背くといふので之を禁ぜられ更に動產も全部沒收するとのことを耳にした同人は、愈よ居堪らなくなり其の親族家族を引連れて琿春西門外北街城に移住して來たと

人事

▲宮森麻太郎氏(東洋大學教授)二十三日下り急行で來遼
▲青木弁氏(總督府警務課長)同日南行

高等警察會議

局子街に於ける延吉市公安局にては延吉縣の第一署、琿春縣の第二署、和龍縣の第三署、汪淸縣の第四署等の首腦者を召集して近く高等警察會議を開く準備中であるが右は對日問題に關する協議を行ふため多分秘密會議になるだらうと

奉天に於ける山本滿鐵總裁及松岡同副總裁の告別宴 ―(奉天公會堂)―

京都は支那人の開拓地

稲荷松尾の兩宮　伊藤彦造畫

金の力と馬の力

第二篇　教育美談　有田音松

日本最初の金鑛　伊藤彦造畫

赤十字病院博士の診斷で肺病と決定 有田藥で苦もなく征服

思ひ出すだに身ぶるひがする……あの雪降る酷寒の二月悪性の感冒に罹り體がなんとなく弱くなり、一寸した事にも疲勞し、それに輕い嫌な咳が出て肩がこり胸が苦しくなりましたけれども父は若い時此の世を去り、男としては私一人でありますので我慢して無理に仕事をして居りましたら、次第に惡くなりまして午後になれば熱が高く夜は盜汗が出て安眠出來ず身體がだらくて仕方ありませんので、智頭町のお醫者さんに診て戴きましたら肺尖加答兒であるから今の内に充分養生せねば取返しのつかぬ事になると申されたので、大に驚き念の爲め鳥取市赤十字病院にて博士に診察して戴きましたら矢張り肺尖加答兒だと申されましたので醫藥は申すに及ばず、あらゆる治療を四ヶ月間もして見ましたが少しもよくならず、身心共疲勞するのみで何の效果もなく此上は助からぬものと家内一同共に悲觀して居りましたが、ある知人より……

盜汗も取れて食慾も增し、三週間目には仕事も增て目に見えて快方に向ふので大に力を得て連服九週間にて病前に勝る健康體となりました。尙念の爲め鳥取の病院にて診斷を受けましたら立派に全快して居るとの事に、この時の私の喜びは筆紙に盡し難いのであります。その後今日まで風邪一ツひかず鬼の如く元氣で愉快に働いて居ります。これと云ふのも皆有田樣のお蔭と毎日忘れることなく命の恩人として感謝して居る次第であります。

同病にお困りのお方は迷はず有田音松樣謹製藥を服用して全快あらん事を私の體驗上御奬め致します。

鳥取　縣八頭郡山郷村西谷九拾四番地ノ壹　全快者　高吉六

豐高吉六樣

醫者並に病院と商會の藥

商會が是れまで取扱つた全快者中には、病院に入院又は醫者にかゝり服藥中、商會の藥を服んで全快した人も澤山あり、又病院や醫者をやめて商會の藥のみにて全快した人もあるのであるが、いづれかといふと、病院や醫者にかゝりつゝ商會の藥を服用せられた方が安全である。それは、素人目では病狀が良いやうに見えても、病症の惡化しつゝあることもあるから、醫者や病院の診療を受けつゝ商會の藥を服用せらるゝことが、最も安全なる全快への近道である。

有田ドラッグ商會主　有田音松

肺病菌に打勝った私の全快記

私は日頃健康を以つて誇りとして居りましたが、ふとした事から風邪に罹り發熱甚だしく食慾も減じましたので何時もの風邪とのみ思つて藥を服んで居りましたが、一向熱が下らず附近の病院に行き院長さんの診斷を受けました處、右肺尖加答兒と診定され私は非常に驚き悲觀致しましたが、その後勸められる儘に服藥は申すに及ばず種々療養致しましたが、捗々しくないので困つて居りました處新聞廣告に有田藥を服用して澤山の人が全快致して居るのを見て物は試しと、早速鹿兒島市東千石町天神通り有田ドラッグ專賣所を訪れ私の今迄の容態を詳しくお話しゝましたら、主任樣は大變同情して下さいまして御親切にこの病氣に就て病理の說明及び種々養生法を詳しく敎へられ、有田音松樣謹製の有田特製治肺劑と有田血液素を買求め敎へられた養生法を守りつゝ服用致しました處、四五日すると食慾も進み氣分もよくなり熱も下り是れに力付き引續き十週間連服で全快致し健康となりましたが念の爲め某院長の診斷を受けました處何の異狀もなく全快して居るとの事で、私の喜びは申すまでもなく家内一同樂しく暮して居ります。これも偏に有田音松樣謹製藥の賜と深く感謝して居りますと共に、この喜びを同病者にお知らせして一人でも多くお救ひ致したいと存じ、こゝに私の全快談を發表する次第であります。

鹿兒島　市上荒田町六四〇番地　全快者　松本靜子

松本靜子樣

初の醫者は肺尖次の醫者は肋膜と診斷兎に角有田藥で全快

滿野は風邪が因で咳が時々出てよくなつたり惡くなつたりして長引きますので、醫藥を服ませ等して居りました處どうも治らないのみか熱も出る樣になり咳も多くなるものですから、これではと云ふので平田町の醫師の診斷を受けさせましたら、氣管も故障あり肺尖の模樣もあるから充分に養生に注意しなければいけないと敎へて頂きましたが捗々しくありませんので、他の醫師に診て貰ひました處肋膜炎だと申されましたので愈々一同は驚きまして、このまゝに捨て置いてはどうなることか判らぬ故お醫者の藥を服ましてゐても傍ら、常に新聞に發表してある有田藥で難病が全快したとあるから是非これを服ませて見るがよからうと家内中で相談の上平田町有田ドラッグ專賣所へ參りまして子供の狀態をお話し致しました處、主任樣は肋膜に對する手當方法を詳細に敎へて下さいまして直樣その通りを實行して有田特製治肺劑と血液素を服用させましたら、三日目から咳が薄くなつて來て熱があつたのが自然に取れて持續的に四週間服用させましたら、從前よりか元氣が一層增して其後は體質が變つたのか風邪もひかぬ樣になつて丸々太つて遊んで居ります。これは偏に有田樣特效藥の賜と厚く感謝して居ります。

島根　縣簸川郡西田村大字水谷本庄八百四拾番地　全快者　松浦滿野　保護者　松浦八百之助

松浦滿野樣

十和田湖

親族の者が有田藥で全快と聞き私も全快

大師樣のお告で有田藥を敎へられ肋膜と腹膜の全快

離れた所に靈驗あらたかなお大師樣があるのでそのお大師樣に占つて頂きましたら、お告げに有田ドラッグの治肺劑が良いからとの事に早速良人は兵庫縣三田驛前の有田ドラッグ專賣所へ行き主任樣に今までの容態を申上げて、養生法……

塚本ぬい樣

主家に參りこの事を申上げましたら、主人は日ごろ情の深い方だけに一層の喜びでありました。これも皆有田藥の有效絕大なのと醫藥との合理療養とでもいひますか、實に效力の神速なのに驚く外ありません。

長野　縣下伊那郡飯田町傳馬町二丁目谷口商店内　全快者　吉澤藤一

吉澤藤一樣

難病全快で家族一同大喜び

兵庫　縣有馬郡道場村　全快者　塚本ぬい

私は以前に一度肋膜炎にかゝり治療の結果全快の喜びを得たのも束の間で、いつとなく又胸痛を覺ゆる樣になり時々盜汗が出て氣分が勝れませんので心配のあまり醫師の診斷を受けましたら、肋膜に水が溜つて居ると申されましたので醫藥はもとよりよいといふ藥は總てを試めしてみましたが、病氣は日一日と重る一方で益々私は悲觀致して居りました。處が、天の助けか近所の人より有田藥の效能偉大なる事を聞き早速相知村大字相知有田ドラッグ專賣所を訪ねこれまでの容態をお話し致しました處、主任樣より養生法を詳しく承り有田特製治肺劑と有田血液素を買求め敎へられた養生法を守つて服用致しました處四五日目から盜汗も少くなり何となく快方に向ひ次第に氣分も勝れこれに力を得て專心養生に努力し服藥致しました處、さしもの難病も特製治肺劑六週間分と血液素六週間分の連服によりすつかり……

これ皆有田樣のお蔭で全快致しましたので、その謝意を表するため世の多くの惱める同病者の人々に有田藥の靈效を知らしめ、一日も早く全快して幸福の生活を送つて頂きたいものと私の全快談を發表する次第であります。

佐賀　縣東松浦郡相知村大字平之平三百四十九番地　全快者　毛利末雄

毛利末雄樣

ロクマク炎全快後出産のお芽出度

木枯しの風吹き初むる十月の末頃ふとした風邪にかゝりました處、いつもの風邪と違ひ肩がこり、體はだるく氣分勝れず食物は不味くて一向進まず惡寒する樣子なので近所の名醫に診斷を受けた處意外にも肋膜炎との事に驚き、醫師は勿論この病氣によいといふ藥は澤山服用しましたけれど、段々病氣は重くなり行く一方で實に悲觀して居る折柄、知人より有田ドラッグの藥が大變有效な事を聞き早速愛知縣古知野町有田ドラッグ專賣所へ行き、お話し致しました處主任樣は家庭の事情や病氣の容態等を細々聞かれ肋膜炎の說明や養生法等を御親切に敎へて下さいまし……

百匁服めば四百匁の血が出來る　有田血液素

天下の大問題となつた良藥

有田ドラッグ商會主　有田音松

肺病は死病なりとして、醫學界で持て余して居つた、其の肺病が商會の良藥で、續々全快者が出來るので、商會ではそれを天下の新聞に發表したのである。サア醫界は勿論社會一般の注視の的となり、其の結果東京の大新聞の問題となつたり全國の一万からの香具師が、人寄せの材料に屢用するに至り、官憲でも捨て置くことの出來ない立場となり、新聞に發表した全快者を全國の警察に囑託して嚴密なる（一年半の日子を費し）調査をせられた結果、偽りでなく眞實の全快者であつたので、公明正大となつた譯である。

商會では誰に憚ることもなく、否な立派なる全快者と藥の有效なことが立證せられた次第である。

「之れをしも信ぜざれば天下に信を置くものなし」

迷ふ事なく商會の良藥に賴つて一日も速く全快せられんことを祈る。

文藝

日本新劇壇の現勢展望 （二）

青木實

分裂後の「築地小劇場」は小屋主であり「新築地劇團」の主たる責任者でもある土方與志氏との協定もついて、背水の陣を敷いた無謀なもの、ドストイエフスキイ原作、ジヤツク、コポオ脚色「カラマーゾフの兄弟」五幕を四月公演した。見てゐて實際血の涙の出るやうな演技部員の精進振りだつたが、觀客席は寂しいものだつた。咳ひとつしても舞臺の邪魔になる演技の緊張ぶり及び客席のまばら振り。今の世人にはもうドストイエフスキイはもう魅力がないのだらうか？それにしても、集團としての人類の惱みも勿論檢討されなければならないが、一個の人間としての魂の問題もつと考へられる必要はなからうか？

久方振りにみた深刻がかつたものに、僕は何か心の昂奮を感じて、今更らにドストイエフスキイの偉大なる「人間性」に驚歎すると共に、芝居らしき芝居に堪能し得た滿足を感じた。御存知の如く邦文にして千五百頁餘の尨大なる原作を五幕に纏めあげたジヤツク、コポオの脚色家としての手腕も偉いものである。序幕の退屈に開幕して、四幕、五幕目で劇的昂奮を最頂點にまで高潮させて置いて、突然幕を降ろすなぞ、息もつかせないうまさである。と同時に、言へば原作に忠實ならんとしたがために生じた無理がない譯でもない。例へば第一幕に長男ドミトリイに今日迄の一家のいきさつを長々と説明的に饒舌らせるなぞ、それである。演技部員八名脱退の寂しさは新進の拔擢に依つて遺憾なきまでに補つてゐた。

續いて五月公演は、ロシア新興喜劇と銘うつたアファイコ作「ブブス先生」三幕である「ブブス先生」は、史的轉換期に於て沒落新興二つの階級の中間によろめき乍ら遂に時代に取り殘されてしまつた、哀れな無產知識階級の姿を書いたもので、それを通して資本家、貴族、軍人階級の現實暴露を諷刺した現代式戲と云つたやうな喜劇である。ブブス先生は小學校の老教員で、新興階級に對する同感は持ち合せながらも、自ら進んで彼等と共に新しき社會を建設するための努力をするだけの勇氣はなく、そうかと言つて淫樂、偽滿感情に滿ちた支配階級の生活に魅力を感じてゐる譯でもない、その生温さから、中間にぶらついてゐる中に、支配階級からさんざんに道具に使はれ、遂には支配階級から傷勤されて、有力となつた左翼團體との妥協申込を頼まれる。その時革命は突發し、ブブス先生は新興赤軍に直面する。偶然にもその指導者の一人はブブス先生の昔の敎へ子で、ブブス先生は遂に新しき社會の小學校の先生に任命される。と言つたやうな筋である。

ブブス先生は全三幕を通じて口癖の如く「それは全然明瞭ぢやー」を繰返す。何か新らしいことをすると早速、鉛筆と手帳を出して日記につける。そんな技巧がブブス先生を愛すべく、そして憐れむべき人間にしてゐる。この作者の技巧が素晴らしく效果を納めて、粗雜さから救つてゐる。新らしき芝居によくある空疎な砂を噛むやうな感じがないだけでも新興喜劇として上乘のものだらうと思ふ。ブブス先生には御橋公が扮して滿點の上出來だつた。客席の入りも幾らかいゝやうだつた。

六月に藤森成吉作「磔茂左衞門」五幕六場を上演するに至つて「築地」の新しき活動もやつと明かになつてきた。こゝに於いて「築地」は過去五年間に於ける過程の中に、釀された矛盾、誤謬を清算し、過去に於て得た、技術的手腕を活用し、新しき內容を盛り又新たに必要とする技術、形式は此れを素直に受入れ、第二段としての活動に這入らなければならなくなつた。目標は「新興無產大衆のために」であらうが、それは理想論であつて、當分は現在のプチ、ブル、インテリ、學生等を觀客層としつゝ、漸次それを無產大衆まで擴大してゆくより仕方がないのだらう。經濟問題を相當に或は先づ以て、考慮しなければならない職業的劇團であるが故に、今日まで獲得してゐた觀客層を全然捨てゝ、理想に進むことは、冒險以上の猪突である。

一輪の花

暎賀仁

—某黨列傳の四—

筆者の友人にさる一女士があつて、彼女の語る所に依れば、稀に見る所の好漢だと言ふ彼も、亦同舟の一人なのである。該女士も曾て、彼あるが爲に某黨に斜眼を向けた事もあつたらしいが、さすがに黨を包む言ひ樣なき臭みは、その樣な個人的交友を以ては我慢が出來なかつたらしい。

由來、黨臭なるものは女の腋臭の樣なもので反つてこれあるが爲めに誘はせられる事もあるが、概して有難いものではない。殊に炎暑の頃、羅衣を透して發散する所の汗に溶れた惡臭は堪ふべくもない。少しばかりの香水は寧ろその惡臭に一層のあくどさを加へる。その意味において、彼が同舟する事は、その匂ひ高き香水の名に於いて我らは反對する。

たとへば、彼は野に咲く一輪の花而もたゞ一輪の花。見渡せども他に咲く花あるべしとも思はれぬ曠野の一輪の花。野の雜草が嫉視と羨望に包まれる一輪の花。何故に彼はこの野邊に咲かねばならぬのか。何故にこの惡臭の中に飛びこまねばならぬのか。臭みどめの香水のむちだと言ふのであるか。その故ならば先にも言へるが如く何らの要をなさぬ事になりさうである。

ノアの箱船は濁水の上に漂ふてゐる。神に選ばれた生きものゝ幾種類は、七いろの樹もて作られた舟の中に不安の幾日かを過ごしてゐる。助けを呼んで舟べりにすがる心良からざる生ものは濁水の中にわめき苦んでゐる。逃げおくれ箱舟にもれたる好漢よ。吾らは卿の爲に席を設けて待たうではないか。濁るものと共に生を託するの愚を避けやうではないか。

野に咲く一輪の花よ。その香はり高き花の名に於ても、吾らは卿を愛惜する事甚だしい。殊に彼は某黨を包む大氣の圈外に動く遊星である。これ吾等があまりに激しき期待を投げかける所以である。

無聲か發聲か

山村水太郎

無聲映畫がまだ進歩發達の途中にあつた頃クローヅアツプといふ手法が現れそれが映畫製作の黎明期を畫したものだとして騷がれたものであつた。

今日になつて見ればその手法は當然のことであつて格別不思議な思ひ付きとは誰も氣がつかないむしろさうしたクローヅアツプの無かつた日の映畫を不思議に思ふくらひであらう。

◇

トーキーが擡頭しかゝつたときそれは枯れ尾花を幽靈と見て騷いでゐる姿であつたあるときはまた巨象の足をなでゝ騷いでゐる盲人の姿でもあつた。

◇

トーキーの時代來ると確心を持つ人は夜も日も忘れ數百十萬金を惜まず研究を續けたさうして本年の一月には私の會社は今後一切無聲映畫を作りませぬと發表して世界をアツといはせた映畫製作會社が米國に出たりした。

「ムーヴイートーンだヴアイタホーンだ」といつてまだ見ぬトーキーの品定めに日本は騷いだ將來のトーキーはオールトーキーだいやパーシヤルトーキーだといつて騷いでも見た。

そうしてゐる內にとう／＼アメリカからトーキーが來た。

◇

無聲映畫によくある場面だが高く見上た高層建築の窓が一つフエードインで靜かにスクリーンに現はれる暫くするとガラスが一枚破れるそれまでは普通の映寫と何等變りはない。

まづい手法だ窓を出してそのガラスが破れる……それだけである……

が……ガラスが破れるその瞬間……カラン！ガチヤン！夜の靜寂を破つて觀衆の心を刺す音が何處からともなく聞えてくる……今のは多分街路の鋪道へガラスの破片が落ちた音だ……スクリーンにはまだ窓の畫だけが映つてみる……すると忽ちポン／＼とピストルの聲がする……また暫らく靜寂……重い感じが壓しかゝつてくる……やがて人足の騷音紙の舞オートバイの飛ぶ音自動車の警笛……までスクリーンには窓の畫が映つてゐる……そして空虚靜寂……畫は靜かにスクリーンから消へる。

◇

トーキーは確に映畫界の第二の黎明期である。

たゞ窓だけの映出……そこへこの音を添へて見ると……むかし（無聲映畫は何だかもう昔のもの思はれて來た）無聲映畫でこれだけの感じを出す爲めにはどれだけの畫を必要としたであらうか想像してもゾツとする。何事かそこには事件があつたその犯罪を追ふその瞬間の活劇……トーキーでは窓の映出るそれ等の音で殆ど人を戰慄せしめる程の効果を擧げてしまつた、しかも時間とフヰルムと……たゞアツと云ふ程度長さで足りるそうして印象は眼と耳とから……そして觀衆の想像を極度にあふつてゐるもしこれを無聲映畫で行つたら……觀衆の想像を導く爲めにあらゆる畫をこゝに苦心してならべなければならない少なくとも犯罪現狀と警官追跡とを露骨にしかも極く手際よくコンパイルせなければならない惡るく行けば觀衆の手を眼にあてさせなくてはならないかも知れない。

プロ藝術に就て

—ほんの偶感的に—

大庭武年

今夜も到頭眠られない。チアールなんていくら飲んだつて駄目だ。今打つたのは四時か？もうその位になるだらう。戸外が心持ち白んで來たやうだ。啓明を眠られない重い心で——眼で見守つてゐるのは心寂しいものだ。いつその事起き上つて、夜の明ける迄、何か書いて見ようか（此れを前書きに代へすぐ本題に移る）

プロ藝術——彼は確に現代兒である。彼の持つ色彩は血の氣の多い若い者に多少でも魅力的でない譯はない。彼は少くとも黴の生えた舊套藝術を一蹴した潑剌たる生氣を持ち、炎々として戰鬪的な情熱を持つてゐる。これが新しきを喜び、反抗的痛快さを喜ぶ現代のプチ・インテリゲンツアの青年に受けない筈はない。それに又恁うした流行性以上に、彼は十分に智的な現代青年によつて支持され得べき存在理由を持つてゐる、即ち啓蒙期の現代にスイタブルな存在理由を持つてゐるのである。

假令僕が可成りのプチ・ブル根生の保持者であり、そして藝術的には大正時代的な貴族主義者であり潔癖家であるにしても、謳歌する心こそなけれ、決して否定する心は持つてゐない。或ひは相當の好意を常に感じてゐると言つてさへいいのである。

然し、僕は常に彼に對して恁うした疑ひを抱いてゐる。

「彼は正して行進を爲しつゝあるのだらうか？」

——即ち、僕がプロ藝術に抱く概念は（或ひは今言つた現代青年に依つて支持され得べき存在理由と言ふ言葉の意味は）一言で言へば、藝術をサロンの「愛玩品」より解放し、廣く人類社會の「實用品」にせよ、と言ふ意味なのであるが（この邊を後にでも詳しく述べたい）然し、現在猖獗を極めてゐるプロ藝術は、どうも藝術をアヂ・プロの「手段」とし、藝術本然の姿を滅却させがちなのではなからうかと思ふのである。

僕は思ふ。藝術はあく迄「藝術」でなければならない。と、決してそれは人生の眞のリフレクトする鏡である以上、歪められた觀相を示す宣傳ポスターであつては「絶對に」ならない、と。

どうも、現在のプロ派は極端に言へば藝術を「爆彈」にしてゐるとさへ言へなからうか？即ちそれで既成反動機構を嫌でも爆破せしめんと努力してゐるのである（それでは彼等の藝術はスローガンと聯かも性質を異にするものでなくなるではないか！）從つてどうしても、と言ふよりも當然彼等の藝術は冷靜正當を失し、激越偏執、我田引水の誇張極りない宣傳ポスターとなり、いい氣になつてゐる彼等には大滿足でも心ある識者（僕ゝ言ふのではない。）をしては顰蹙せしめるものとなるのである。

僕はつくづく思ふのだが、實際現在のさばつてゐるプロ藝術はあまりに批判がなさすぎるやうだ。勞働階級は常に正しく美しく可憐で支配階級は常に不正で醜惡で暴慢である。尤もさうした場面のみを取扱ふ爲めにもよるが、あまりそれでは標本めきすぎて、一般人を正しき批判の彼方には導かない。（寧ろ讀者はそんなものを讀んで反つて反動的にそれと對稱した標本を思ひ浮べるかも知れないのだ）

僕の言ふプロ藝術の性能——即ち人生社會の姿を眞實に映し出すと言ふのは、即ち美醜をありのまゝに曝し出し、それを讀者の公平な眼に訴へる、と言ふ事であるのであつて、僕はそこに眞の意義が認められるではないだらうかと思ふ（此の例にゴルズワーヂイの劇作態度を擧げて置きたい）一體藝術なぞと言ふものは年數的に永い生命を持つものこそ尊く、その時代さえ通過すれば存在價値がなくなる（スローガンの如く）やうなものであつてはいゝ筈のものではないのである。

圖書館小話 （二）

橋本生

友人

歌集「海やまのあひだ」の著者はその卷末記に、中學時代の、腑謂文學青年であつた頃、同志と詩社樣のものを組んで、創作に從事したことを述べ、その同志の名、六人を擧げてゐる。その中に若し同名異人でないならば、博士にして大學教授たる人一、學士にして大學教授たる人一、國史の研究で知名な人一、都合三人、之に同書の著者折口氏を加へれば、七人中の四名が、天下に名を成したと云へる。而もそれが皆國史國文の方面に於てゞある。私は之を青年時代の同志相結んで、お互に勵まし合つた結果であらうとして、甚だ意味深いものと見た。

七月初めに故人になられた法學博士添田壽一氏を、世間に知らぬ者はあるまい。此の人の友人關係にも世に傳ふべきものがある。相手は法學博士男爵阪谷芳郎氏、曾て神戸市長たり、東京高等商業の校長たりし坪野平太郎氏である。坪野氏は病の爲めに、晩年の活動は出來ずに、大正十四年に亡くなられたが、その青年に對する教訓には「快馬一鞭」あり「叱牛錄」があつて社會の表裏、人生の辛酸を經驗した人の言として、讀者を裨益してゐる。私はこの「叱牛錄」を或る若い人に勸めたら、その讀後感は、どうもあの本は、餘りに嚴格で、と云ふやうた事であつた。人によつては、その文章から來る一種の氣力を、秋霜の威と感ずるのもあるかも知れない。實はそれ程では無いのであるが。

この三人者の交友は「叱牛錄」中の青年學生今昔觀の中にくはしい。明治十七年の三月、當時大學は休業中なので、かねてから親しかつたこの三人は、熱海旅行を企てたのである。新橋を立つて小田原で一泊、小田原から熱海へ向ふ田舍道で、一大老松の傘なりに枝を張つたのを見、三人はその根に腰を下して、海上の絶景を賞したが、三人の間にその時「今こそ吾々は一介の書生に過ぎないが、他日學成り身を立てた暁には、宜しく此の松下に碑を立てゝ、此の旅行を記念しようぢやないか」といふ相談が出來たさうである。

それからの三人は、世に知られる通り、それぞれの方面で活動したが、遂に若かりし日の記憶を呼び起し、明治四十一年三月三十一日、即ち二十四年前、その地に遊んだ日を期して、記念碑の除幕式を擧げたといふのである。

一緒に旅行するといふからには、仲が惡くなかつたに相違なく、當時の言を、二十四年後に實現したとすれば、交はりは當然續いてゐたものでなければならぬ。三氏各々の成功は、その隱れた所に、この交際が功を奏してゐたと見ることは、決して無理ではあるまい。

此の二つの例の如き、大小の差はあれ、天下に數多い。成功の裏面には、門閥あり財閥あり學閥閨閥郷土閥と、各種の要素を數へられるが中に、この友人關係も、たしかに見のがせぬ一要素であらう。そして之は、あまり他の閥と相關しないと見える所に、淸らかさの感じを與へるものがある。

この種の交際は、社交といふものとは違ふ、一種の誓ひのやうなものである。誓ひと云つたやうなことは、青年時代に於て、本當の意氣相投ずる者を發見した稀な場合に出來ることで、漸く一人前となつて、交際が社交時代に入れば恐らく何人にも得難い。若い人が好い同志を得ることは望ましいことである。壯年以上の者で、顧みて同志ありと信じ得るものは幸福である。子供が中學に入つた、せめて彼の卒業迄この地で月給に離れたくないと云ふのは友人選擇がその時代に特に重要なことを思ふと漫然と閑流しにもならぬ。

白系ロシヤ人盛んに北滿に雪崩れ込む

懷中無一文て無賃乘車を交渉　支那側驛員の採用難

【長春特電二十三日發】露支國交斷絶の結果約二千名の赤系露人が馘首されたので職にあぶれてゐたら白系露人等はこの機會に就職しやうと續々北滿目がけて集つて來る二十三日も上海、天津方面からの一團二十一名が長春に到着したが何れも文字通りの一文なしで哈爾賓迄の汽車賃がないと支那當局に泣きつき無賃乘車を交渉してゐると多分支那當局は無賃で輸送することになるだらう、尚支那當局は二十三日に寛城子驛員二十九名、長春驛員十六名の補充について白系露人を採用すべく手を廻してゐるが鐵道の經驗のあるもの少く僅か五名しか採用出來なかつたので他は哈爾賓で採用して近く赴任させるストライキは會社側が休業を斷行し支那側の意表に出た爲め支那側は狼狽し折み倒しの態度に出で結局今朝に至り急轉直下圓滿解決し今朝六時より操業を開始した

身の振り方に大弱りの態

長春附屬地に逃げ込んだ赤系露人百名に達す

【長春特電二十三日發】支那側の彈壓を逃れて長春附屬地に逃げ込む赤系ロシヤ人は日一日と增加し現在百名近くになつてゐる、彼等はそれぞれ知人を賴つて寄宿したり、市中の旅館に止宿したりして差當り生活には困らないが、本國との通信が杜絶し歸るに歸られず日本に廻つて歸るには旅費がないといふ有樣で身の振方に窮し途方に暮れてゐる

青島紡績罷業解決

【青島二十三日發電】當地紡績の

ばいかる丸

來月八日入港

濃霧のため、朝鮮沿岸大黒山島附近において坐礁した大連汽船内地間定期船ばいかる丸は案外損害程度も少く、そのまゝ長崎の三菱ドックにおいて修理中のところ漸く完了來月八日大連に入港すると

黄白嘴點燈

故障の爲め消燈中であつた黄白嘴燈臺はその後修繕中のところ漸く廿四日十二時半に修理が完了したので、點燈の旨大連無電局より各船舶に向て放送するところあつた

船舶職員試驗

臨時船舶職員試驗は隔年毎に施行

告別の山本、松岡正副總裁　張學良氏と記念撮影

一昨日奉天城內長官公署で

山本、松岡滿鐵正副總裁は廿三日午前十一時半奉天以北の社員と告別式を終つてのち鎌田公所長の案內で城內長官公署に張學良氏を訪問し、今回滿鐵を辭任したる旨挨拶をなす所あり、邸前で記念撮影をなし同正午ごろ辭去した（寫眞は前列向つて右から鎌田公所長、山本總裁、張學良氏、松岡副總裁）

長春を屠り撫順優勝

州外野球大會

【長春特電二十三日發】州外野球大會の決勝戰たる長春對撫順戰は二十三日午後四時から撫順先攻にて開始、撫順軍二回目に一點、三回目に一點を先取、長春五回目に大藤の本壘打にて二點を取り、七回にまた敵失と一安打で二點をリードし形勢逆轉せしも撫順八回目に一安打と三敵失で四點を取り遂に第三回州外野球聯盟大會はまたく撫順の優勝に歸し、各地選手出場のうちに優勝旗授與を行ひ同六時終了した

されるが本年は來る八月十日より大連海務協會において行はれる事になり試驗官としては甲板部が館本遞信局臼井技師が當り、機關部は大阪遞信局の西原技師が當ると

都市大會の全京城軍

十五名を銓衡

【京城特電二十四日發】紛糾を重ねた都市對抗野球大會出場のオール京城チームは曩に推薦された選手二十四名の內より二十四日午後に至り十五名を銓衡決定、高橋監督引率のもとに二十八日午後十時半京城出發に決した

女中の家出

原籍佐賀縣三養基郡中原村簑原佐藤マツエ（二四）は本月初旬本籍地より來連市內西公園町日本館に女中奉公をして居たが二十三日午後五時頃、同家の朋輩原ロシヅエ（二〇）と共に沙河口元町東京館止宿の兄の許へ行くとて家出した儘歸らぬので二十四日兄佐藤喜代治より沙河口署に搜索方を願つて來た

3―1

武運拙なく關大軍敗る

廿三日の對實業一回戰

關西大學對大連實業團第一回野球戰は二十三日午後四時四十五分より中央公園內實業球場にて伊藤（球審）竹中（壘審）兩氏審判のもとに實業先攻にて開始、三對一で關大敗る、經過次の如し

關大 敵失	關大 安打	關大 得點	回數	實業 得點	實業 安打	實業 敵失
0	1	0	一	0	1	0
0	0	0	二	0	1	0
1	1	0	三	2	2	1
0	2	0	四	1	2	0
1	0	0	五	0	1	0
0	1	1	六	0	0	0
0	0	0	七	0	0	0
0	1	0	八	0	0	0
0	0	0	九	0	1	0
2	6	1		3	8	1

▲第一回　實業中川三僞安藤右前直球安打高橋遊飛中島右飛▲關大三木左飛豐田の三僞宮武の美技に退けられ櫻井二壘左に安打本田一僞（兩軍零）

▲第二回　實業宮武右飛渡邊中前安打木下の遊僞に封殺、平田捕邪飛▲關大坂井三僞小田遊飛小西遊僞（兩軍零）

▲第三回　實業岩瀨二飛中川三僞失に出で安藤の右越二壘打に走者二三壘を占む高橋內野の淺い守りを拔いて一二間に安打し中川安藤生還、中島の遊僞高橋と重殺△關大小寺二遊僞安打川村のバント岩瀨一壘に惡投して走者二三壘に據り、三木遊前に直球を呈して小寺と併殺、豐田の中飛野手好捕して好機去る（實二關零）

▲第四回　實業宮武三越直球安打渡邊左飛木下二遊間をゴロに拔き投手のボークに走者進壘平田の右飛に宮武生還岩瀨二飛△關大櫻井遊擊右の安打本田一二間をゴロに拔く、坂井のバント櫻井を三壘に封殺山田の三僞本田を封殺宮武が一壘に投球の間に坂井三盜小田一壘にセーフ然し出島（小西に代る）の三僞に好機再び去る（實一關零）

▲第五回　實業中川右中間に安打し駿足を利して二壘打となし安藤一邪飛高橋の遊僞に中川三進中島左飛△關大小寺遊僞失に出で川村三振三木四球豐田右飛櫻井の二僞三木を封殺（兩軍零）

▲第六回　宮武渡邊三僞、木下三振△關大（此の時岩瀨一壘へ木下投手となる）本田捕邪飛坂井右越三壘打し小田の左犧飛に生還出島中飛（實零關一）

▲第七回　實業平田左飛岩瀨三振中川中飛△關大小寺右飛川村投僞三木二飛（兩軍零）

▲第八回　實業安藤二僞高橋投僞中島三僞△關大豐田中飛櫻井三僞本田二壘左をゴロに拔きしが坂井捕邪飛（兩軍零）

▲第九回　實業宮武投飛後渡邊左越二壘打せしが、木下、平田中飛△關大飛田（水田に代る）三振出島二僞川村投僞して萬事休す時に閉戰同六時十五分

實業	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
7 中川	4	1	1	0	0	0	0	0
6 安藤	4	1	2	0	0	0	0	1
4 高橋	4	0	1	0	0	0	0	0
8 中島	4	0	0	0	0	0	0	0
5 宮武	4	1	1	0	0	0	0	0
2 渡邊	4	0	2	0	0	0	0	0
13 木下	4	0	1	0	0	1	0	0
9 平田	3	0	0	1	0	0	0	0
13 岩瀨	3	0	0	0	0	1	0	1
計	34	3	8	1	0	2	0	2

關大	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
6 三木	3	0	0	0	0	0	1	0
4 豐田	4	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
3 櫻井	4	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
1 本田	4	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
9 坂井	4	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
7 小田	2	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
8 小西	1	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
8 出島	3	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
5 小寺	4	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
2 川村	2	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
PH 飛田	1	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	32	1	6	2	1	2	1	1

殘壘數　實業五　關大七
三壘打　坂井一
二壘打　中川一、安藤一、渡邊一
併殺數　田―櫻井
審判　伊藤（球）竹中（壘）
安藤―宮武　三木―豐田

スタンドから

▲雨後のグラウンドは乾きが充分でなく兩軍投手とも踏ン張りが利かず非常に其の投球に苦心をしてゐた、殊にスピードに賴る本田投手が一番損な立場にあつたと言へやう▲然し後半（五回以後）は良く締まつて僅か二本に安打を喰ひ止め可なり巧味のある投球をしたが、四回迄に六本の安打に三點を許し以後の戰ひを苦しくした▲實業は四回までによく頑張り久し振りに元氣な良い打擊を示してくれた▲關大は四、五兩回絶好のチャンスを逸してから遂に回復の期は來らず其のまゝ押されてしまつた、三回無死二、三壘に走者を置いて三木のライナーが遊擊僞正面に行つたのは不運であつたとしても、四回坂井のバントに櫻井が三壘に封殺されたのは坂井のバントも惡かつたらうが櫻井のスタートも良くはなかつた▲何れにしてもこの日の勝敗は順當であり明日も本田が連投するであらう事が想像された▲實業投手更代の時機は良かつた

關大對實業二回戰

けふ午後四時半より實業球場で

關西大學對大連實業團の第二回野球戰は中等學校豫選大會第一勝戰の終了時刻なる午後四時三十分より實業球場に開始することゝなつた

全國中等學校優勝野球大會出場

滿洲豫選大會けふ擧行

第一勝戰　安東中學對撫順中學

午後二時半より入場式於滿倶球場

始球式　井上旅順工大學長　審判　竹中、北川兩氏

◇滿倶實業兩後援會員は會員券を入口に於て係員に示すのみで差支へなく、白券は正面及び一三壘側觀覽席、青券は左右兩外野觀覽席その他の外野は開放である

主催　滿洲日報社

雨に閉ぢ籠められた遠征軍の合宿廻り

意地の悪い雨に阨されて待ちに待つた戰は伸びるし、と言つて遊び廻る事も出來ぬ遠征軍の動靜は如何にと合宿廻りに出掛けて見た、何處もかしこも同じ事・外出する者は一人も無く、曇り勝の空を仰ぎ乍ら「何とか輕い練習だけでも出來ないかなあ」とため息をついてゐる。

奉天中學を東屋旅館に訪ふ「大連商業のグラウンドも使えません」と報告が來る、關西大學の選手の人に誰かゞ高等戰術を教はつてゐる。蓄音器の音が聞える、腕相撲に其の元氣の捌口を見出してゐる者も居る、黄色くなつたパンツが四つ許り窓の枠に干てある「昨日は早く寢ました、最初から優勝戰の覺悟ですが春以來青島を目的に練習をしたのですから今更別に作戰計畫は御座いません」と部長の話である。

「萬歳！」若々しい聲が奧の方から響いて來る。刻々に挨拶をして御隣りの富士屋に足を向ける。入口の處に問題の青島小平投手が立つてゐる「太い事休まれて結構だね」「冗談ですよ。思ふ樣の練習も出來ず試合がすむまでは外出も不自由だし身體がだるくなる許りです」「何とか早くやつてくれませんか」傍の連中が同感する「作戰計畫はベンチコーチに任してあります僕等は言はれる儘に動くだけです」と一人の答・玄關の處に緣椅子など出して此處も呉越同舟の恰好で青島撫順は同宿をしてゐる「おい皆集れよ晝飯だ、大食の競走をやらう」「馬鹿腹を悪くするぞ」どやどやどやと青島軍は食事に退却「ヂヤンケンポン」と仲良く何かの順序を決めるらしい聲がする。

撫順軍の先生が出て來る「駄目ですなあ、明日もどうですかなあ、然し私の方は大助かりです隨分疲れて居ましたからね、昨晩雨あがりで々樣々と喜んで居ますよ、すつかり作戰を決めましたし今日は皆んな思ふ存分休ます事としてゐます」一つの部屋に集まつた黒ん坊の選手達は盛に遊戲に餘念がない「さあ今度は君が鬼だぞ」と賑やかに遊んでゐる次の部屋では二三人の選手の者が一生懸命バットの手入をやつてゐる「勝てる自信がありますか」「駄目なんです弱いから」二十餘貫の重手君は其の大きな身體を持て餘し氣持でゐる「電報」記者が門を辭する時青島軍に電報が來た。

三杉旅館に安東を訪ふ。先生に案內されて二階に通る。机の上に電報手紙が十五六通も置いてある「カナラズカテ」「ヒツシヤウヲイノル」と言つた樣な皆んな激勵の通信である。遠い安東の人々の熱烈な應援の程が偲ばれる、此處の選手は若い丈けに其の陽氣な事賑やかな事、一室に集まつて將棋や碁石で色々な遊びをやつてゐる、試合に勝つと言ふ事よりも試合する事其事が愉快でたまらないと言つた調子である。子供らしい他愛のない集ひに先生も校長も仲間入り陽氣た笑ひ聲の絶え間はない「昨晩安東滿倶の人が來て下すつて作戰會議をやりました」と校長さんは言つてゐた（寫眞は雨に脾肉を嘆ずる撫順軍）

けふのラヂオ

昭和四年七月廿五日（木曜日）

自前十一時　相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）
自午後〇時三十分　相場（特産、錢鈔、各地相場）ニユース
自午後三時三十分　相場（錢鈔、株式、各地相場）ニユース
自午後三時五十分　野球連絡放送（實業對關大第二回戰）
自午後七時三十分
一、ニユース
二、講話　キャンピングに就て　嶺前小學校　池上哲男
三、箏曲　天鼓　梅若流岩村櫻處
四、講談　柳生又十郎　木村近衛
五、地唄　楫枕　三味線中島勾當
六、支那唱　廣泰莊　唱常桂花、尺八　森介山
七、料理獻立　師付馬文芳
八、天氣豫報

愛慾の窓(49)

戸川貞雄作　浅枝次朗畫

金(九)

待ち受けてゐた友永は、直ぐ久彦を自分の部屋へ通した。

「……手紙見てくれたか? ひどいぢやないか、君も」

と、友永は不機嫌だつた。

「いや、何うも……」

と、久彦は頭を掻いた。

「……手紙にも書いてお知らせしといたが、一寸面白からん事件が起きてねえ」

友永は、葉巻の端を前歯で噛み切りながら聲を落した。

「……小森君の素行上のことかい?」

と、久彦は訊ね返した。

「さうなんだよ、實はね、何處からか何う探つたものか、僕の方と小森家との縁談を嗅ぎつけた惡い奴があつてね、そいつに僕は金を捲き上られたんだよ」

「……何ういふ材料で? いや、つまり何か賣りつけに來たんだらうが、それを君は買つたつてわけなんだね?」

「……さうだよ、しかし僕もさう迂濶に引かゝりはせんさ! 何うにも確な材料だから金を出したよ」

「……といふと何ういふ材料?」

「……君も、メリイ・ダンス・ホールといふのを知つてゐるだらう、日本橋の」

「……ウム、知つてる、暫く行かないが」

と、久彦は苦笑した。若い會社員や學生や、要するにモダアン・ボーイ達の享樂場で、久彦も憂鬱症の發作に陥ると、よくそこへ出かけて行つて、滅茶苦茶にチャールストンを躍つたものだ。が、もとより久彦はそれ以外に何も望んでダンス・ホールに出入りしてゐたわけではなかつた。

「……謹嚴君の如きですらさうなんだから、當節の青年がダンス・ホールぐらゐへ出入りするのはあたりまへなことなんぢやらうが、しかし君」

と、友永は眉をひそめて、一層聲を低くした。「……あすこのダンサーのメリイ何とかつて女を、小森は孕ましたんだよ、あすこの女將のメリイ何とかつて洋妾上りと、あすこのお抱の暴力團員の赤城何とかいふ破風漢とかが、僕のところへやつて來たんだ。聞けば、小森はあのダンス・ホールには古くからの客で、毎晩入り浸りになつてゐたんださうだが、その女を姙娠させてからといふもの、ぷッつりと逃の途をきめ込んでしまつたといふんだよ。その上、子ぢやアないと厚顔しく云ひ張つて、いくら掛合つても相手にせんといふんだ。で、その女は今七月とか八月の胎をかゝえて、ホールにも出られず困つてゐるが、やぶれかぶれで、小森の邸へ泣き込んでやると喚いてゐるのぢやさうだ。いや、最近はまた何處から知つたか、小森が結婚するといふのを聞いて、命を賭けてもその結婚は邪魔してやると云つてるさうぢやがね、厄介な話ぢやアないか」

「……でも、君、それが果して事實か何うか……東京は君、昔から生馬の眼を抜く江戸なんて云はれてゐるが、今日では、生馬の眼のくり玉だつて抜きかねないところだからね」

と、久彦は言葉を挿んだ。何だつて、そんな小森に味方するやうな言葉を口にしたのだらう、久彦にも自分で自分の氣持がわからない、わからないまゝに、彼はまた附加へるのであつた。

「……そりや小森君みたいな何不自由のないブルジョアのお坊ちやんになると、多少素行上失敗はあるかも知れんが、しかし得體の知れない連中の中傷なんか、迂濶に信じたら大變だよ」

さう云ひながらも、彼は内心自分自身の不正直さ、氣の弱さに、苛々してゐるのだ。弱氣な、善良な性格の人間は、よくかういふ心理の自己撞着に陥るものである。

滿日文藝

滿日俳壇

島田青峰選

○夕立

○ 穂臺　天江

峰晴れて來し芭蕉葉の夕立かな
夕立の水あふれゐる手水鉢
夕立の水滿増せる渡舟かな
夕立の雨たまりゐる天幕かな
快き夕立晴の小燒けかな
夕立に濡れたる汽車の灯たけり
夕立の最中の驛に下りたちぬ
夕立のあとの棚田を見廻りぬ
夕立の軒に龜へる遍路かな
夕立の中に灯る機屋かな

○ 大連　伊東　鬼水

夕立や山羊追立つる支那娘
夕立にざわめく露天市場かな
大江を下る筏や夕立雲
夕立の晴れたる丘やキャンピング
山羊の群河畔に出でぬ夕立晴
崖木の流るゝ音や夕立晴
夕立雲湧きたる中の無線塔

○ 大連　阿部　天潮

散らばりし井戸り來る夕立かな
夕立雲起ちて南山下りけり
夕立の城門に立つ巡査かな
夕立のしぶき上げたるトマト畑
夕立の港へかゝる戎克かな
夕立の支那馬車驅つて戻りけり

○ 哈爾賓　玉川　靜波

夕立や傾きつきし荷足船
夕立晴れてまた又出でし牧場かな
夕立晴れて陶標白き芝生かな

滿日俳壇募集規定

次回課題「夏野」「蛇」「蕃茄」(トマト) ▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切八月五日▲封筒に「滿日俳句」と明記の事▲宛先、東京市牛込區若松町八 島田青峰宛